

一宮市 一般高齢者アンケート

～第8期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～

【調査結果報告書】

令和2年3月

一宮市

目次

1	調査の概要.....	1
	ア. 調査の目的.....	2
	イ. 調査概要.....	2
	ウ. 報告書の見方.....	2
2	調査結果の概要.....	3
	ア. 日常生活や地域への関わり、介護保険、高齢者福祉等について.....	4
	イ. 生活機能の評価.....	9
3	調査結果.....	27
	ア. 調査票の回答者について.....	28
	イ. あなた（宛名のご本人）ご自身のことについて.....	28
	ウ. あなたのご家族や生活状況について.....	32
	エ. からだを動かすことについて.....	36
	オ. 食べることについて.....	41
	カ. 毎日の生活について.....	43
	キ. 地域での活動について.....	48
	ク. たすけあいについて.....	52
	ケ. 健康について.....	55
	コ. 防災について.....	61
	サ. 認知症について.....	64
	シ. 高齢者福祉や介護保険について.....	66
4	調査票.....	79

I

調査の概要

ア. 調査の目的

本調査は、「第8期一宮市高齢者福祉計画（介護保険事業計画を含む）」を策定するにあたり、高齢者の方の生活や健康の実態を把握し、計画づくりや施策の立案に活用することを目的として実施しました。

イ. 調査概要

調査対象者：市内在住の65歳以上（要介護1～5の方を除く）の市民2,500人

抽出方法：無作為抽出

調査方法：郵送配布・郵送回収（調査票による本人記入方式）

調査期間：令和2年1月24日（金）～令和2年2月10日（月）

回収率：72.8%（回収数：1,821件）

ウ. 報告書の見方

- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。
複数回答のグラフ表記については以下のとおりです。
MA%（Multiple Answer）：選択肢から当てはまるものすべてを回答する場合
3LA%（Limited Answer）：選択肢から当てはまるものを3つまで回答する場合
- 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中における「圏域」とは日常生活圏域を指し、区分けは以下のとおりです。
中・西地区：宮西・神山・今伊勢町・奥町連区
北地区：葉栗・北方町・木曾川町連区
北・東地区：貴船・西成・浅井町連区
南・東地区：大志・向山・富士・丹陽町・千秋町連区
南地区：大和町・萩原町連区
南・西地区：起・小信中島・三条・大徳・朝日・開明連区
- 本文中の「前回」、「前回調査」とは、平成29年3月に実施した「第7期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けてのアンケート調査」のことを指します。
- 図表中における設問の選択肢については簡略化している場合があります。
- 圏域別の集計表の網掛けについては以下の通りです（無回答を除いた順）。
《最も割合の高いもの》網掛けと太文字 《2番目に割合が高いもの》網掛け

2 調査結果の概要

ア. 日常生活や地域への関わり、介護保険、高齢者福祉等について

(1) あなたとあなたのご家族や生活状況について

- 世帯構成は、「一人暮らし」が13.4%、「夫婦2人暮らし」が44.5%、「息子・娘との2世帯」が25.1%となっています。また、「一人暮らし」と「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を合わせると53.3%で、半数以上が高齢者のみの世帯となっています。
- 日常生活で介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が81.8%と大半を占めていますが、前回より減少傾向にあります（85.4%）。「介護・介助は必要ない」の割合は、《85歳以上》から大きく減少し、《85歳以上》では29.5%が『何らかの介護・介助が必要』（現在は介護・介助を受けていない場合を含む）と回答しています。
- 介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が最も高く、前回から大きく増加し、29.5%となっています（前回：16.8%）。次に割合が高いのは、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「骨折・転倒」となっています（ともに12.7%）。
- 現在の経済状況は、「ふつう」が5割を超え、56.6%となっています。『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）は30.6%、『ゆとりがある』（「大変ゆとりがある」＋「ややゆとりがある」）は7.1%となっており、3割以上の人を経済的に『苦しい』と感じています。また、『苦しい』の割合は《75～84歳》で最も高く、33.1%となっています。

(2) からだを動かすことについて

- 運動器機能に関する設問では、《階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができるか》での「できるし、している」の割合が他の項目よりも低く、58.6%となっています。
- 運動器機能の低下のリスク判定の結果では「該当者」は13.0%と比較的低くなっており、前回からも減少傾向にあります（14.5%）、年齢区分が上がるごとに大きく増加し、《85歳以上》では42.8%と、4割以上がリスク該当者となっています。
- 転倒の不安を感じている人は前回から増加し、46.2%となっています（前回：44.9%）、リスク判定での「該当者」の割合は前回からほぼ変化なく、29.3%となっています（前回：28.6%）。転倒リスクは年齢区分が上がるほど高くなり、《85歳以上》では49.1%と、約5割がリスク該当者となっています。圏域別では《北・東地区》での割合が最も高く、35.4%となっています。
- 閉じこもり傾向のリスク判定結果をみると、「該当者」は13.0%と比較的低くなっており、前回からも減少傾向にあります（前回：15.3%）。閉じこもりリスクは年齢区分が上がるほど高くなり、《85歳以上》では34.1%と、3割以上がリスク該当者となっています。
- 外出を控えている人は14.1%で、前回から増加傾向にあります（前回：11.5%）。外出を控えている理由としては、「足腰などの痛み」が最も高く、45.5%となっていますが、前回からは減少傾向にあります（前回：49.3%）。そのほかでは、「交通手段がない」（20.6%）、「トイレの心配（失禁など）」（17.1%）が上位となっていますが、《65～74歳》では「外での楽しみがない」、「経済的に出られない」の割合も高くなっています。
- 外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が56.1%と最も高く、次いで、「徒歩」が47.6%、「自転車」が41.4%となっています。《85歳以上》では「自動車（乗せてもらう）」、「タクシー」の割合がほかの年齢区分に比べて高くなっています。

(3) 食べることについて

- 低栄養の疑いの該当者は、《65～74 歳》、《75～84 歳》では 1 割未満であるものの、《85 歳以上》では 14.5%となっています。また、低栄養の疑いについては、ほかのリスク判定項目に比べて、該当者が少なくなっています。
- 咀嚼機能の低下のリスク判定結果をみると、「該当者」の割合は 30.1%となっており、前回からはほぼ変化はみられません（前回：31.0%）。咀嚼機能の低下のリスクは年齢区分が上がるほど高くなり、《85 歳以上》では 48.0%と、約 5 割がリスク該当者となっています。圏域別でみると、ほとんどの地区で該当者は 3 割以上となっていますが、《中・西地区》でのみ 2 割台半ばとなっています。
- 歯の状況については、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」と回答した人は 31.5%で、前回より増加傾向にあります（29.6%）。
- 誰かと食事をともにする機会については、「毎日ある」と回答した人が 52.9%となっています。

(4) 毎日の生活について

- 認知症リスクの判定結果をみると、「該当者」は前回からはほぼ変化はなく、41.0%となっています（前回：41.2%）、リスク該当者の割合は他のリスク判定項目より高く、《85 歳以上》では 56.1%がリスク該当者となっています。圏域別では《北・東地区》、《南地区》、《南・西地区》での割合が高く、4 割以上となっています。
- 自立度に関する設問《1 人での外出の有無、食品・日用品の買い物や食事の用意の状況、請求書の支払や預貯金の出し入れの状況》で、「できるし、している」と回答する人は、どの項目でも前回より増加傾向にあり、手段的自立度（IADL）のリスク判定結果をみると、「該当者」は 14.1%と比較的低くなっています（前回：16.5%）。また、リスク該当者は《85 歳以上》から急増し、《75～84 歳》で 13.9%であるのに対し、《85 歳以上》で 42.2%となっています。
- 若い人に自分から話しかけることがある人は 69.4%、趣味がある高齢者は 63.6%となっていますが、ともに《85 歳以上》から減少する傾向にあります。
- 今後、高齢者の在宅生活継続に必要なと感じる支援・サービスについては、「緊急連絡通報システム」が最も高く、31.2%となっています。そのほかでは、「配食サービス」、「外出支援（通院、買い物など）」を求める人が多くなっています。「緊急連絡通報システム」、「配食サービス」については、特に《一人暮らし》、《夫婦 2 人暮らし》でのニーズが高い傾向にあります。

(5) 地域での活動について

- 地域活動の中で参加者が多いのは、《町内会・自治会》で、33.6%の人が参加していると回答しています。ボランティア活動や学習・教養サークル、老人クラブへの参加は少なく、地域活動への参加はあまり進んでいない状況にあります。
- 介護予防のための通いの場（おでかけ広場やふれあい・いきいきサロン等）に参加していない人は 81.1%で、参加している人は 1 割未満となっています。
- 収入のある仕事をする人は 26.6%となっています。

- 地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加したい人（参加している人を含む）は 60.9%となっています。企画・運営（お世話役）として参加したい人（参加している人を含む）については 35.7%となっており、各活動に参加者として参加したい人の割合を下回っています。

（6）たすけあいについて

- 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人、聞いてあげる人、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人、看病や世話をしてあげる人については「配偶者」をあげる人が最も多くなっていますが、看病や世話をしてあげる人については、「そのような人はいない」の割合が比較的高く、20.4%となっています。
- 近所づきあいの状況については、どの地区でも「つきあいはしているがそれほど親しくない」の割合が4割～5割台と最も高く、親しいつきあいがいない人の方が多くなっていますが、《南・西地区》では『親しくつきあっている』（「とても親しくつきあっている」＋「わりと親しくつきあっている」）の割合が4割以上と、比較的高くなっています。

（7）健康について

- 現在の健康状態は、『よい』（「とてもよい」＋「まあよい」）が前回から増加し、77.5%となっています。（前回：75.6%）。『よい』の割合は年齢区分が上がるほど低くなり、《65～74歳》では83.2%であるのに対し、《85歳以上》では64.1%となっています。
- 現在の幸福度については、「10点」と回答する人は前回から減少し、15.3%となっていますが（前回：17.6%）、「7点以上」で比較すると、前回とほとんど差はみられません（今回：61.9%、前回：62.6%）。『幸せである』の割合はどの年齢区分も6割台となっていますが、《85歳以上》で最も高くなっており、《85歳以上》では、健康状態が『よい』人が少なくなる傾向にあるものの、『幸せである』であると感じる人が多いことがうかがえます。平均点で見ると、どの区分も7点以上となっていますが、年齢が高いほど幸福度が高い傾向がうかがえます。
- うつ傾向のリスクの判定結果をみると、「該当者」は前回から増加し、41.0%となっています（前回：37.5%）。リスク該当者は《75～84歳》から増加する傾向にあり、75歳以上では4割以上がリスク該当者となっています。圏域別で見ると、ほとんどの地区で該当者は4割以上となっていますが、《南・西地区》でのみ約3割となっています。
- 喫煙習慣については、男性の20.3%が『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）と回答しています。
- 現在治療中、または後遺症のある病気は「高血圧」が40.6%で最も高くなっています。また、《65～74歳》、《75～84歳》では、「糖尿病」、「高脂血症（脂質異常症）」の割合が高いのに対し、《85歳以上》では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が高くなっています。また、《75歳以上》から「心臓病」の割合も高くなる傾向もみられます。
- 病院・医院（診療所、クリニック）に通院している人は78.0%となっています。通院に介護が必要な人は《65～74歳》、《75～84歳》では1割未満であるのに対し、《85歳以上》では26.2%と、《85歳以上》から急増する傾向にあります。

(8) 防災について

- 災害時の避難等対策については、「何もしていない」と回答する人が最も多く、49.4%となっています。そのほかでは、「避難場所や順路の確認」や「避難訓練への参加」が上位となっています。また、避難方法や安否確認の方法を家族と話し合っ「決めている」人は31.1%となっており、防災意識はそれほど高くない状況にあります。また、「避難訓練への参加」の割合は、ほとんどの地区で1割未満となっていますが、《南・西地区》でのみ2割を超え、20.4%となっています。
- 災害時の避難場所の認知状況は、「知っている」が72.8%、「知らない」が21.8%となっています。「知っている」の割合は、年齢区分が上がるほど低くなり、《85歳以上》では59.0%となっています。また、《南・西地区》での認知度が約8割と高く、避難訓練の参加状況からも《南・西地区》では防災意識が他の地区より高いことがうかがえます。

(9) 認知症について

- 家族に認知症がいるかについては、7.5%の人が「はい」と回答しています。
- 認知症の相談窓口を知っている人は21.4%、認知症サポーターを知っている人は14.4%と、認知度は高くない状況にあります。
- 成年後見制度について、言葉も内容も知っている人は32.9%となっています。言葉も内容も知っている人の割合は、年齢区分が上がるほど低くなり、《85歳以上》では22.0%となっています。

(10) 高齢者福祉や介護保険について

- 地域包括支援センターを知っている人は前回から増加し、52.7%となっています（前回：50.2%）。利用している割合は、《75～84歳》までは1割前後であるのに対し、《85歳以上》では25.4%と、《85歳以上》で利用が進む傾向にあります。
- 市内21か所ある高齢者福祉施設の利用については、「利用したことがない」が77.6%と大半を占めています。目的としては、「浴場を利用するため」が8.4%と最も高くなっていますが、前回より減少傾向にあります（前回：10.5%）。
- 高齢者福祉施設に対するニーズについては、「介護予防などの健康、体操教室が行われる施設」が30.5%と最も高く、次いで「健康機器（ランニングマシンなど）がある施設」が30.1%となっており、ともに前回より増加傾向にあります（《介護予防》前回：29.3%、《健康機器》前回：28.8%）。年齢区分別でみると、《65～74歳》での「健康機器（ランニングマシンなど）がある施設」の割合が高く、39.9%となっています。
- 長寿祝事業については62.9%の人が「実施した方がよい」と回答しています。敬老会事業の対象年齢については、「75歳以上」と回答した人が54.1%となっています。

- 興味がある、参加したいと思う介護予防事業については、「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」(43.9%)、「認知症予防に関する教室」(35.7%)が上位となっており、ともに前回より増加傾向にあります(《転倒予防》前回：41.2%、《認知症予防》前回：31.4%)。参加する上で求めることは、「身近な地域で行われること」(52.2%)、「料金が無料、または安いこと」(50.1%)、「送迎があること」(32.5%)が上位で、すべて前回よりも増加傾向にあり(《身近な地域》前回：43.3%、《料金》前回：47.5%、《送迎》：前回 24.3%)、身近で通いやすく、安価であるという点がより求められていることがうかがえます。特に《75～84歳》からは送迎を求める人が多くなる傾向にあります。
- 今後の介護サービスと介護保険料負担のあり方については、「わからない」が33.3%と最も高くなっています。それ以外では、前回と同様に、「保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき」が最も高くなっており、前回から増加し、27.1%となっています(前回：24.6%)。
- 今後、介護の必要な状態(介護認定対象者)になった場合の過ごし方については、前回同様に「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設に入所したい」が最も高く、54.1%となっています。また、「施設には入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」の割合は21.0%となっています。
- 人生の最期をどこで迎えたいかについては、「自宅」が48.4%と最も高くなっています。今後、過ごしたい場所でも自宅を希望する人が多く、できるだけ自宅で過ごしたいと考える人が多いことがうかがえます。年齢区別でも、どの区分も「自宅」が最も高くなっていますが、《75～84歳》、《85歳以上》では「病院などの医療施設」と回答する人も2割程度みられます。
- できるだけ介護を必要とせず、いつまでも元気に暮らすことができるために重要だと思う取り組みについては、「病気を予防し、いつまでも元気でいられるような健康づくりの推進」が70.2%で最も高く、次いで「転倒・骨折予防など、介護が必要にならないようにするための施策」が46.6%、「高齢者の生きがいづくり、仲間づくりなどの推進」が31.8%と、上位3位までは前回と同じ順位となっていますが、「高齢者の生きがいづくり、仲間づくりなどの推進」については、前回からの増加が大きくなっています(前回：25.6%)。
- 地域での高齢者(高齢化)に関する課題は、「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」が58.2%と最も高く、次いで、「ご近所づきあいが薄くなってきている」が37.1%、「交通が不便である」が22.2%となっています。圏域別でみると、どの地区も「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」、「ご近所づきあいが薄くなってきている」の順で高くなっていますが、《南・東地区》では「交通が不便である」の割合が3割台と、他の地区より高くなっています。

イ. 生活機能の評価

一般高齢者アンケートにおいて、質問項目により、運動器機能の低下、転倒リスク、閉じこもり傾向、低栄養の疑い、咀嚼機能の低下、認知症リスク、手段的自立度（IADL）、うつ傾向に関する評価を行いました。

判定結果では、「転倒リスク」、「咀嚼機能の低下」、「認知症リスク」、「うつ傾向」での該当者が多く、「認知症リスク」、「うつ傾向」は4割以上、「転倒リスク」、「咀嚼機能の低下」は約3割となっています。該当者が最も少ないのは「低栄養の疑い」となっています。

経年比較でみると、前回からほぼ変化がない項目が多くなっていますが、「運動器機能の低下」、「閉じこもり傾向」、「手段的自立度（IADL）」では該当者が減少傾向にあります。

また、「うつ傾向」では該当者が3.5ポイント増加し、悪化している状況です。

【種類別リスク該当者割合】

項目		全体	男性	女性
運動器機能の低下	前回調査	14.5%	10.7%	18.3%
	今回調査	13.0%	9.3%	16.5%
転倒リスク	前回調査	28.6%	25.6%	31.8%
	今回調査	29.3%	27.4%	32.2%
閉じこもり傾向	前回調査	15.3%	14.1%	15.5%
	今回調査	13.0%	9.7%	15.8%
低栄養の疑い	前回調査	7.9%	6.2%	9.3%
	今回調査	8.3%	5.5%	10.9%
咀嚼機能の低下	前回調査	31.0%	31.1%	31.3%
	今回調査	30.1%	32.2%	28.4%
認知症リスク	前回調査	41.2%	39.6%	42.8%
	今回調査	41.0%	39.1%	42.5%
手段的自立度(IADL)	前回調査	16.5%	21.5%	11.8%
	今回調査	14.1%	19.1%	10.5%
うつ傾向	前回調査	37.5%	35.4%	40.3%
	今回調査	41.0%	39.8%	42.2%

※前回調査はH29年調査。

※手段的自立度（IADL）は、「やや低い」「低い」を合算した数値。

※「低栄養の疑い」は国必須項目のみでの評価。

※評価方法や評価に使用した設問等は、次ページ以降に掲載。

(1) 運動器機能の低下

■評価方法

以下の5つの設問中3問以上、該当する選択肢（エ問1～問3で「できない」、エ問4で「何度もある」または「1度ある」、エ問5で「とても不安である」または「やや不安である」）を回答した場合を、該当者（運動器機能の低下している高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
エ問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	58.6	21.9	15.5	4.0
エ問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	70.9	15.3	9.8	4.1
エ問3	15分位続けて歩いていますか。	69.1	20.0	7.2	3.6

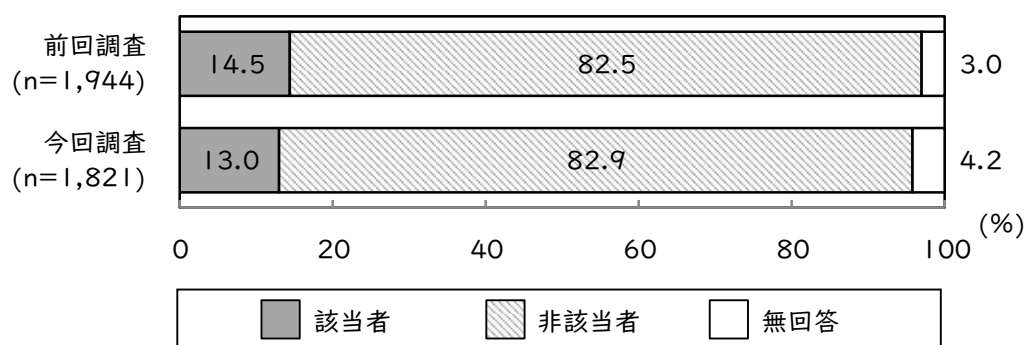
単位：%

設問番号	設問	何度もある	1度ある	ない	無回答
エ問4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	8.1	21.2	67.4	3.2

単位：%

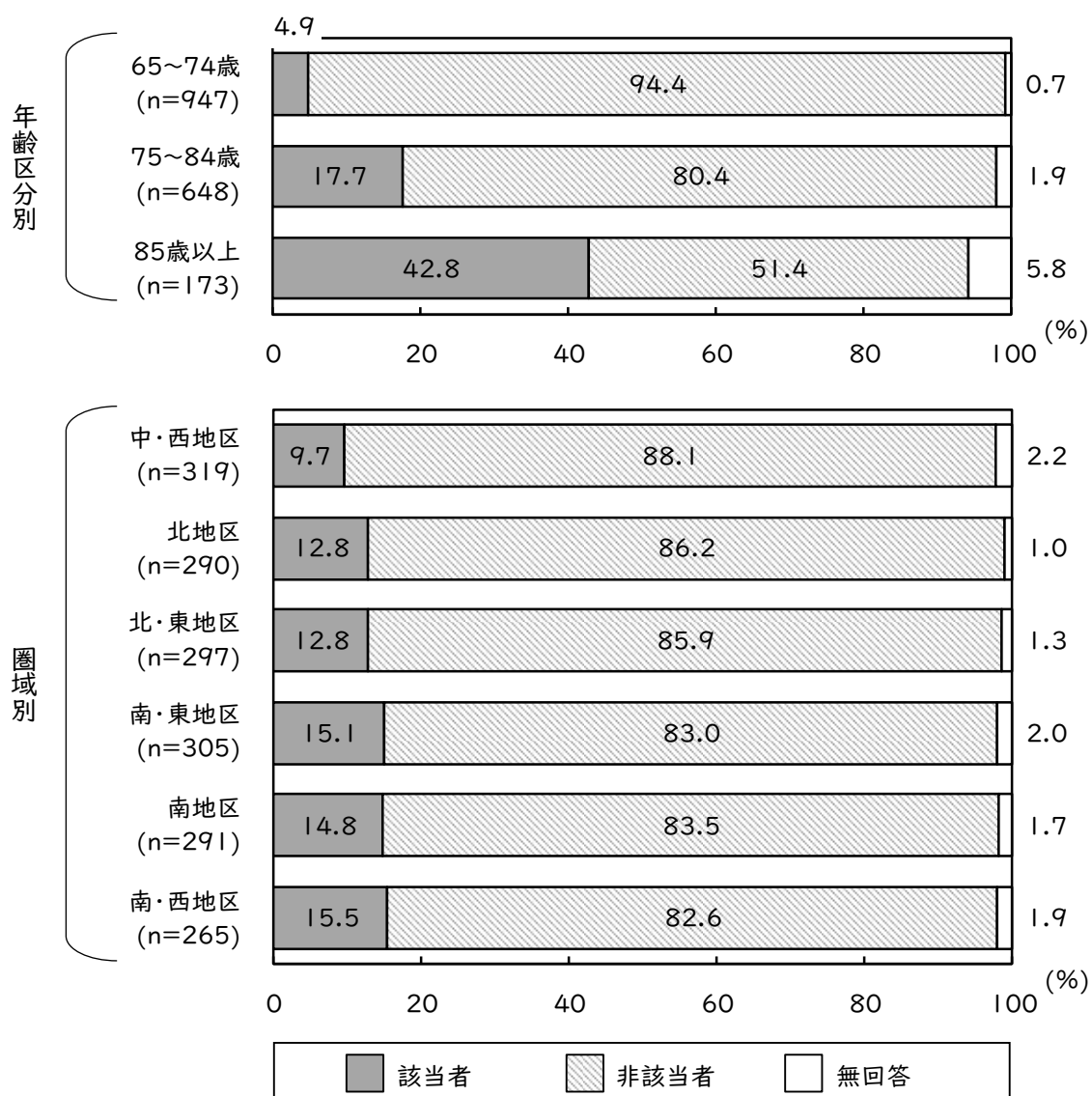
設問番号	設問	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
エ問5	転倒に対する不安は大きいですか。	10.8	35.4	28.8	21.9	3.2

「該当者」が13.0%、「非該当者」は82.9%となっており、「該当者」は前回より1.5ポイント減少しています。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で4.9%、《75～84歳》で17.7%、《85歳以上》で42.8%と、増加の幅が大きくなっています。

圏域別では《南・西地区》での割合が最も高く、15.5%となっています。



(2) 転倒リスク

■評価方法

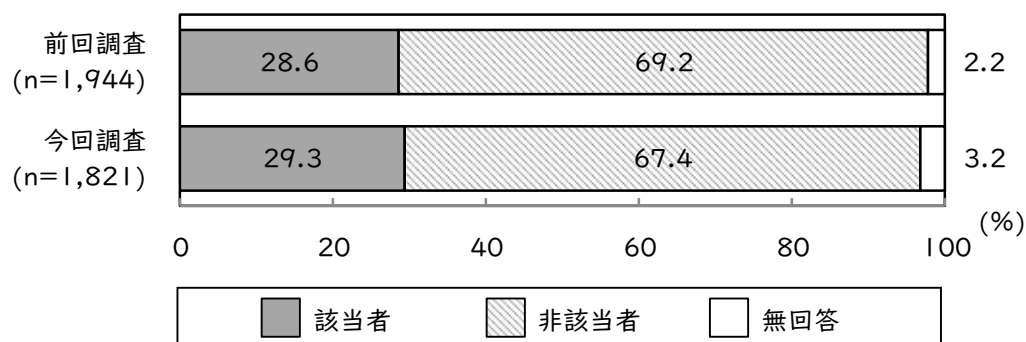
以下の設問で該当する選択肢（エ問4で「何度もある」または「1度ある」）を回答した場合を、該当者（転倒リスクのある高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

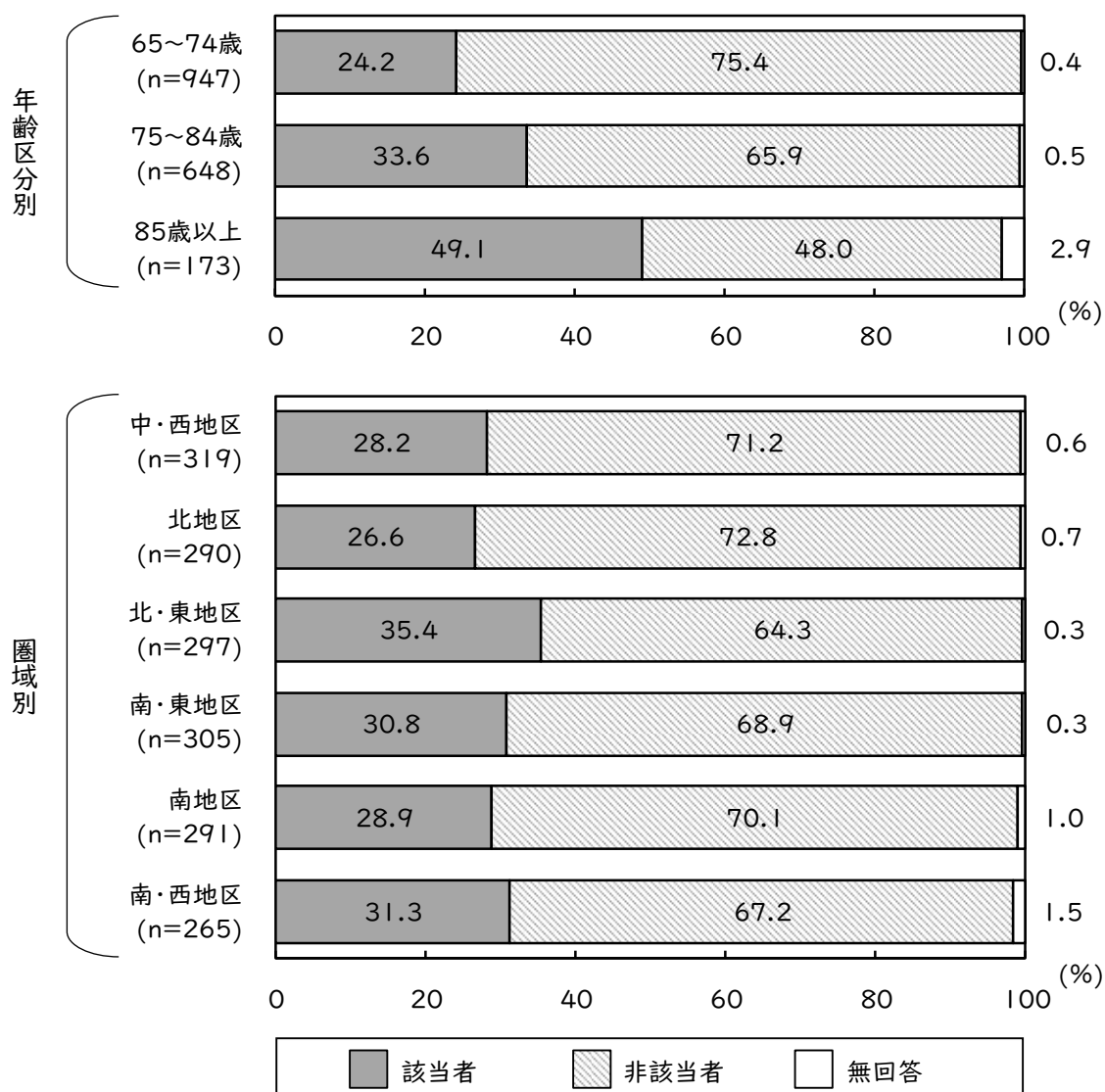
設問番号	設問	何度もある	1度ある	ない	無回答
エ問4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	8.1	21.2	67.4	3.2

「該当者」が29.3%、「非該当者」は67.4%となっており、「該当者」の割合は前回からほぼ変化はありません。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で24.2%、《75～84歳》で33.6%、《85歳以上》で49.1%と、《85歳以上》では約5割がリスク該当者となっています。

圏域別では《北・東地区》での割合が最も高く、35.4%となっています。



(3) 閉じこもり傾向

■評価方法

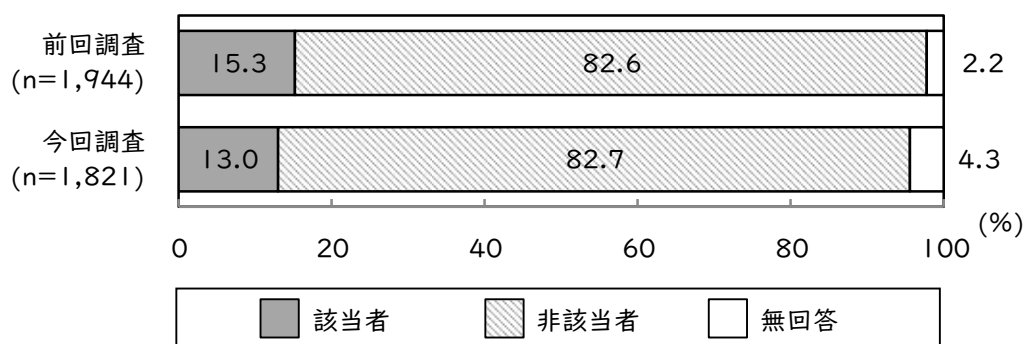
以下の設問で該当する選択肢（「ほとんど外出しない」または「週1回」）を回答した場合を、該当者（閉じこもり傾向のある高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

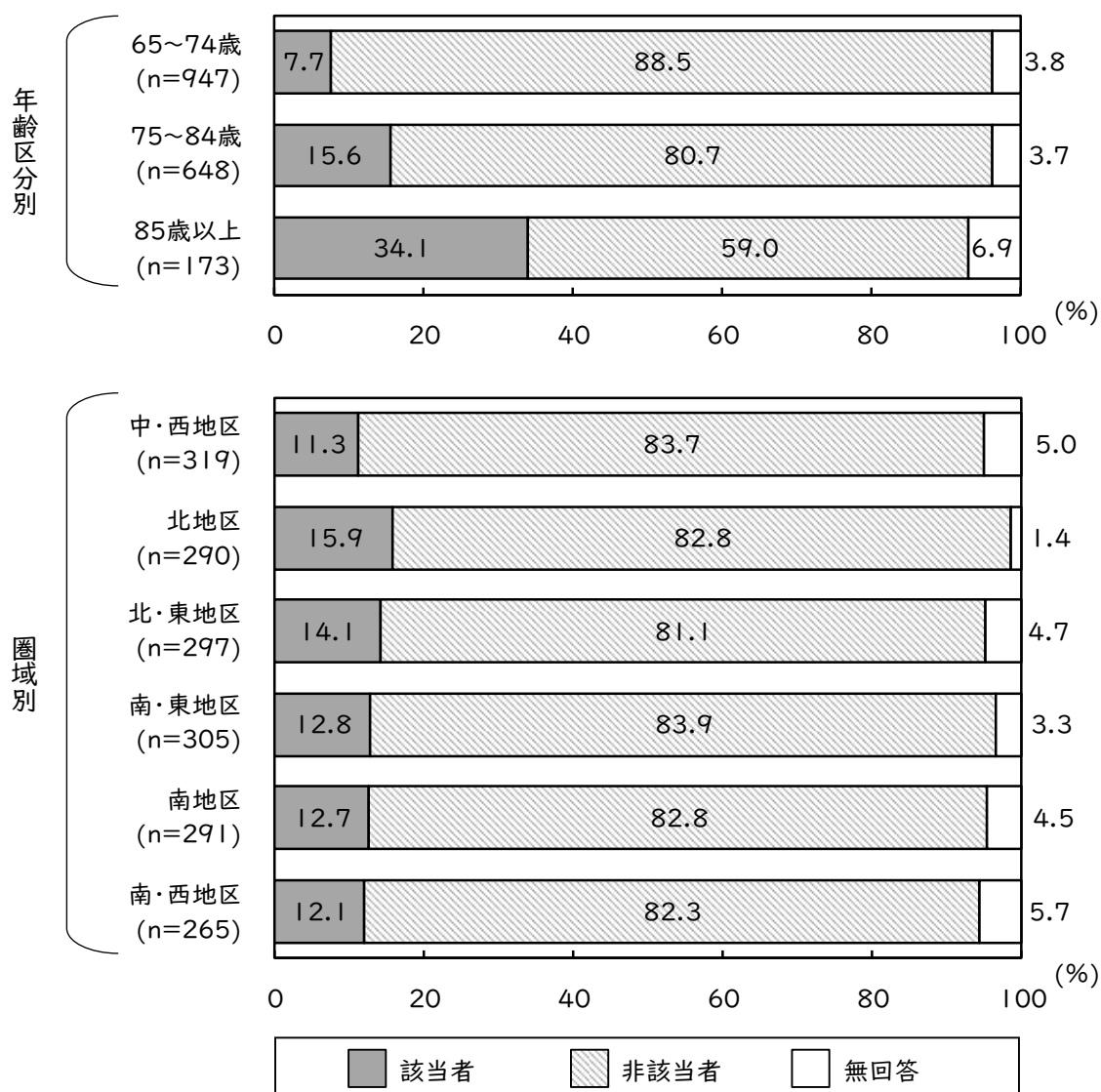
設問番号	設問	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
エ問6	週に1回以上は外出していますか。	3.6	9.4	39.2	43.5	4.3

「該当者」が13.0%、「非該当者」は82.7%となっており、「該当者」は前回より2.3ポイント減少しています。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で7.7%、《75～84歳》で15.6%、《85歳以上》で34.1%と、増加の幅が大きくなっています。

圏域別では《北地区》での割合が最も高く、15.9%となっています。



(4) 低栄養の疑い

■評価方法

BMIが18.5未満の人を該当者（低栄養の疑いのある高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

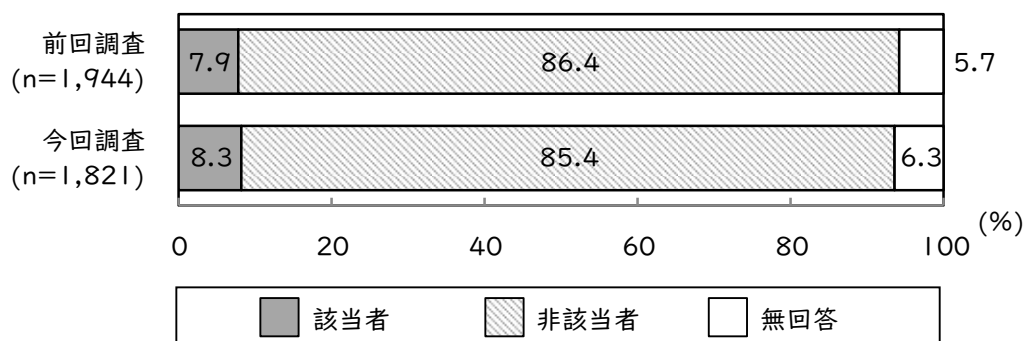
単位：%

設問番号	設問	BMI 18.5 未満	BMI 18.5 以上	無回答
才問1	身長、体重はいくつですか。	8.3	85.4	6.3

※国必須項目のみの評価。

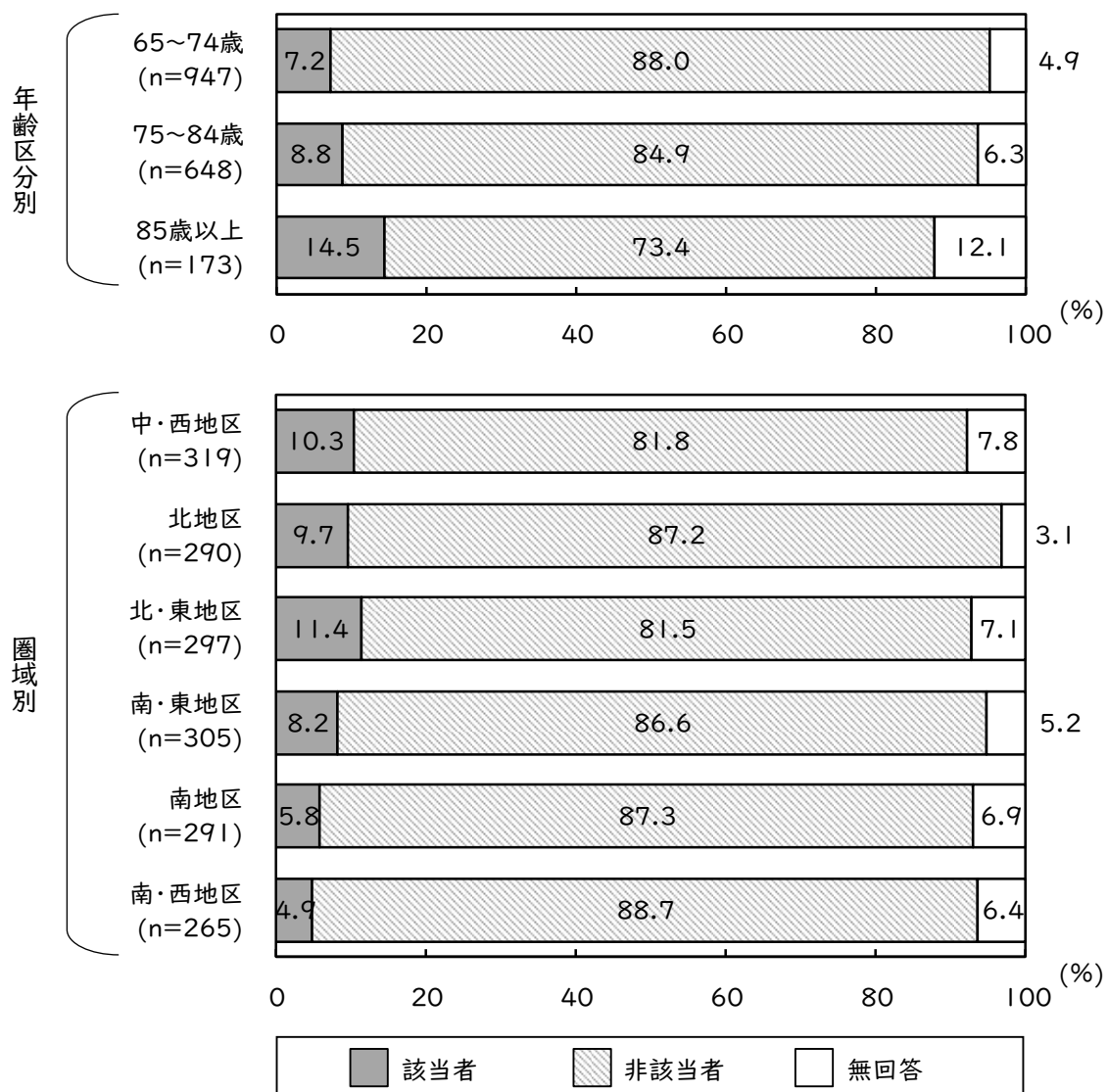
※BMI：身長²に対する体重の比で、体格を表す指標。

「該当者」が8.3%、「非該当者」は85.4%となっており、「該当者」の割合は前回からほぼ変化はありません。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で7.2%、《75～84歳》で8.8%、《85歳以上》で14.5%となっています。

圏域別では《北・東地区》での割合が最も高く、11.4%となっています。



(5) 咀嚼機能の低下

■評価方法

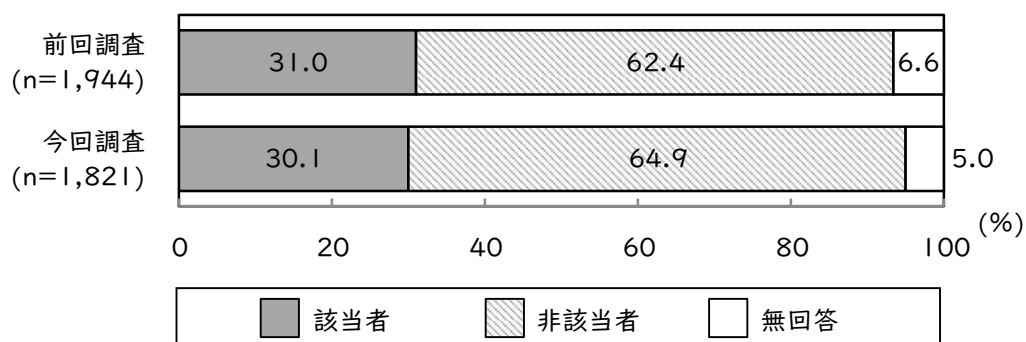
咀嚼機能の低下を問う設問で該当する選択肢（「はい」）を回答した場合を、該当者（咀嚼機能の低下がみられる高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

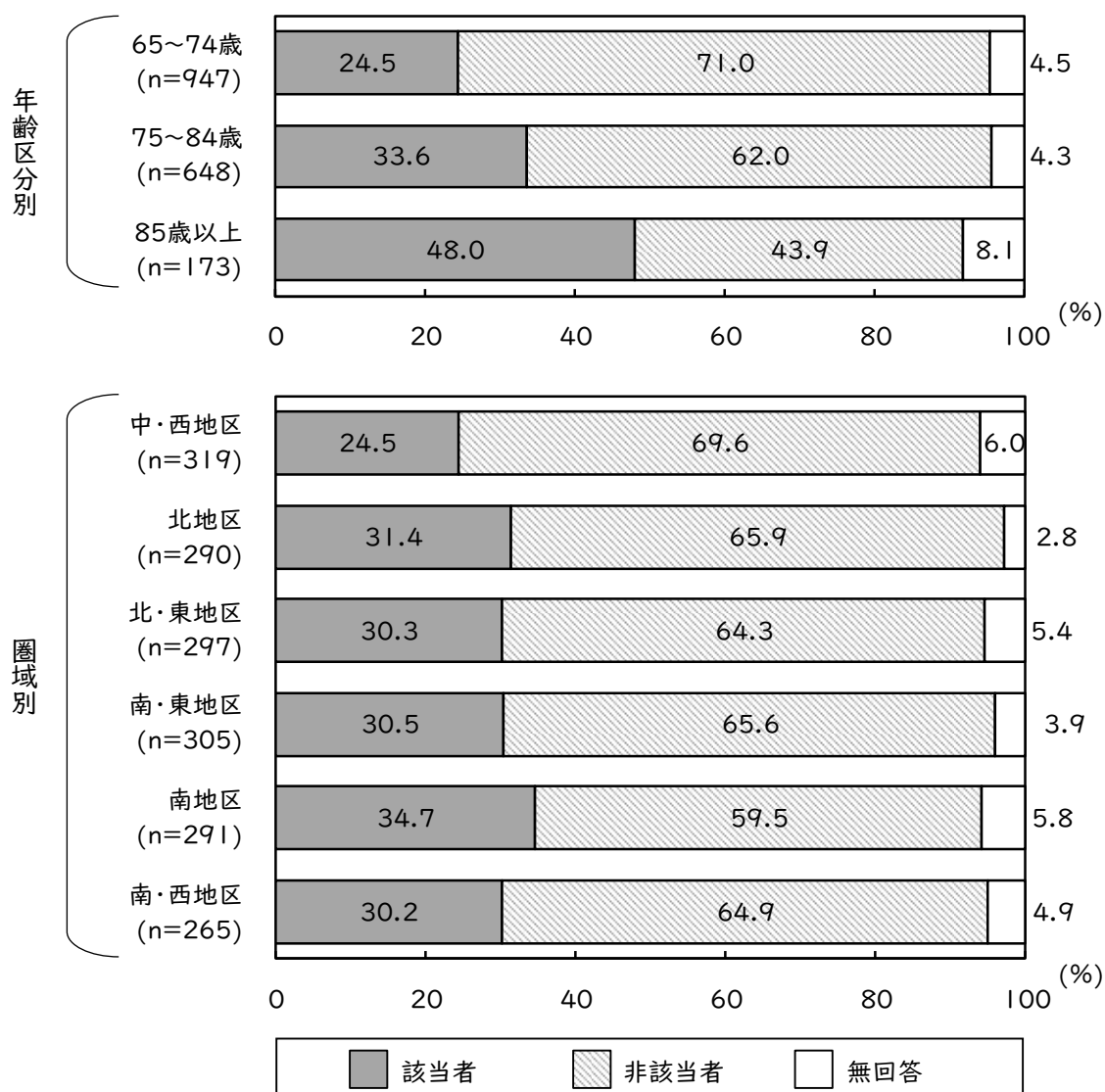
設問番号	設問	はい	いいえ	無回答
オ問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	30.1	64.9	5.0

「該当者」が30.1%、「非該当者」は64.9%となっており、「該当者」の割合は前回からほぼ変化はありません。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で24.5%、《75～84歳》で33.6%、《85歳以上》で48.0%と、《85歳以上》では約5割がリスク該当者となっています。

圏域別では《南地区》での割合が最も高く、34.7%となっています。



(6) 認知症リスク

■評価方法

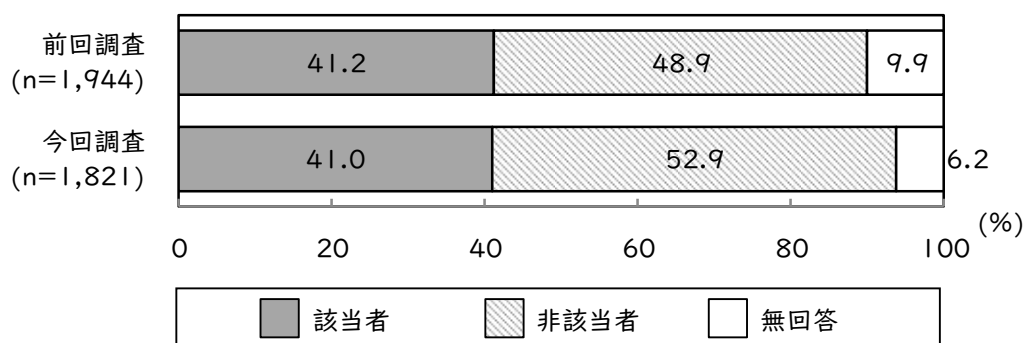
認知機能の低下を問う設問で該当する選択肢（「はい」）を回答した場合を、該当者（認知機能の低下がみられる高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

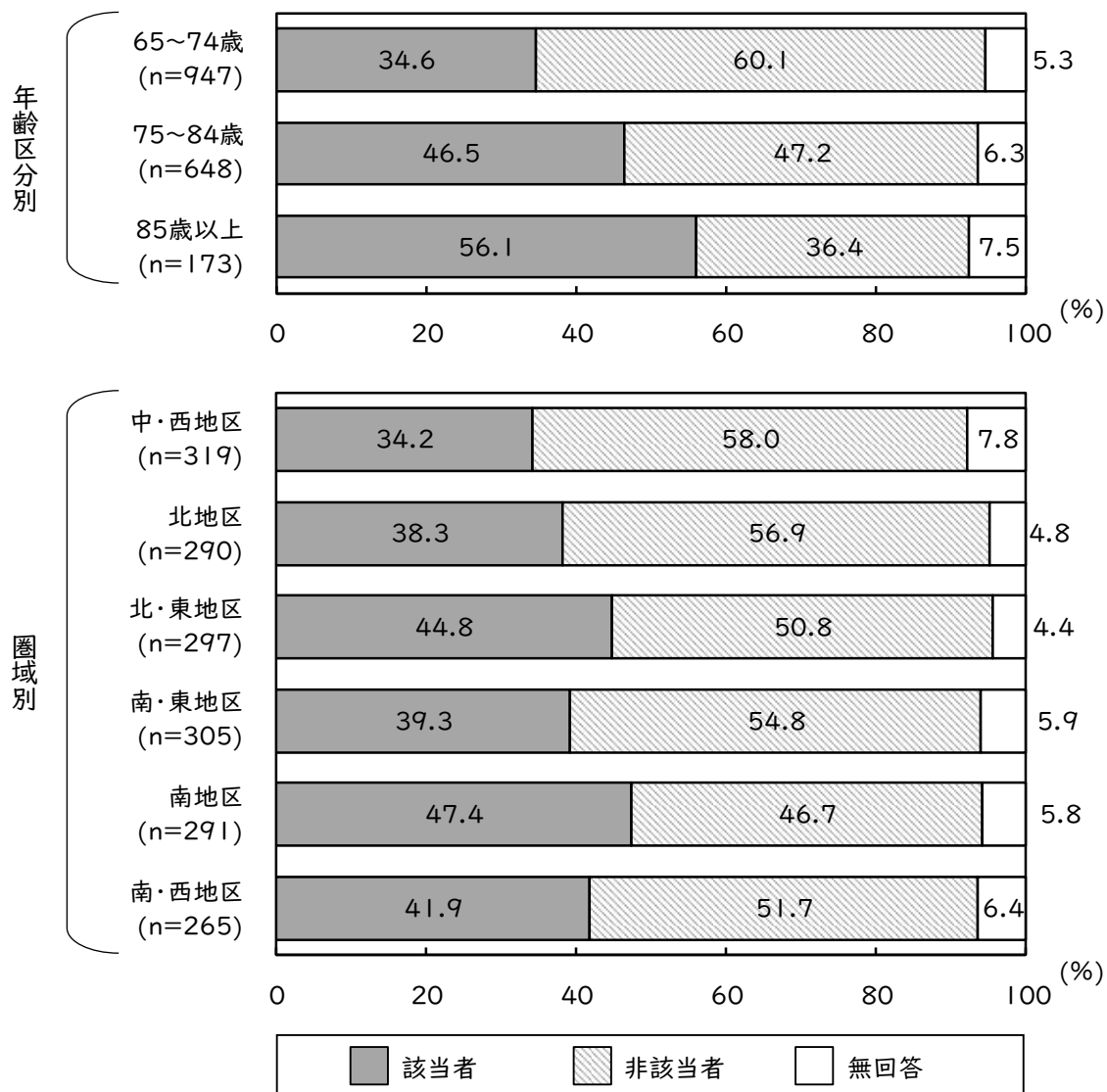
設問番号	設問	はい	いいえ	無回答
カ問1	物忘れが多いと感じますか。	41.0	52.9	6.2

「該当者」が41.0%、「非該当者」は52.9%となっており、「該当者」の割合は前回からほぼ変化はありません。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で34.6%、《75～84歳》で46.5%、《85歳以上》で56.1%と、《75～84歳》では4割台半ば、《85歳以上》では5割台半ばがリスク該当者となっています。

圏域別では《南地区》での割合が47.4%と最も高くなっていますが、《北・東地区》、《南・西地区》でも割合が高く、4割以上となっています（北・東地区：44.8%、南・西地区：41.9%）。



(7) 手段的自立度 (IADL)

■評価方法

以下の5つの設問について、該当する選択肢（「できるし、している」または「できるけどしていない」）を回答した場合を1点とし、合計点が5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価しました（5点満点評価）。

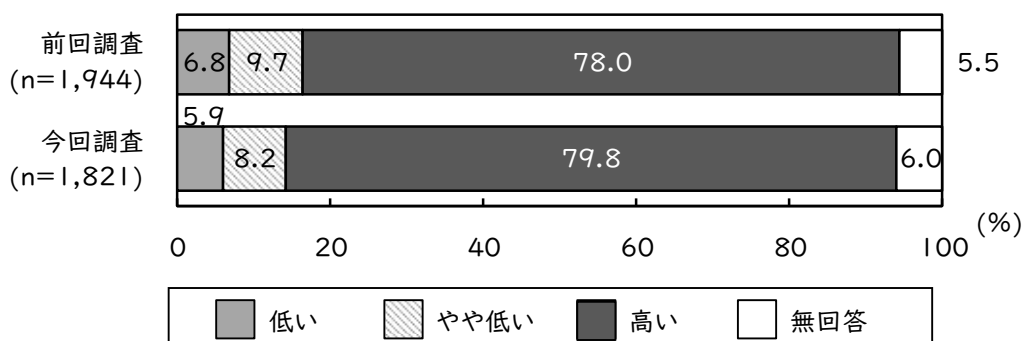
■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

設問番号	設問	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
カ問2	バスや電車を使って一人で外出していますか。（自家用車でも可）	73.9	14.4	7.2	4.5
カ問3	自分で食品・日用品の買物をしていきますか。	78.9	13.1	3.8	4.2
カ問4	自分で食事の用意をしていますか。	65.4	22.0	8.7	4.0
カ問5	自分で請求書の支払いをしていますか。	77.9	15.0	2.7	4.3
カ問6	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	77.8	14.0	4.5	3.7

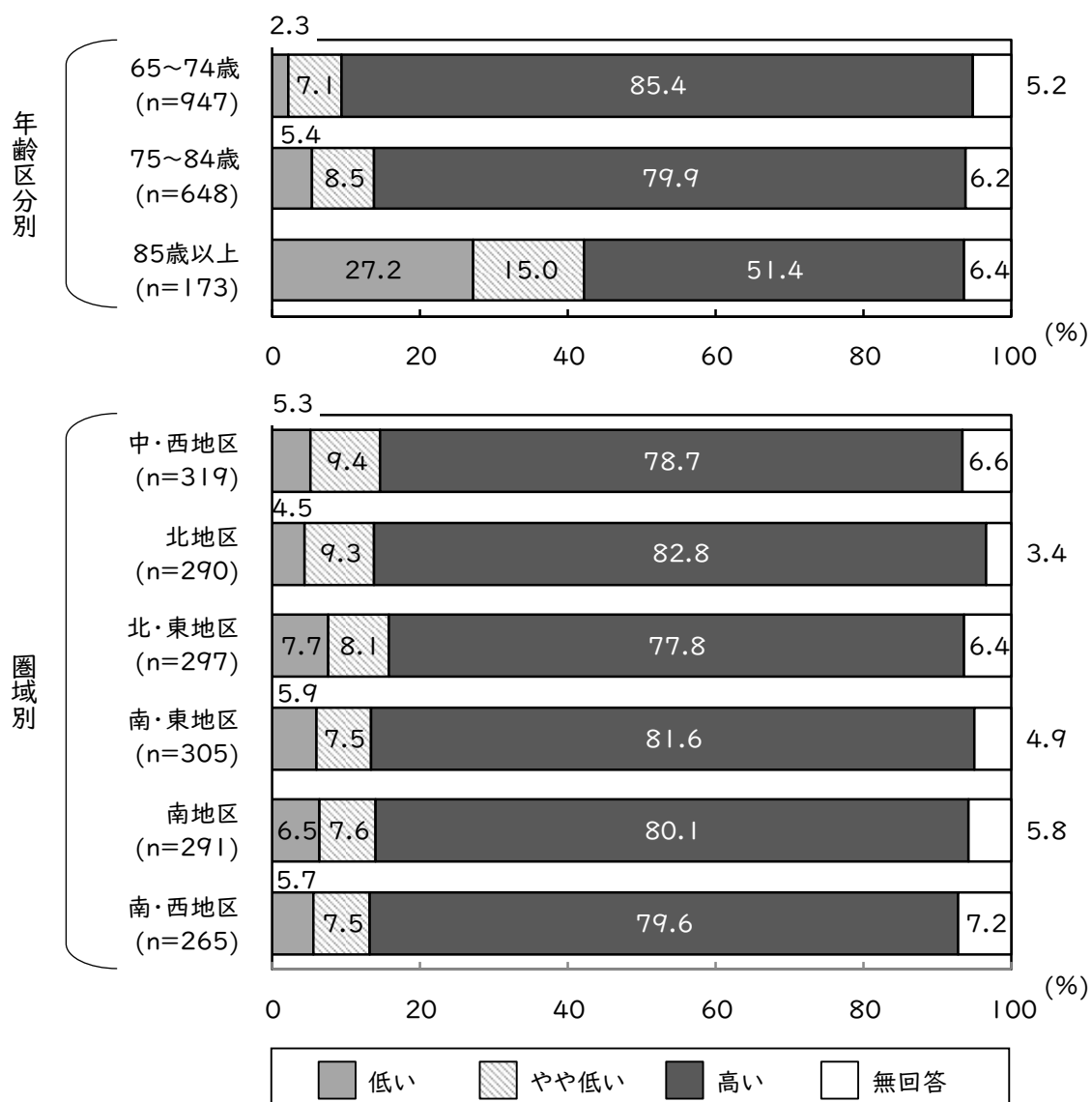
※手段的自立度（IADL）：買物・外出等の日常生活を自分で行っているかどうかに着目し、自立している水準を測る指標。

「低い」は5.9%、「やや低い」は8.2%で、ともに減少傾向にあります。『リスク該当者』（「低い」+「やや低い」）は14.1%となっています。



『リスク該当者』の割合は、《65～74歳》で9.4%、《75～84歳》で13.9%、《85歳以上》で42.2%と、《85歳以上》から急増しています。

圏域別では《北・東地区》での割合が最も高く、15.8%となっています。



(8) うつ傾向

■評価方法

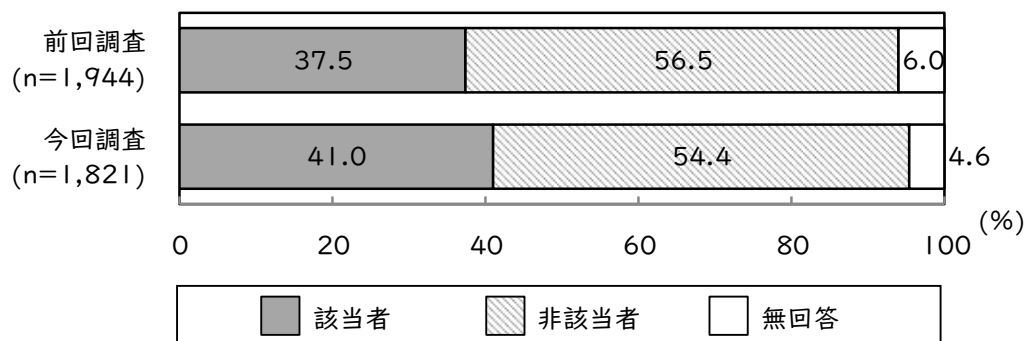
以下の2つの設問中いずれか1つでも該当する選択肢（「はい」）と回答した場合を、該当者（うつ傾向の高齢者）としました。

■評価に使用した調査設問結果【一般高齢者（n=1,821）】

単位：%

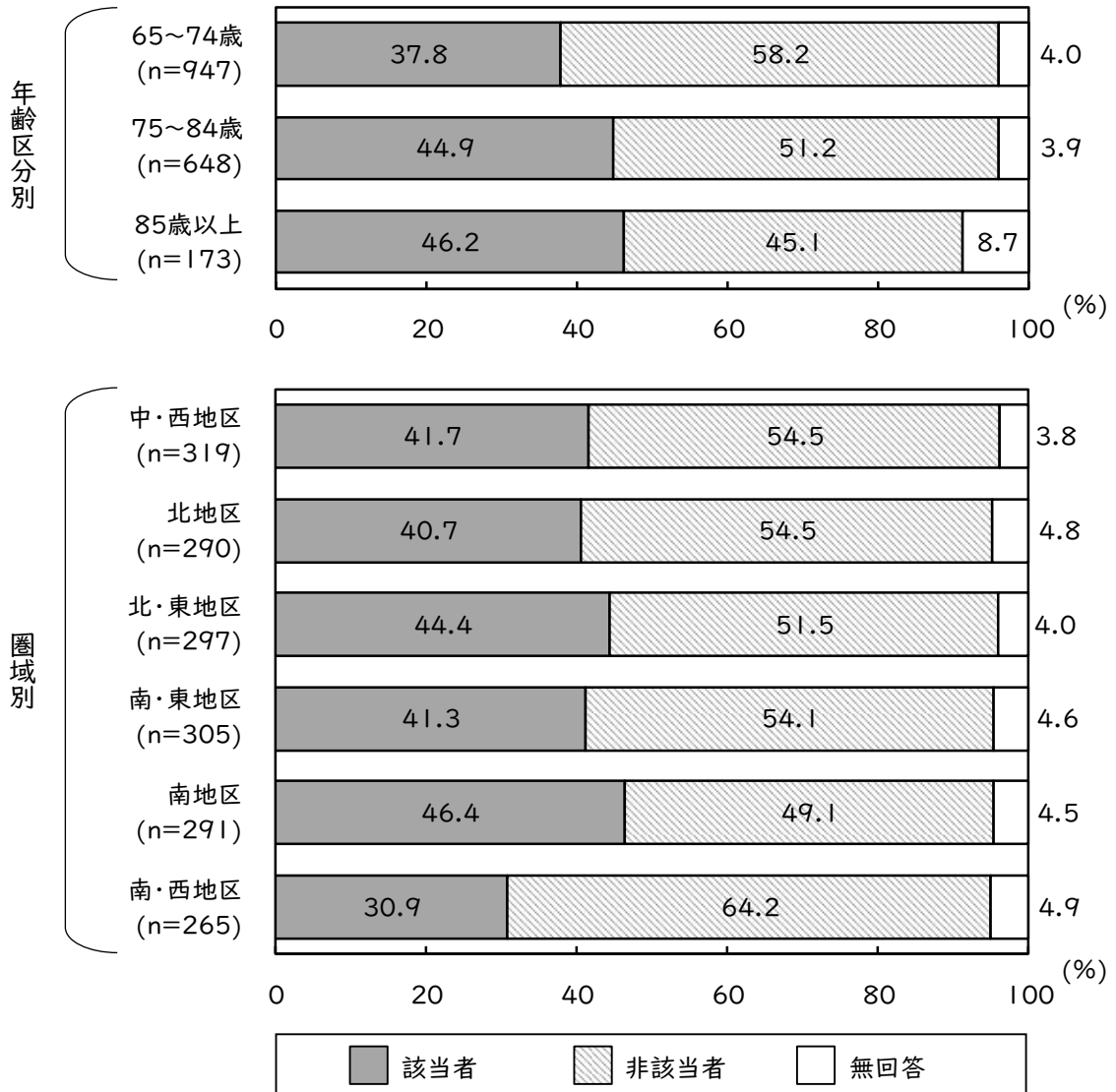
設問番号	設問	はい	いいえ	無回答
ケ問3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	37.9	57.6	4.5
ケ問4	この一か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	23.2	71.6	5.2

「該当者」が41.0%、「非該当者」は54.4%となっており、「該当者」は前回より3.5ポイント増加しています。



「該当者」の割合は、《65～74歳》で37.8%、《75～84歳》で44.9%、《85歳以上》で46.2%と、75歳以上では4割以上がリスク該当者となっています。また、《75～84歳》から《85歳以上》にかけての増加幅は小さくなっています。

圏域別では《南地区》での割合が最も高く、46.4%となっています。割合が最も低いのは《南・西地区》で(30.9%)、それ以外の地区では4割以上となっています。



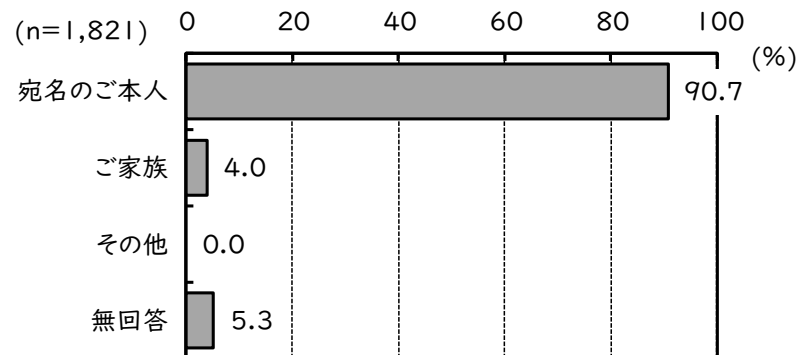
3

調查結果

ア. 調査票の回答者について

問1 この調査票にご記入いただいている方はどなたですか。(○は1つだけ)

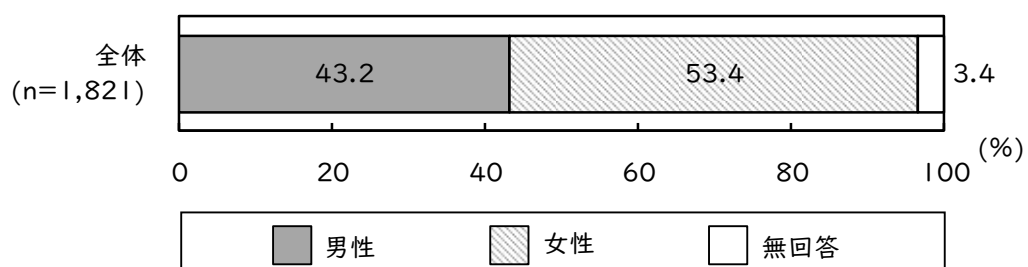
「宛名のご本人」が90.7%と大半を占めています。



イ. あなた (宛名のご本人) ご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

「男性」が43.2%、「女性」が53.4%となっています。

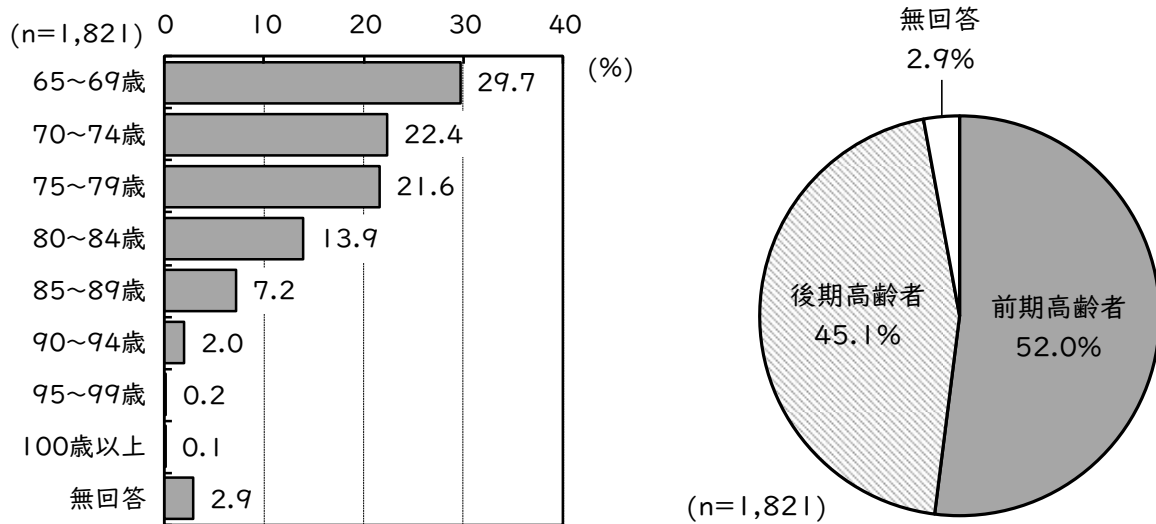


問2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つだけ)

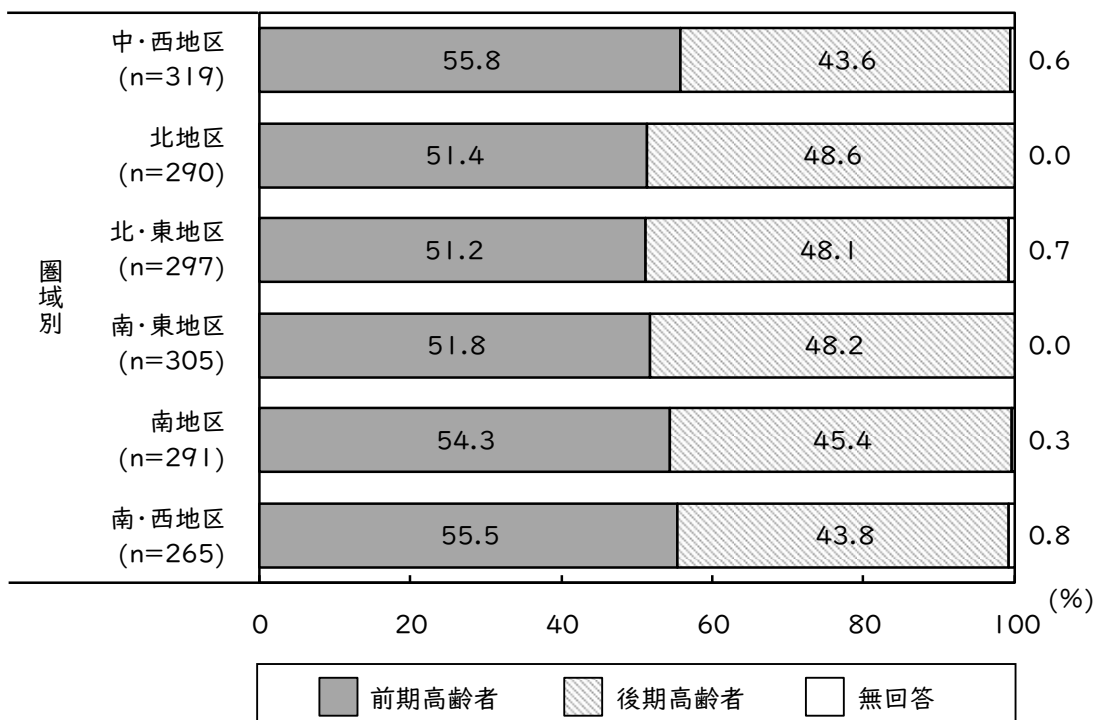
「65～69歳」が29.7%と最も高く、次いで、「70～74歳」が22.4%、「75～79歳」が21.6%、「80～84歳」が13.9%、「85～89歳」が7.2%となっています。

前期高齢者・後期高齢者の別でみると、「前期高齢者」が52.0%、「後期高齢者」が45.1%となっています。

また、どの地区でも「前期高齢者」の割合の方が高くなっています。



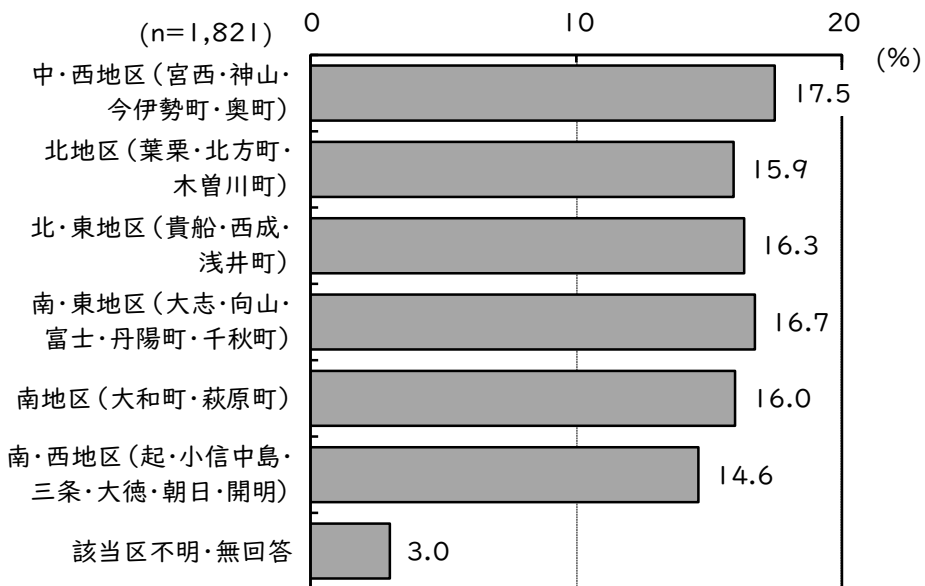
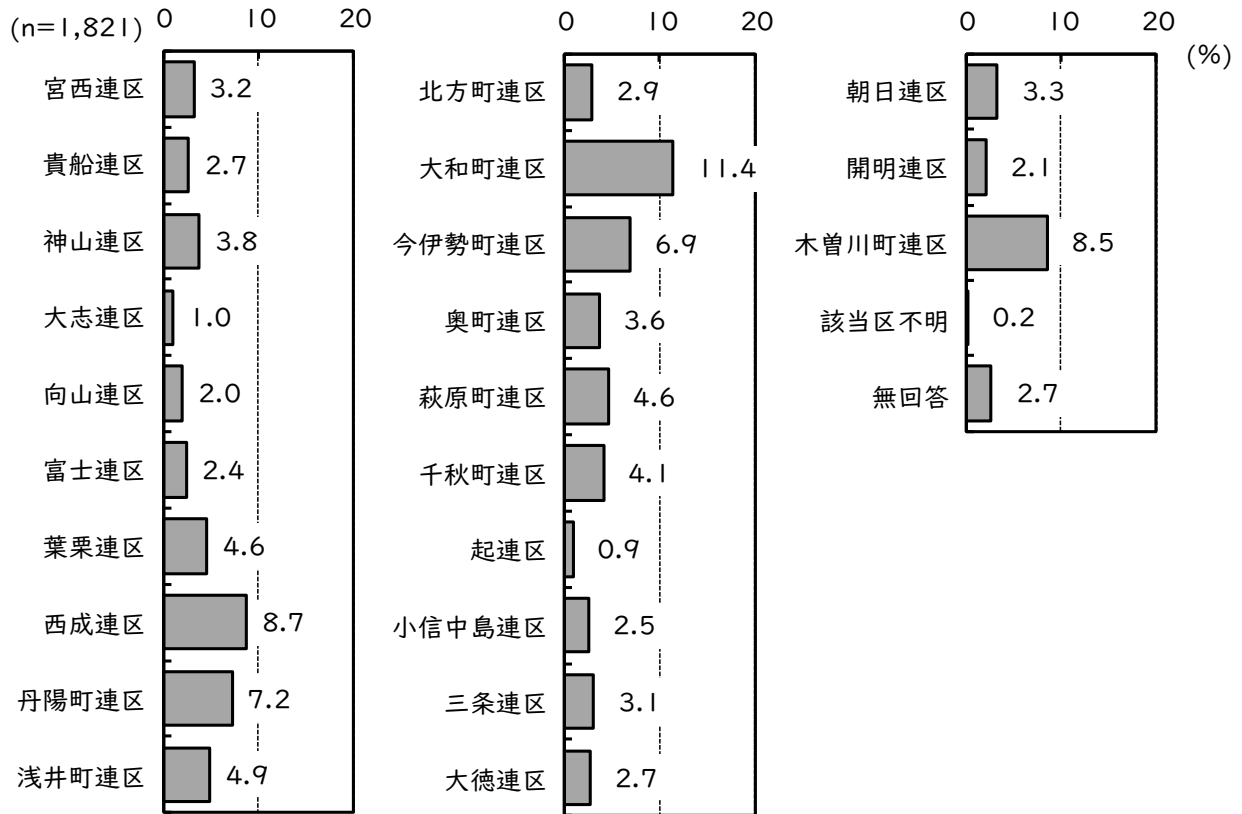
※割合は実数から計算しているため、年齢の割合の合計と「前期高齢者」、「後期高齢者」の割合は一致しない。



問3 あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つだけ)

連区で見ると、「大和町連区」が11.4%と最も高く、次いで、「西成連区」が8.7%、「木曾川町連区」が8.5%、「丹陽町連区」が7.2%、「今伊勢町連区」が6.9%となっています。

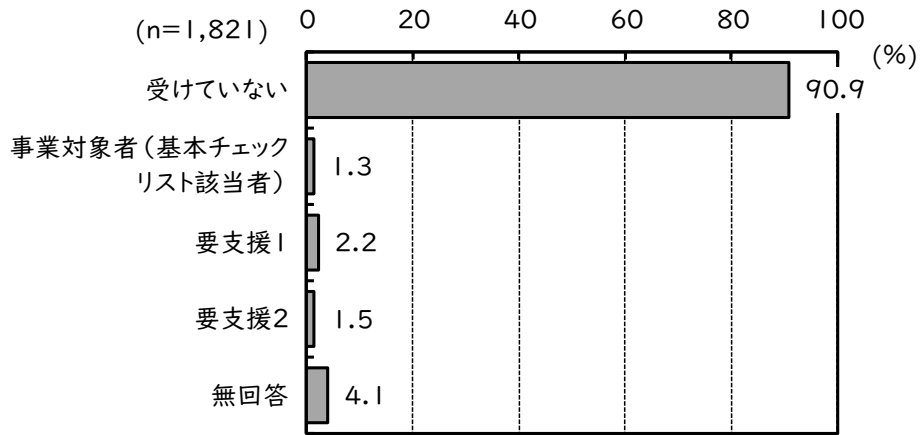
圏域で見ると、「中・西地区(宮西・神山・今伊勢町・奥町)」が17.5%と最も高くなっています。



※割合は実数から計算しているため、連区の割合の合計と地区の割合は一致しない。

問4 あなたの要介護度等は次のどれに該当しますか。(○は1つだけ)

「受けていない」が90.9%と大半を占めています。「事業対象者(基本チェックリスト該当者)」は1.3%、「要支援1」は2.2%、「要支援2」は1.5%となっています。

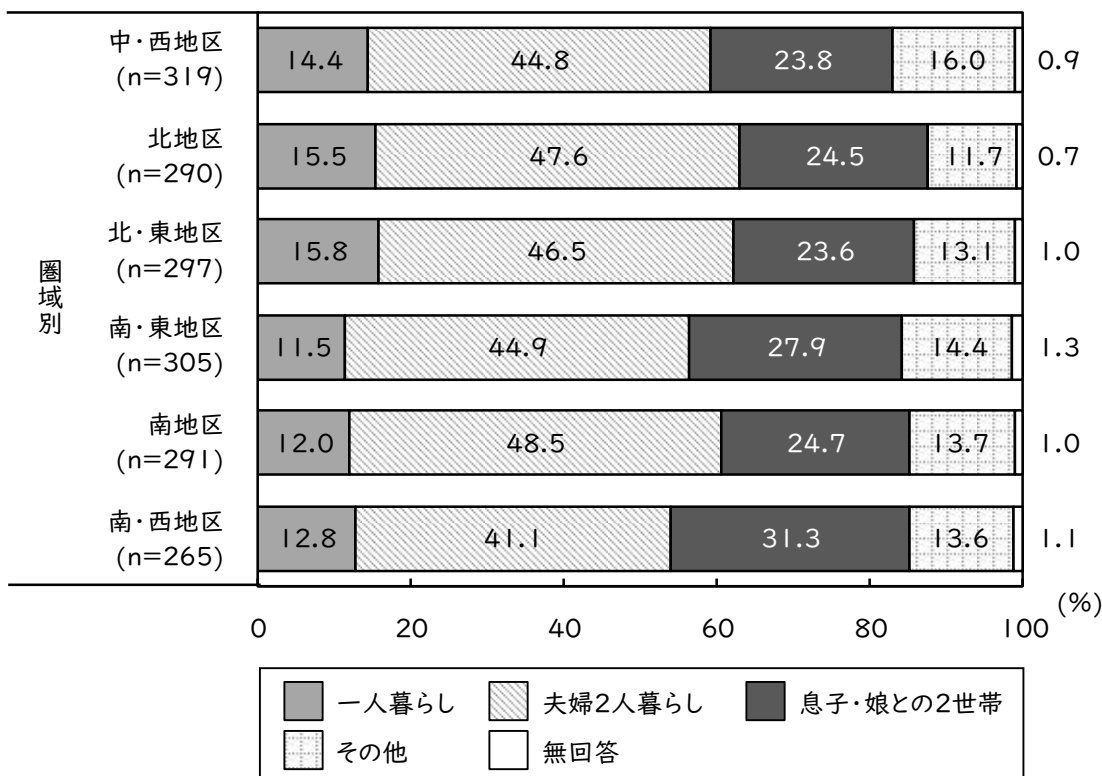
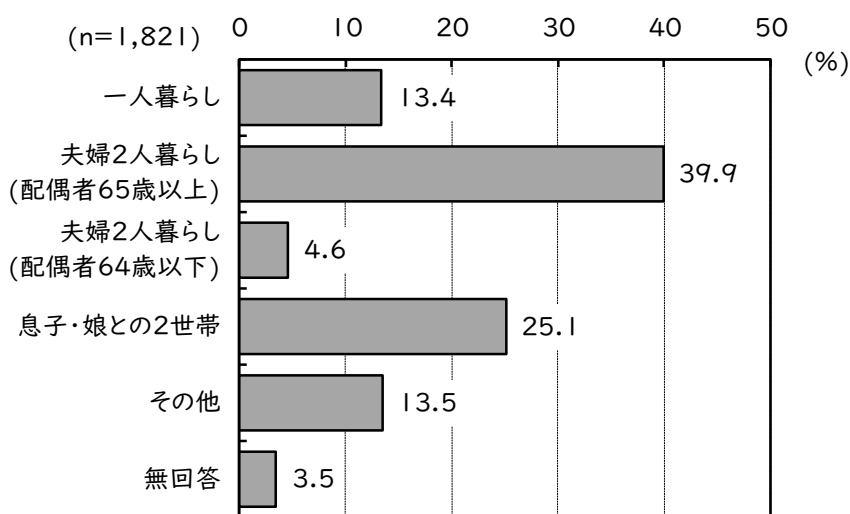


ウ. あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお答えください。(○は1つだけ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が39.9%と最も高く、次いで、「息子・娘との2世帯」が25.1%、「一人暮らし」が13.4%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.6%となっています。「夫婦2人暮らし」については44.5%となっています。

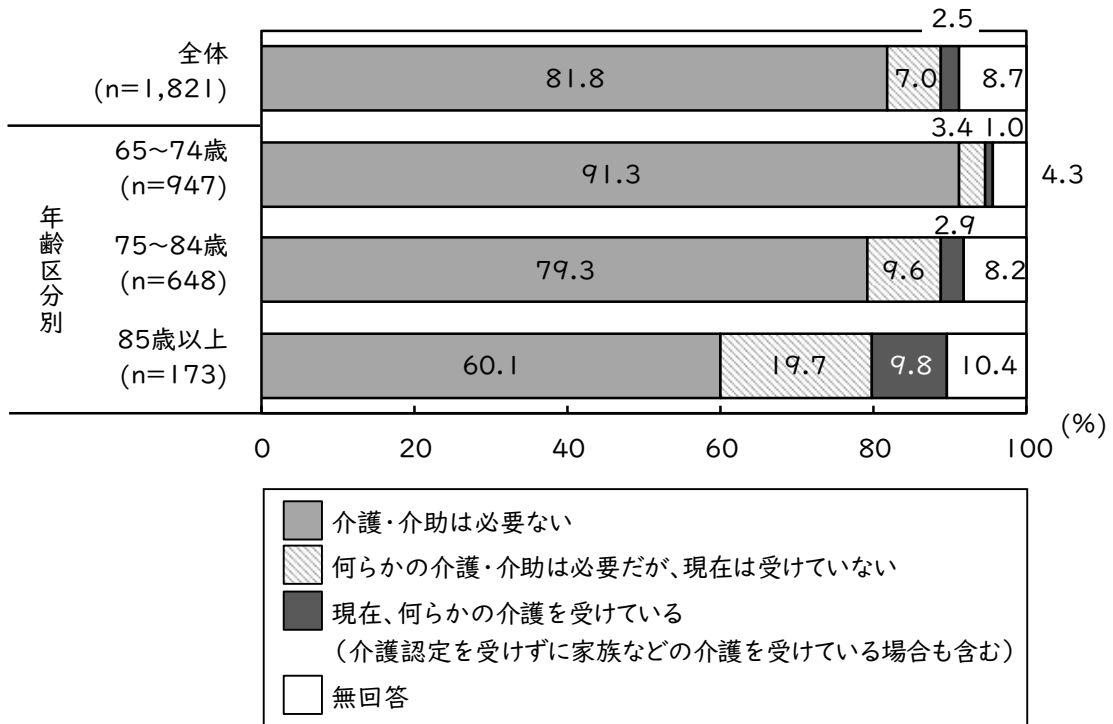
世帯構成を4区分で見ると、どの地区も「夫婦2人暮らし」の割合が高く、4割以上となっています。「一人暮らし」についてはどの地区も1割台となっていますが、《北地区》、《北・東地区》で高くなっています(北地区：15.5%、北・東地区：15.8%)。



問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つだけ)

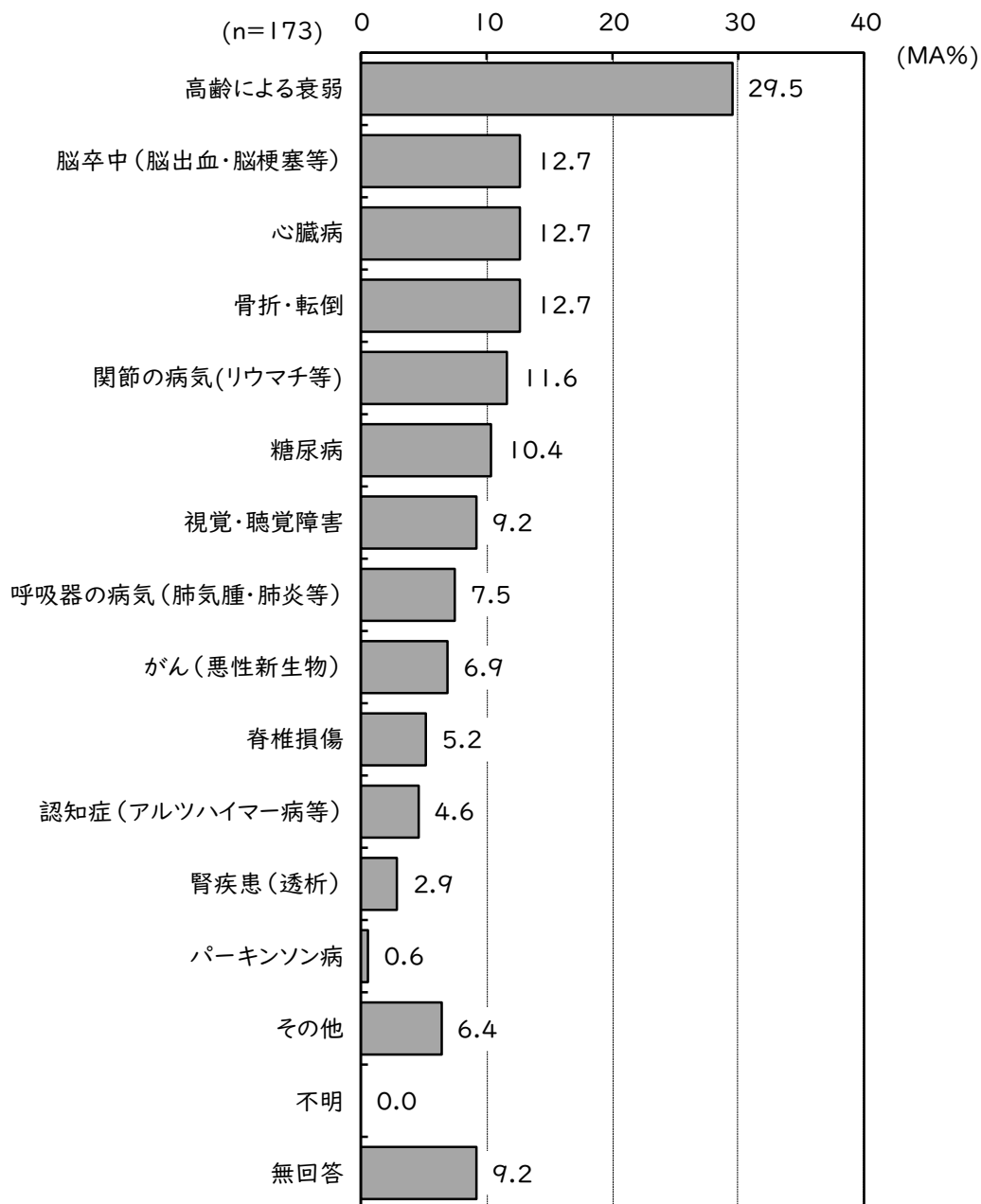
《全体》では、「介護・介助は必要ない」が81.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.0%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が2.5%となっています。

「介護・介助は必要ない」の割合は、年齢区分が上がるほど低くなり、特に《75～84歳》から《85歳以上》にかけての減少が大きく、《75～84歳》では79.3%であるのに対し、《85歳以上》では60.1%となっています。



〈介護を受けている方のみ（問2で「介護・介助は必要ない」以外の方）〉
 問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

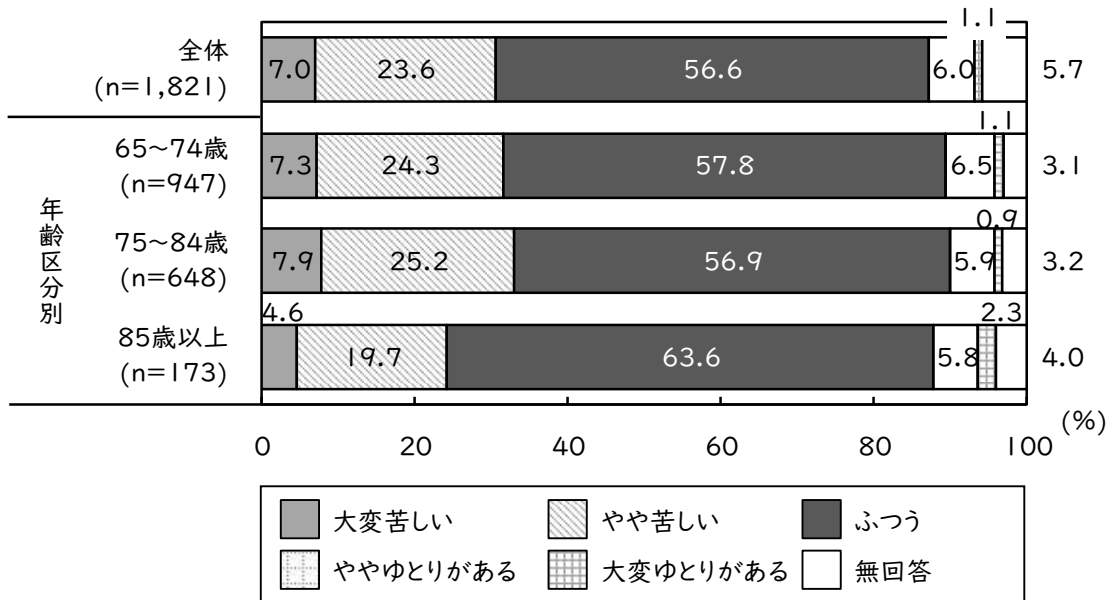
「高齢による衰弱」が29.5%と最も高く、次いで、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、「心臓病」、「骨折・転倒」がそれぞれ12.7%、「関節の病気（リウマチ等）」が11.6%となっています。



問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つだけ)

《全体》は、『苦しい』(「大変苦しい」+「やや苦しい」)が30.6%、「ふつう」が56.6%、「ゆとりがある」(「大変ゆとりがある」+「ややゆとりがある」)が7.1%となっています。

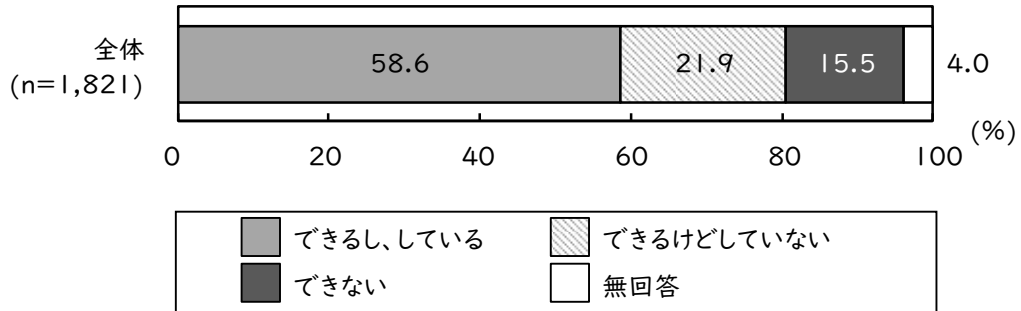
『苦しい』の割合は、《65～74歳》で31.6%、《75～84歳》で33.1%、《85歳以上》で24.3%と、《75～84歳》で最も高くなっています。



エ. からだを動かすことについて

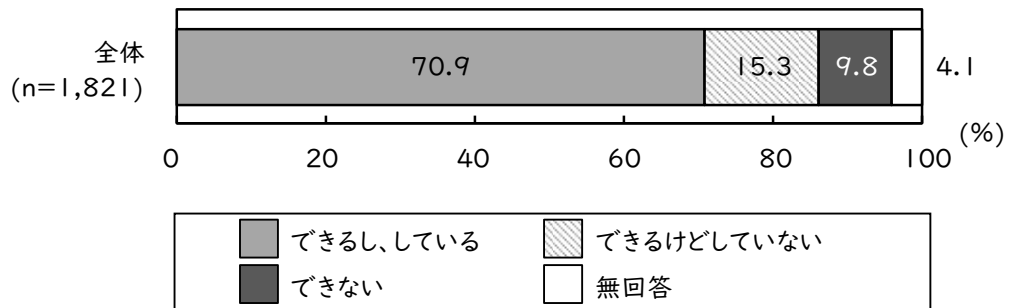
問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つだけ)

「できるし、している」が58.6%、「できるけどしていない」が21.9%、「できない」が15.5%となっています。



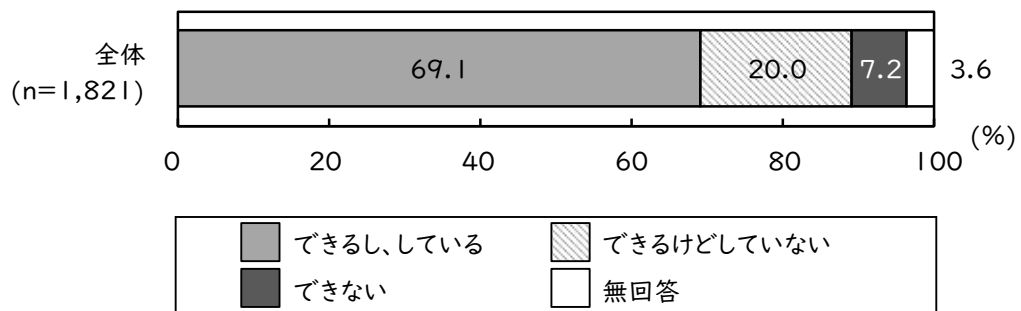
問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つだけ)

「できるし、している」が70.9%、「できるけどしていない」が15.3%、「できない」が9.8%となっています。



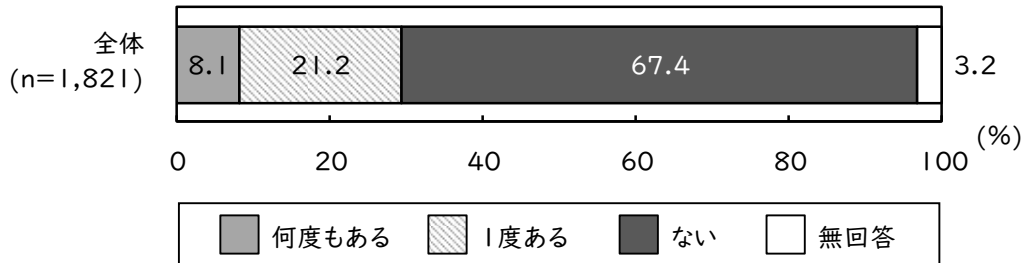
問3 15分位続けて歩いていますか。(○は1つだけ)

「できるし、している」が69.1%、「できるけどしていない」が20.0%、「できない」が7.2%となっています。



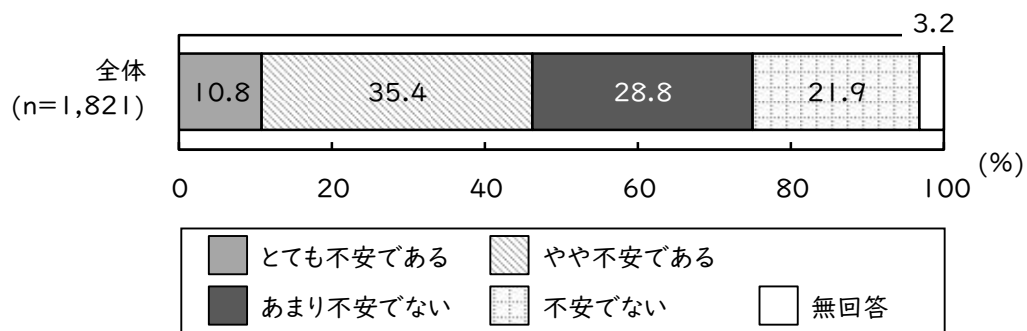
問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つだけ)

「何度もある」が8.1%、「1度ある」が21.2%、「ない」が67.4%となっています。



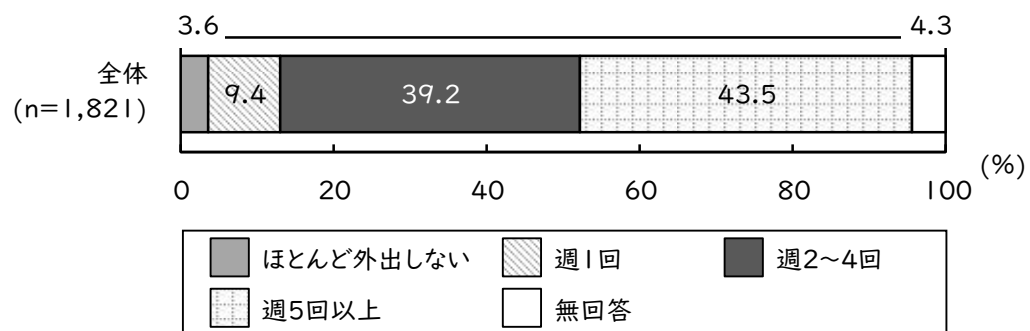
問5 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つだけ)

『不安がある』(「とても不安である」+「やや不安である」)が46.2%、『不安でない』(「不安でない」+「あまり不安でない」)が50.7%となっています。



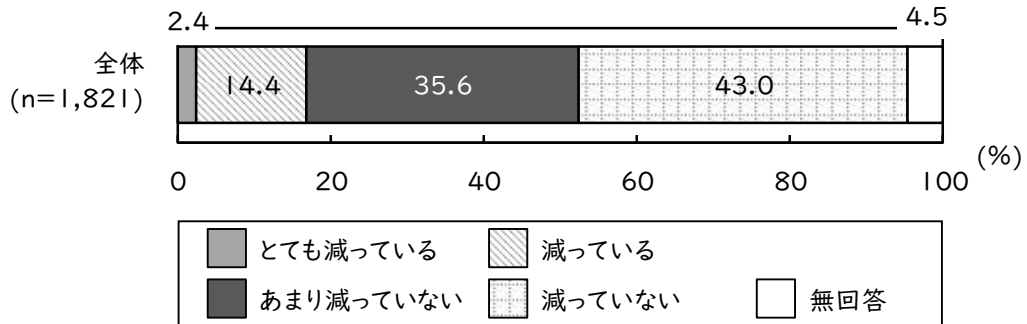
問6 週に1回以上は外出していますか。(○は1つだけ)

「週5回以上」が43.5%と最も高く、次いで、「週2～4回」が39.2%となっています。



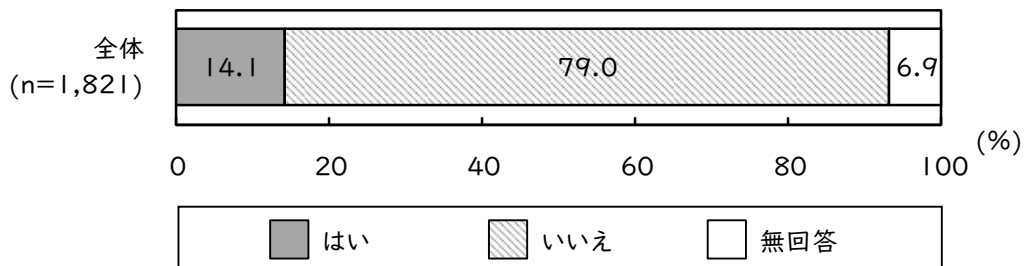
問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つだけ)

『減っている』(「とても減っている」+「減っている」)が16.8%、『減っていない』(「減っていない」+「あまり減っていない」)が78.6%となっています。



問8 外出を控えていますか。(○は1つだけ)

「はい」が14.1%、「いいえ」が79.0%となっています。



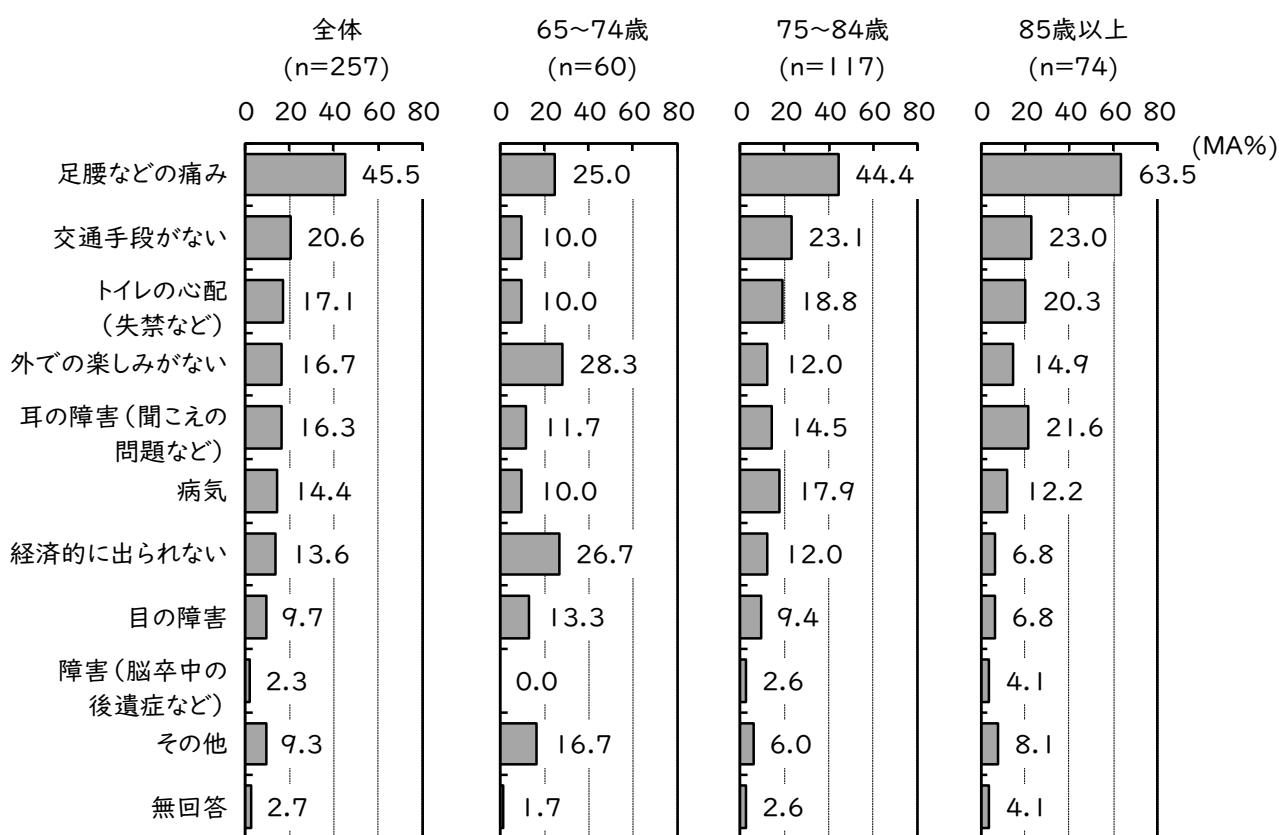
〈外出を控えている方のみ（問8で「はい」の方）〉

問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（〇はいくつでも）

《全体》では、「足腰などの痛み」が45.5%と最も高く、次いで、「交通手段がない」が20.6%、「トイレの心配（失禁など）」が17.1%となっています。

年齢区分別にみると、《75～84歳》、《85歳以上》では「足腰などの痛み」、「交通手段がない」の順に割合が高いのに対し、《65～74歳》では「外での楽しみがない」、「経済的に出られない」の順に高くなっています。また、「足腰の痛み」については、年齢区分が上がるほど割合が大きく増加し、《65～74歳》では25.0%であるのに対し、《85歳以上》では63.5%となっています。

【年齢区分別】

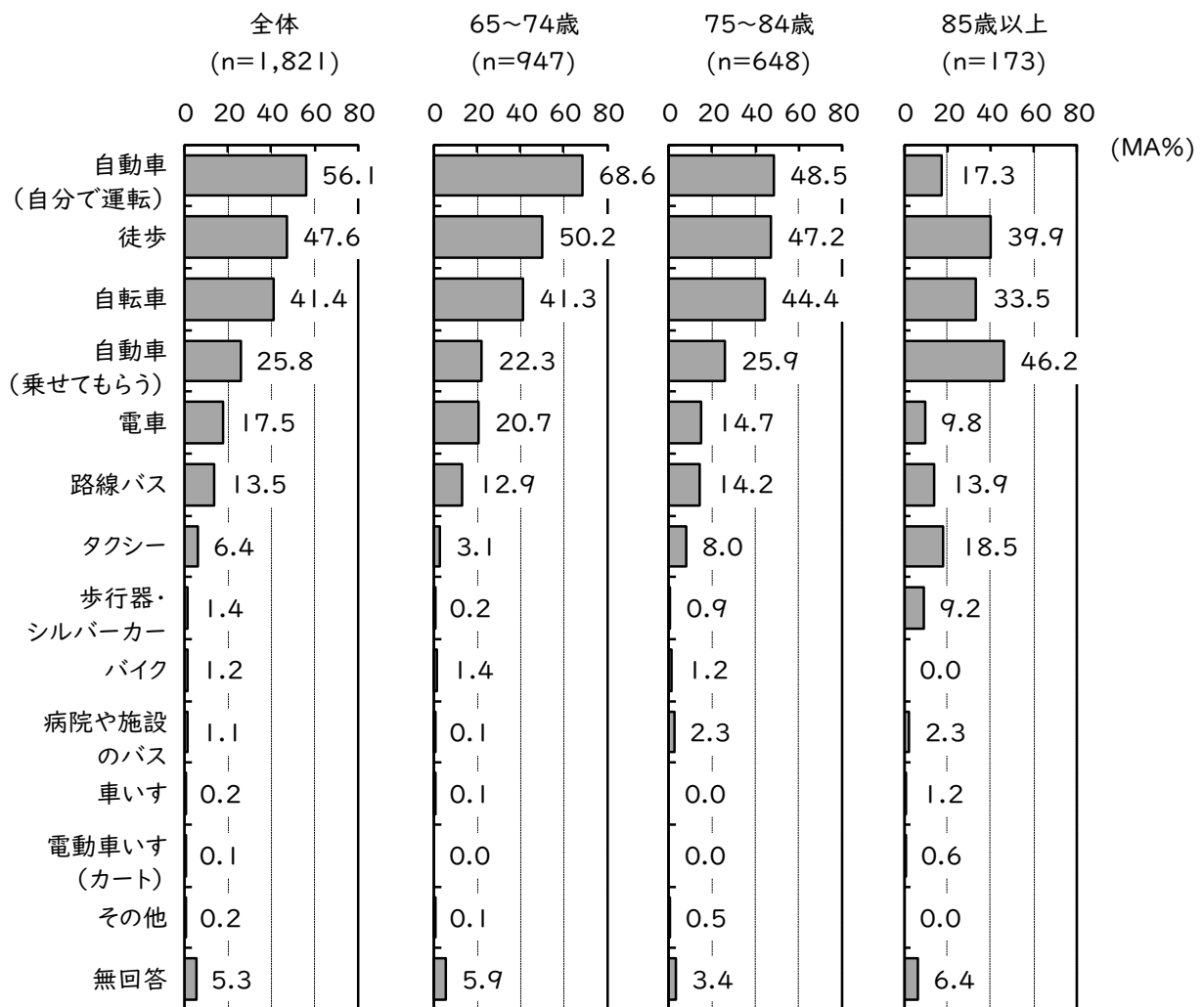


問9 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

《全体》では、「自動車（自分で運転）」が56.1%と最も高く、次いで、「徒歩」が47.6%、「自転車」が41.4%となっています。

年齢区分別にみると、《65～74歳》、《75～84歳》では、「自動車（自分で運転）」が最も高いのに対し、《85歳以上》では「自動車（乗せてもらう）」が最も高くなっています。また、《85歳以上》では「自動車（乗せてもらう）」、「タクシー」の割合が他の項目に比べて高くなっています。

【年齢区分別】

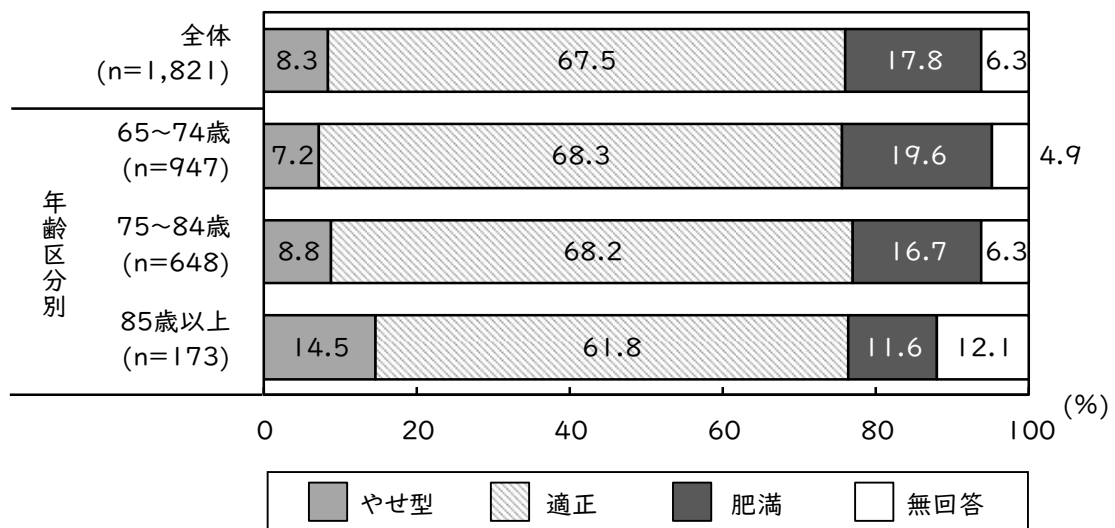


オ. 食べることについて

問1 あなたの身長・体重についてお答えください。

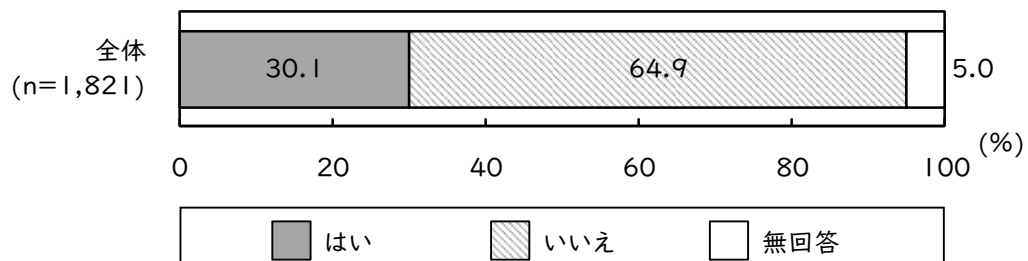
身長・体重からBMIを算出すると、《全体》では、「やせ型」が8.3%、「適正」が67.5%、「肥満」が17.8%となっています。

「やせ型」の割合は年齢区分が上がるほど高くなり、特に《75～84歳》から《85歳以上》にかけての増加が大きく、《75～84歳》では1割未満であるのに対し、《85歳以上》では14.5%となっています。



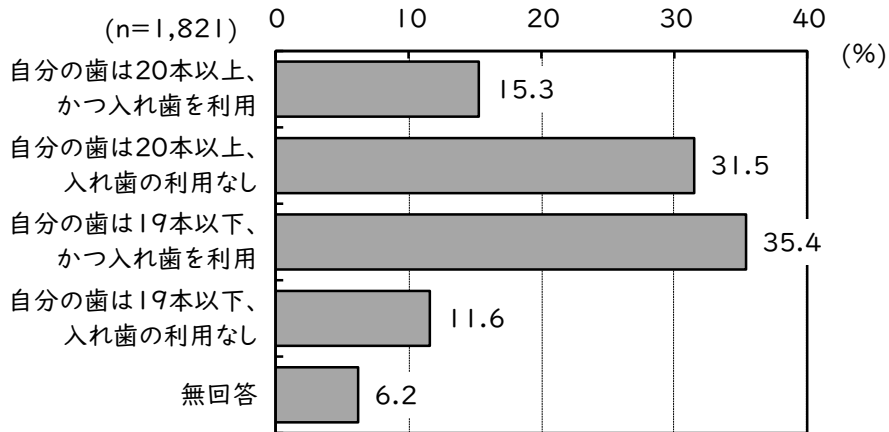
問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つだけ)

「はい」が30.1%、「いいえ」が64.9%となっています。



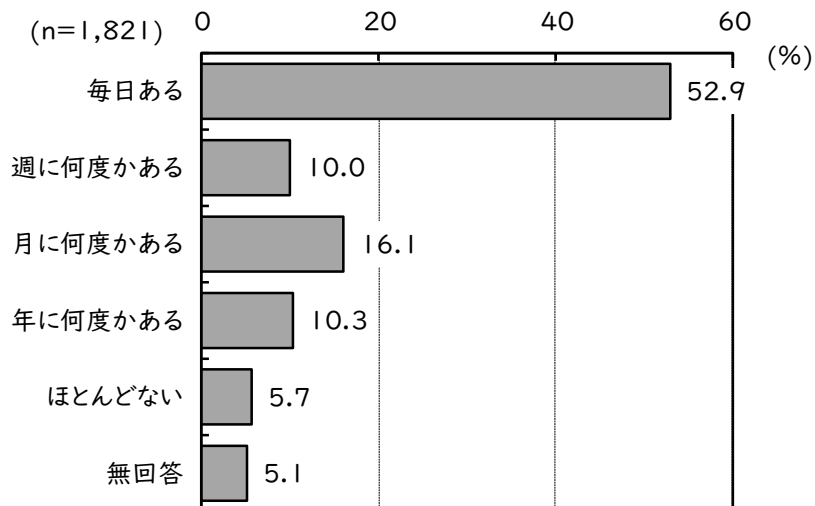
問3 歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。(○は1つだけ)

「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.4%と最も高く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.5%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.3%となっています。



問4 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つだけ)

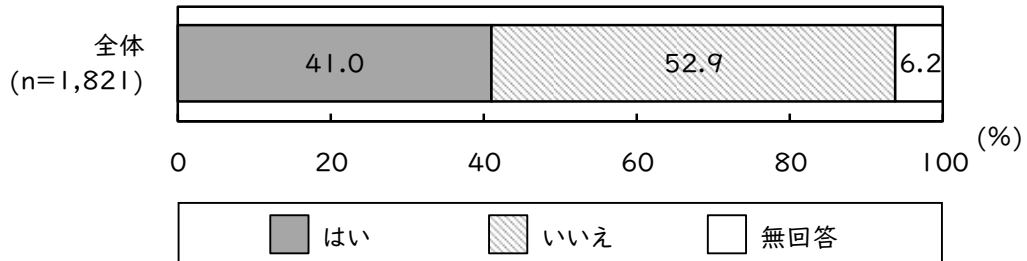
「毎日ある」が52.9%と最も高く、次いで、「月に何度かある」が16.1%、「年に何度かある」が10.3%、「週に何度かある」が10.0%となっています。



カ. 毎日の生活について

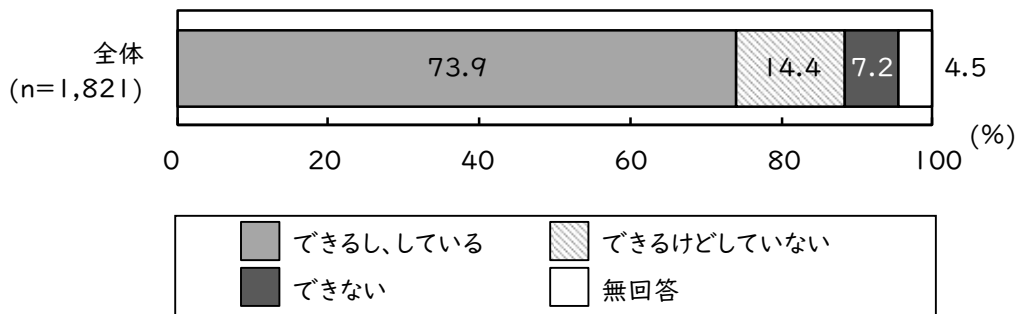
問1 物忘れが多いと感じますか。(○は1つだけ)

「はい」が41.0%、「いいえ」が52.9%となっています。



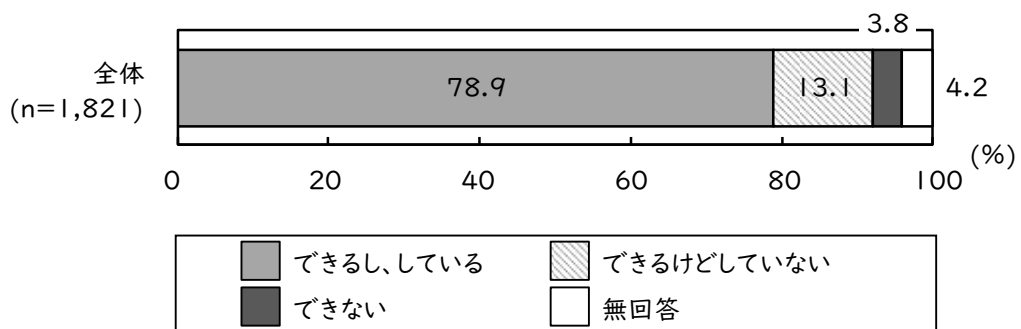
問2 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つだけ)

「できるし、している」が73.9%、「できるけどしていない」が14.4%、「できない」が7.2%となっています。



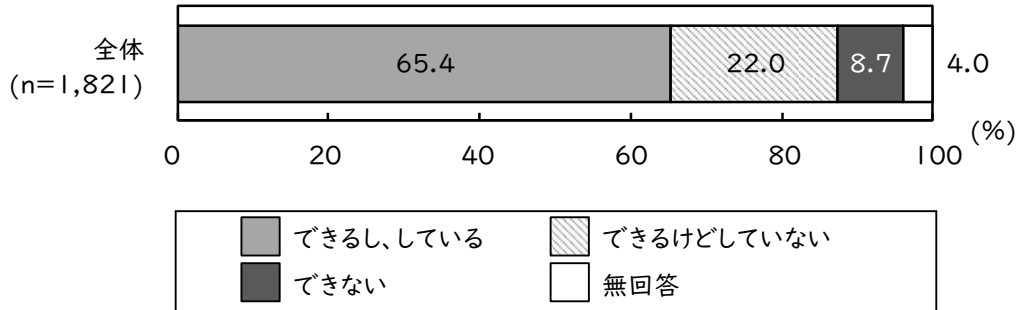
問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つだけ)

「できるし、している」が78.9%、「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が3.8%となっています。



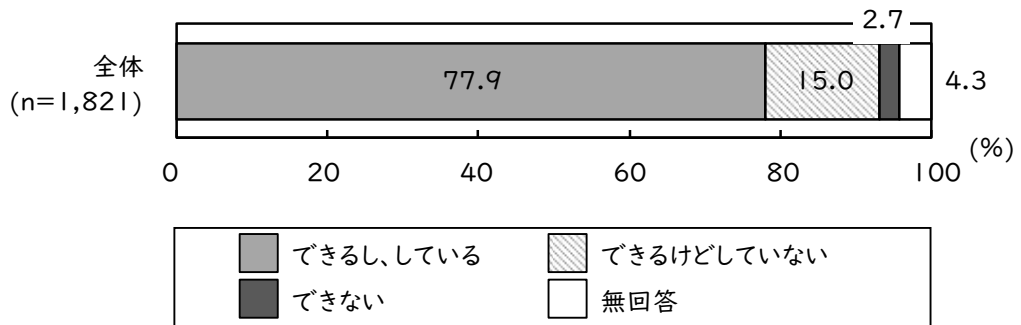
問4 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つだけ)

「できるし、している」が65.4%、「できるけどしていない」が22.0%、「できない」が8.7%となっています。



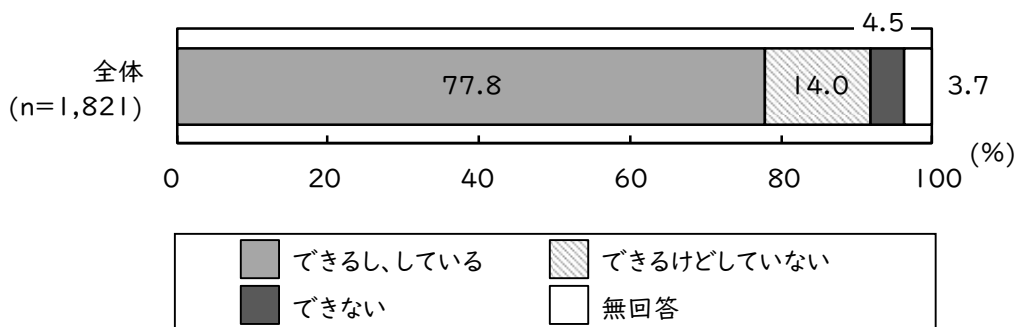
問5 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つだけ)

「できるし、している」が77.9%、「できるけどしていない」が15.0%、「できない」が2.7%となっています。



問6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つだけ)

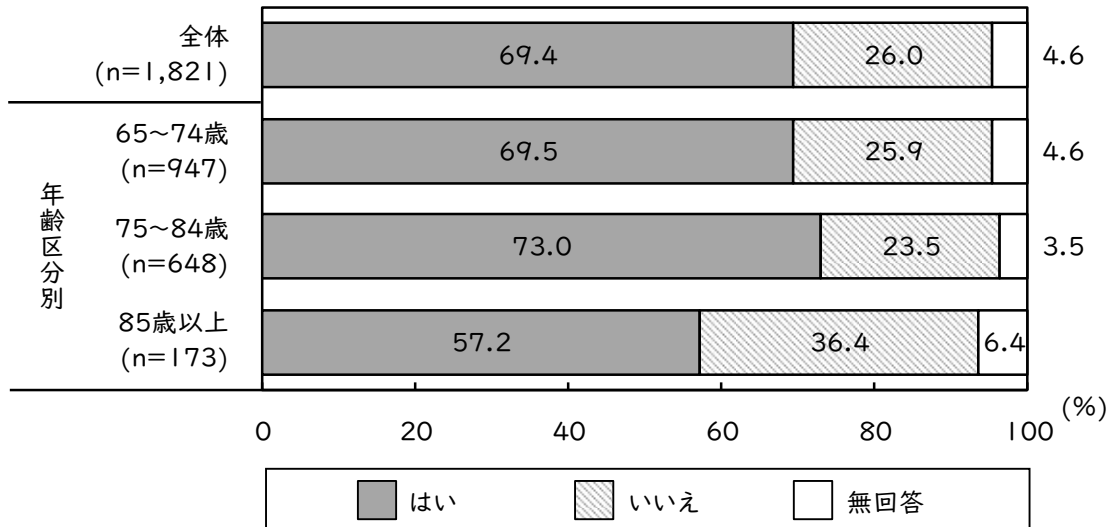
「できるし、している」が77.8%、「できるけどしていない」が14.0%、「できない」が4.5%となっています。



問7 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つだけ)

「はい」が69.4%、「いいえ」が26.0%となっています。

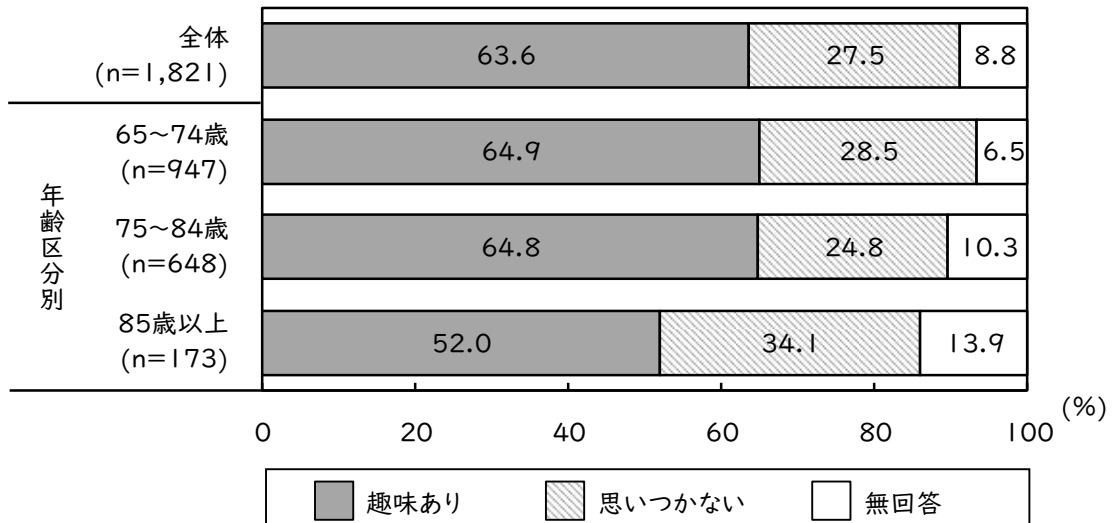
「はい」の割合は、《75～84歳》から《85歳以上》にかけて大きく減少し、《75～84歳》では73.0%であるのに対し、《85歳以上》では57.2%となっています。



問8 趣味はありますか。(○は1つだけ)

「趣味あり」が63.6%、「思いつかない」が27.5%となっています。

「趣味あり」の割合は、《75～84歳》から《85歳以上》にかけて大きく減少し、《75～84歳》では64.8%であるのに対し、《85歳以上》では52.0%となっています。



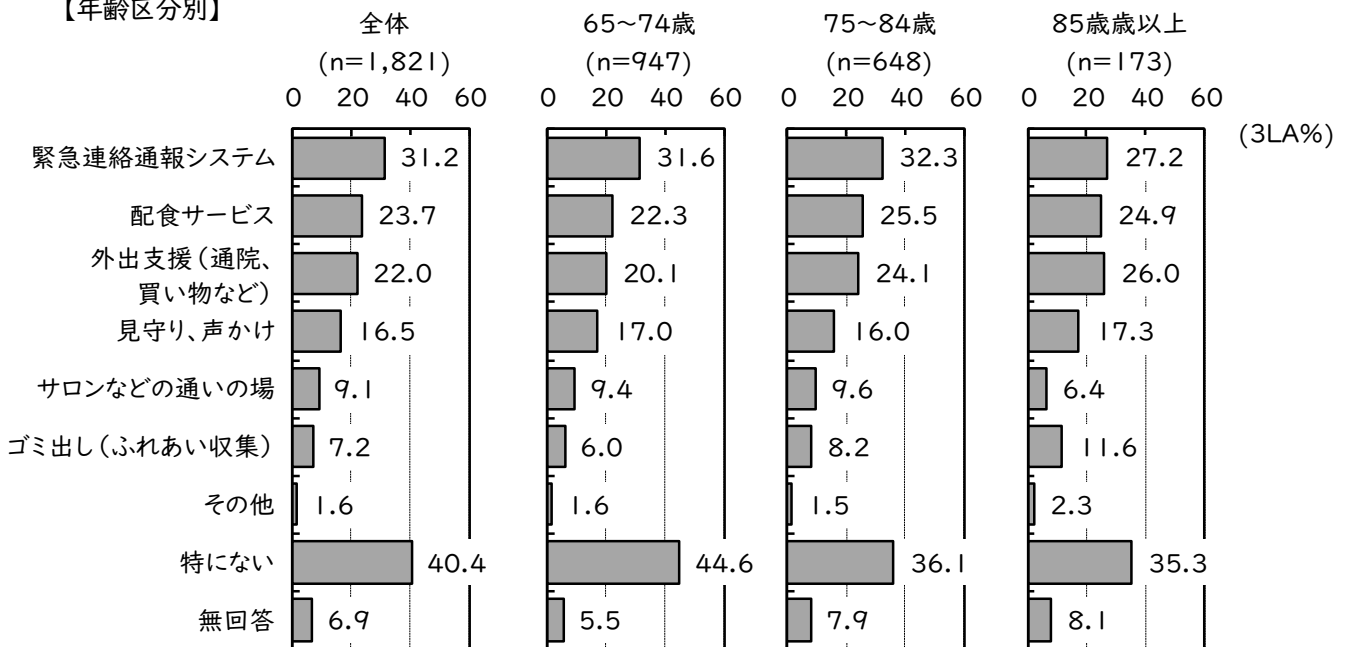
問9 今後、自宅で生活していく上で、必要だと思う支援・サービスについてお答えください。
(〇は3つまで)

《全体》では、「特にない」を除くと、「緊急連絡通報システム」が31.2%と最も高く、次いで、「配食サービス」が23.7%、「外出支援（通院、買い物など）」が22.0%となっています。「特にない」については40.4%となっています。

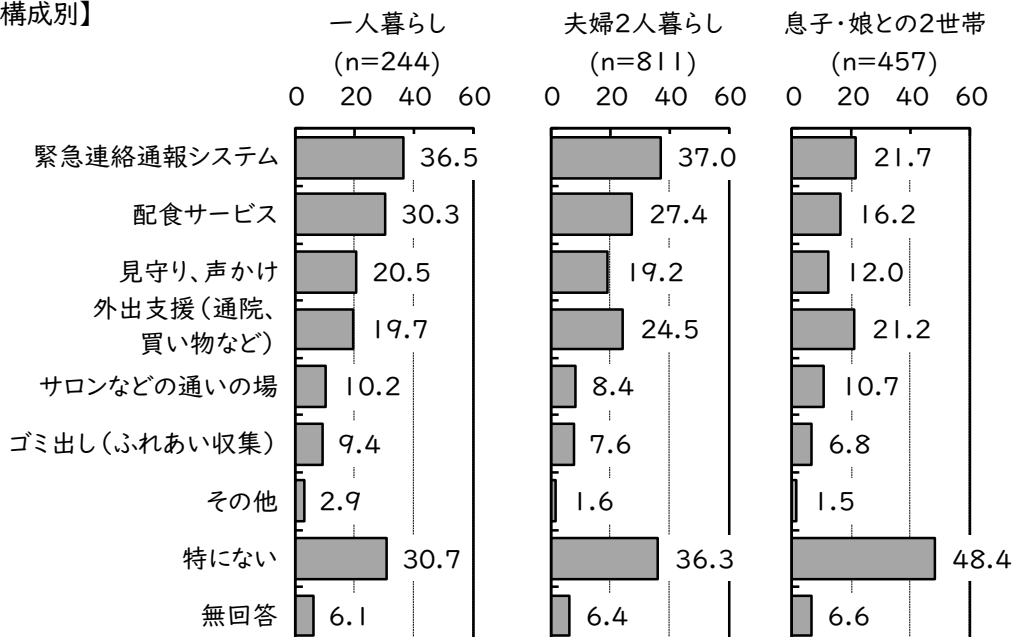
年齢区分別でも、どの区分も「緊急連絡通報システム」、「配食サービス」、「外出支援（通院、買い物など）」が上位となっていますが、「外出支援（通院、買い物など）」については年齢区分が上がるほど割合が高くなる傾向にあります。

世帯構成別にみると、《一人暮らし》、《夫婦2人暮らし》での「緊急連絡通報システム」、「配食サービス」の割合は、《息子・娘との2世帯》に比べて高く、2割後半から3割後半となっています。

【年齢区分別】



【世帯構成別】



【圏域別】

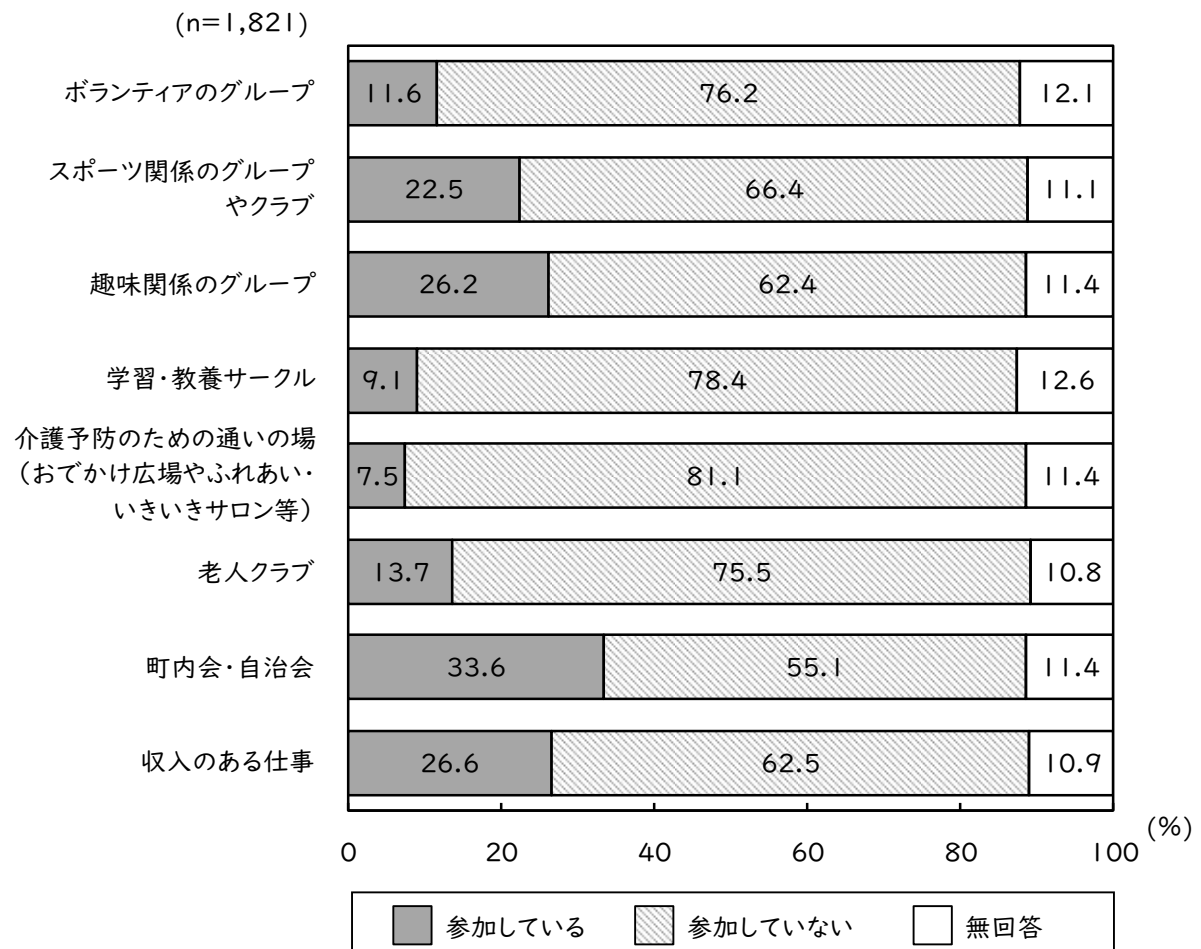
上段:件数、 下段:%	調査数	配食サー ビス	緊急連絡 通報シス テム	ゴミ出し (ふれあい 収集)	外出支援 (通院、買 い物など)	見守り、声 かけ	サロンな どの通い の場	その他	特にな い	無回答
中・西地区	319 100.0	86 27.0	104 32.6	19 6.0	56 17.6	53 16.6	26 8.2	4 1.3	134 42.0	22 6.9
北地区	290 100.0	65 22.4	101 34.8	22 7.6	68 23.4	55 19.0	21 7.2	7 2.4	110 37.9	19 6.6
北・東地区	297 100.0	75 25.3	88 29.6	22 7.4	63 21.2	41 13.8	24 8.1	2 0.7	127 42.8	19 6.4
南・東地区	305 100.0	64 21.0	90 29.5	22 7.2	70 23.0	49 16.1	40 13.1	7 2.3	127 41.6	16 5.2
南地区	291 100.0	69 23.7	93 32.0	22 7.6	69 23.7	46 15.8	27 9.3	3 1.0	113 38.8	21 7.2
南・西地区	265 100.0	59 22.3	76 28.7	23 8.7	64 24.2	49 18.5	24 9.1	5 1.9	108 40.8	19 7.2

キ. 地域での活動について

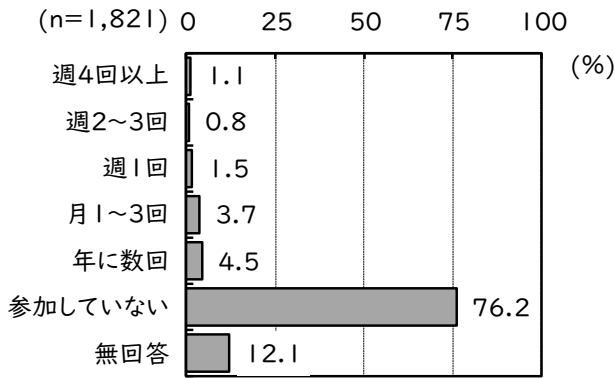
問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(〇は1つだけ)

参加の有無でみると、どの活動においても「参加していない」の割合が高くなっています。特に《学習・教養サークル》、《介護予防のための通いの場（おでかけ広場やふれあい・いきいきサロン等）》での「参加していない」の割合が約8割と高く、それぞれ78.4%、81.1%となっています。

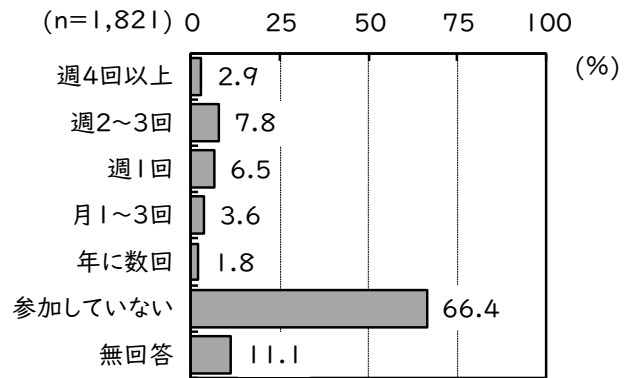
「参加している」の割合が最も高いのは、《町内会・自治会》で、33.6%となっています。



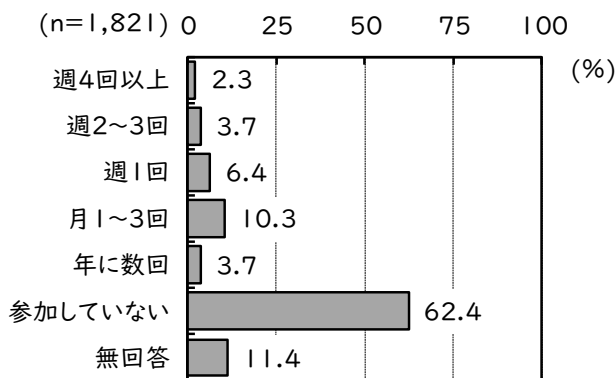
■ボランティアのグループ



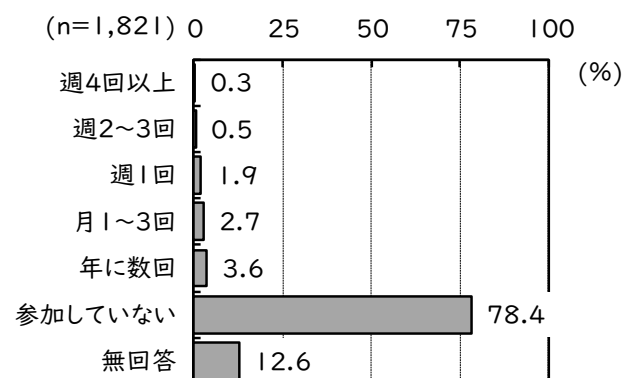
■スポーツ関係のグループやクラブ



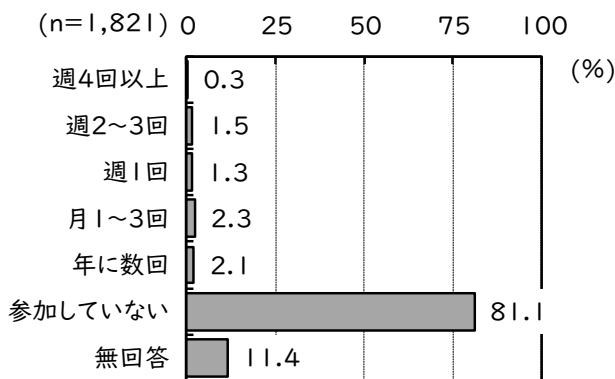
■趣味関係のグループ



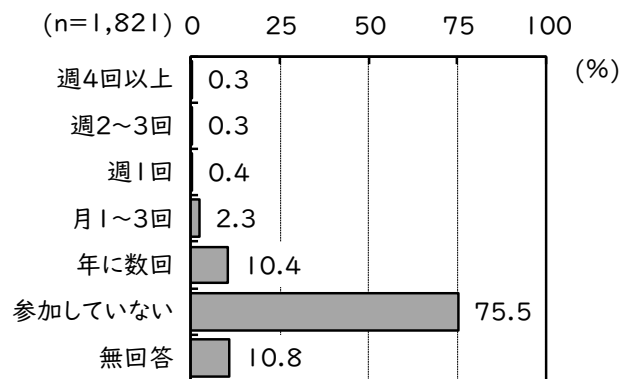
■学習・教養サークル



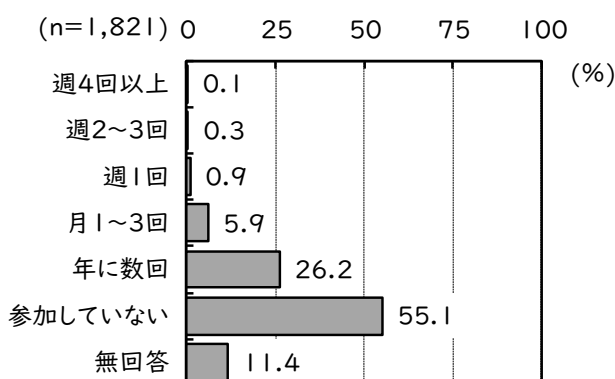
■介護予防のための通いの場



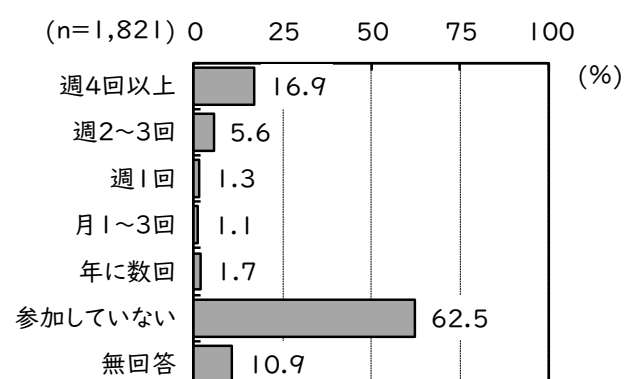
■老人クラブ



■町内会・自治会



■収入のある仕事

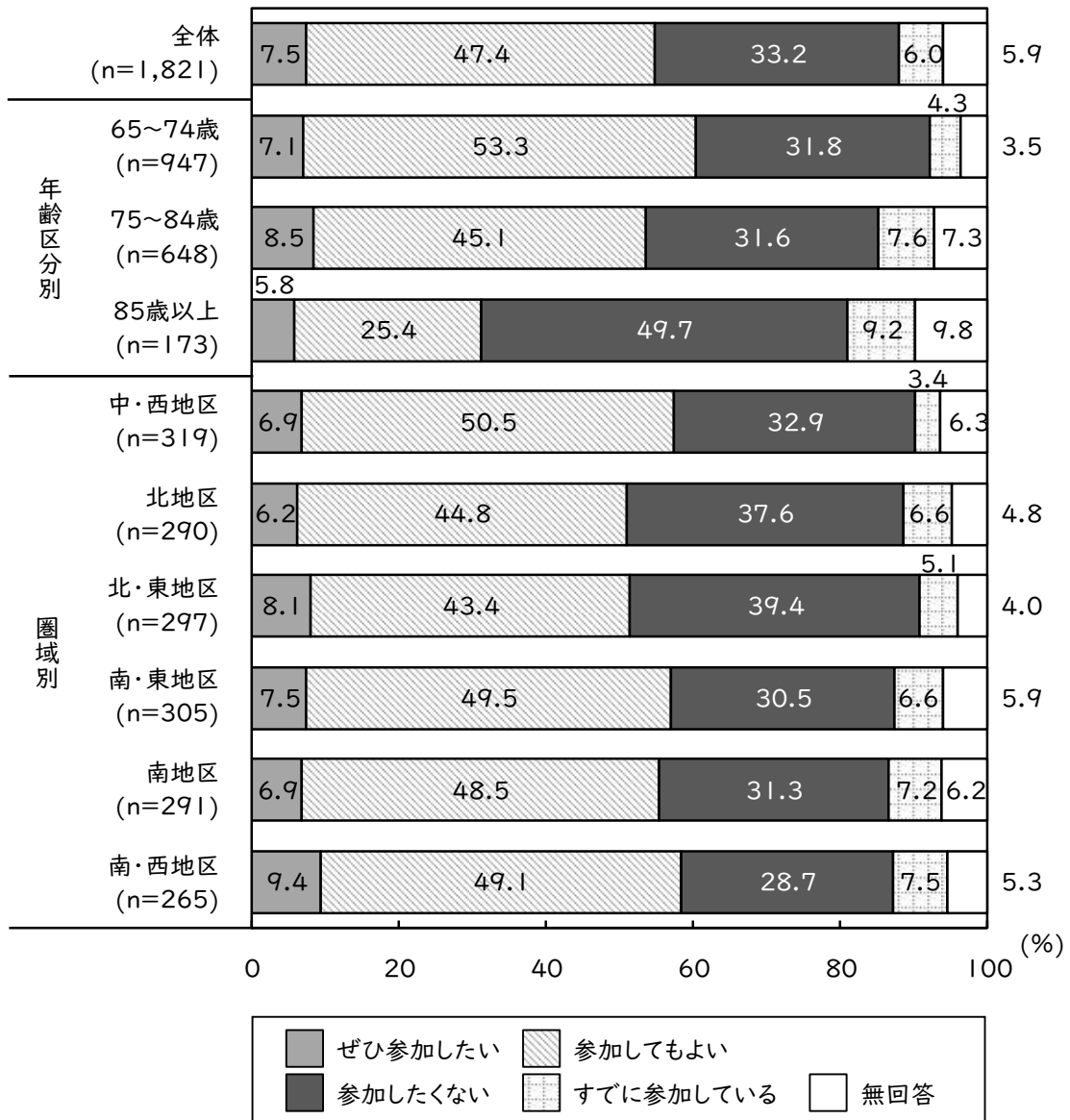


問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つだけ)

《全体》で見ると、『参加したい』(「ぜひ参加したい」+「参加してもよい」)が54.9%、「参加したくない」が33.2%、「すでに参加している」が6.0%となっています。『参加したい』と「すでに参加している」を合わせた割合については、60.9%となっています。

年齢区分が上がるほど、「すでに参加している」の割合が高くなっている一方で、『参加したい』の割合は低くなる傾向にあります。特に、《75～84歳》から《85歳以上》にかけての減少が大きく、《75～84歳》では53.6%であるのに対し、《85歳以上》では31.2%となっています。

圏域別で見ると、『参加したい』と「すでに参加している」を合わせた割合は、《南・西地区》で最も高く、66.0%となっています。「すでに参加している」の割合についてはどの地区も1割未満となっています。

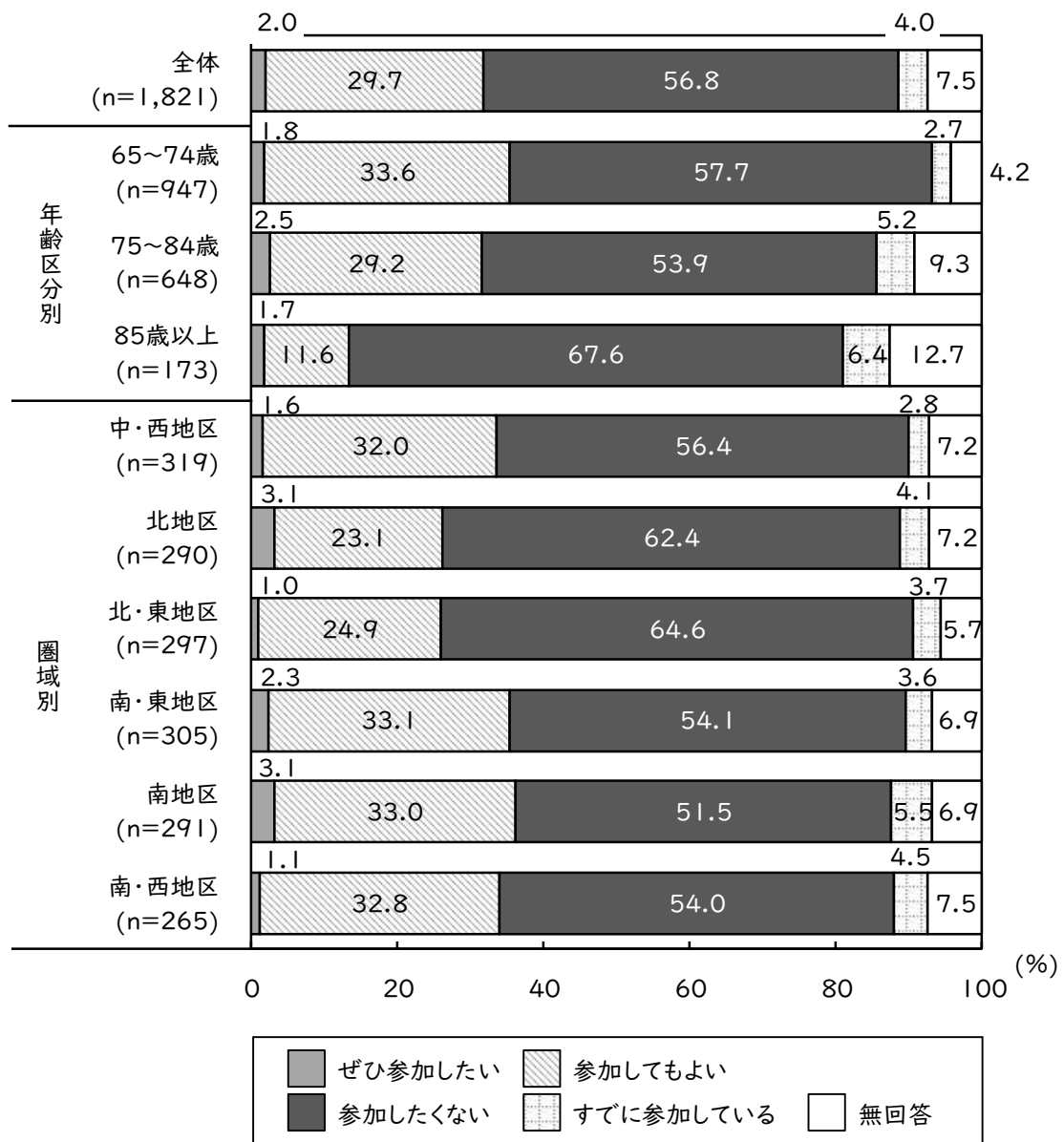


問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つだけ）

《全体》で見ると、『参加したい』（「ぜひ参加したい」＋「参加してもよい」）が31.7%、「参加したくない」が56.8%、「すでに参加している」が4.0%となっています。『参加したい』と「すでに参加している」を合わせた割合については、35.7%となっています。

年齢区分が上がるほど、「すでに参加している」の割合が高くなっている一方で、『参加したい』の割合は低くなる傾向にあります。特に、《75～84歳》から《85歳以上》にかけての減少が大きく、《75～84歳》では31.7%であるのに対し、《85歳以上》では13.3%となっています。

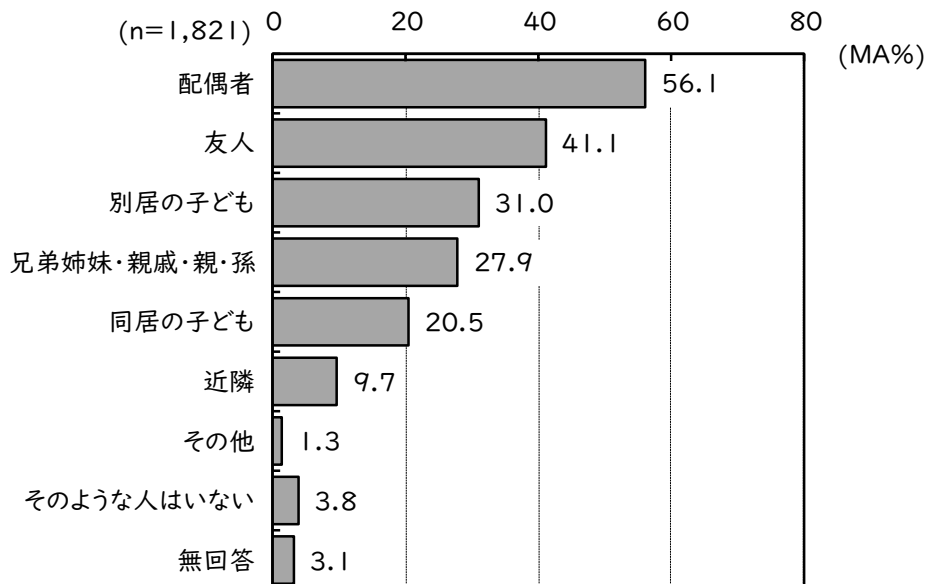
圏域別で見ると、『参加したい』と「すでに参加している」を合わせた割合は、《南地区》で最も高く、41.6%となっています。「すでに参加している」の割合についてはどの地区も1割未満となっています。



ク. たすけあいについて

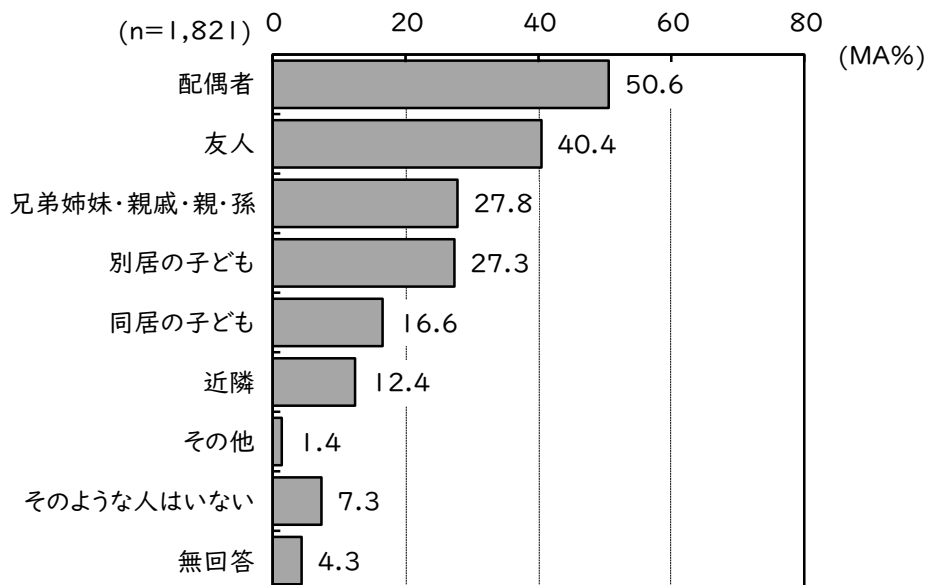
問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（○はいくつでも）

「配偶者」が56.1%と最も高く、次いで、「友人」が41.1%、「別居の子ども」が31.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.9%となっています。



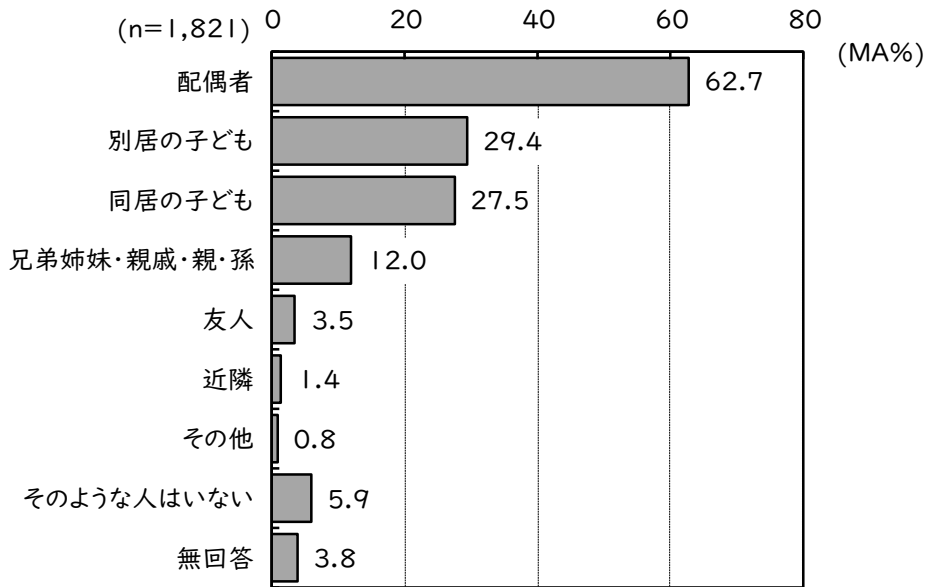
問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（○はいくつでも）

「配偶者」が50.6%と最も高く、次いで、「友人」が40.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.8%、「別居の子ども」が27.3%となっています。



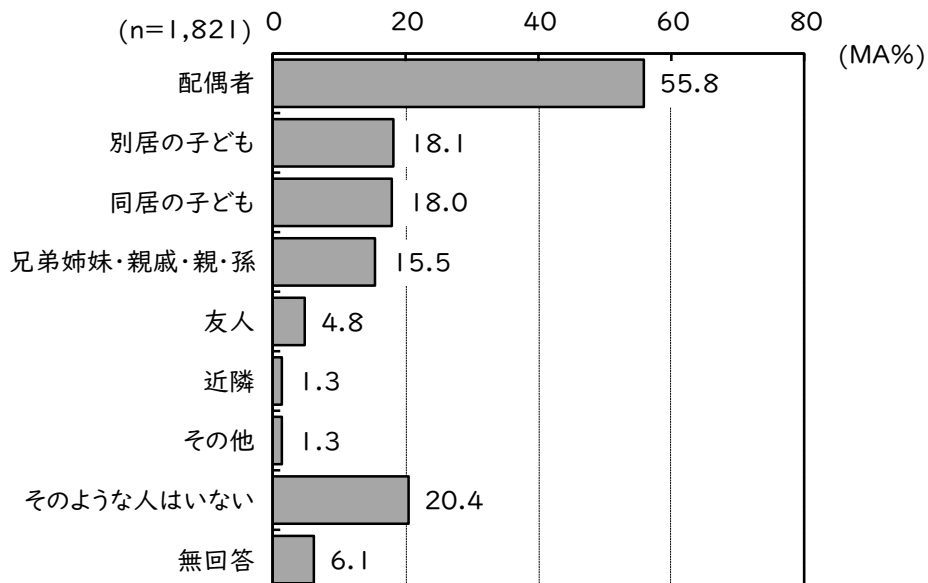
問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(○はいくつでも)

「配偶者」が62.7%と最も高く、次いで、「別居の子ども」が29.4%、「同居の子ども」が27.5%となっています。



問4 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(○はいくつでも)

「配偶者」が55.8%と最も高く、次いで、「別居の子ども」が18.1%、「同居の子ども」が18.0%となっています。

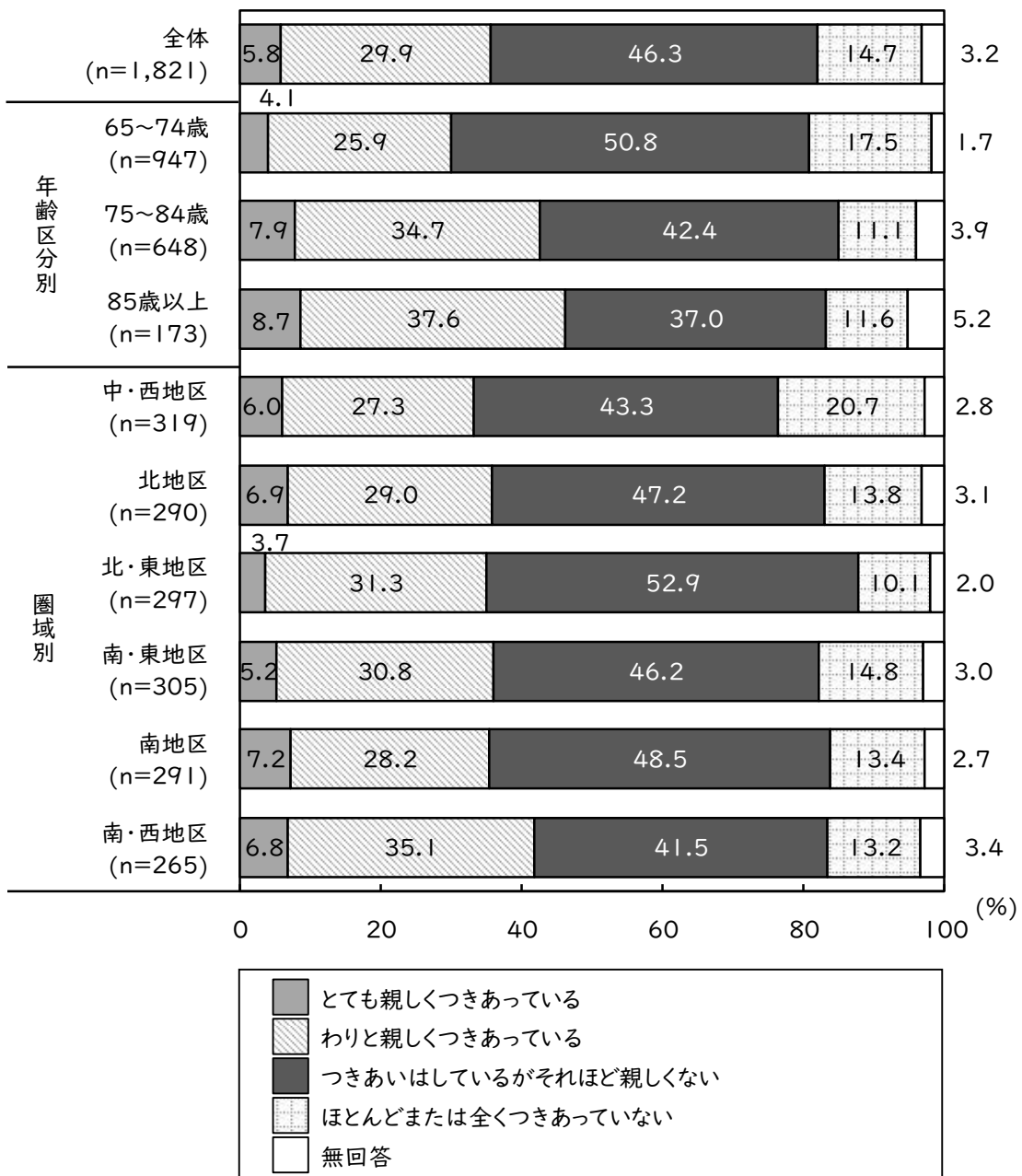


問5 あなたは近所のつきあいをどの程度していますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「つきあいはしているがそれほど親しくない」が46.3%と最も高く、次いで、「わりと親しくつきあっている」が29.9%、「ほとんどまたは全くつきあっていない」が14.7%となっています。『親しくつきあっている』（「とても親しくつきあっている」+「わりと親しくつきあっている」）の割合については、35.7%となっています。

『親しくつきあっている』の割合は年齢区分が上がるほど高くなり、特に《65～74歳》から《75～84歳》にかけての増加が大きく、《65～74歳》では30.0%であるのに対し、《75～84歳》では42.6%、《85歳以上》では46.3%となっています。

圏域別でみると、『親しくつきあっている』の割合は《南・西地区》で最も高く、41.9%となっています。

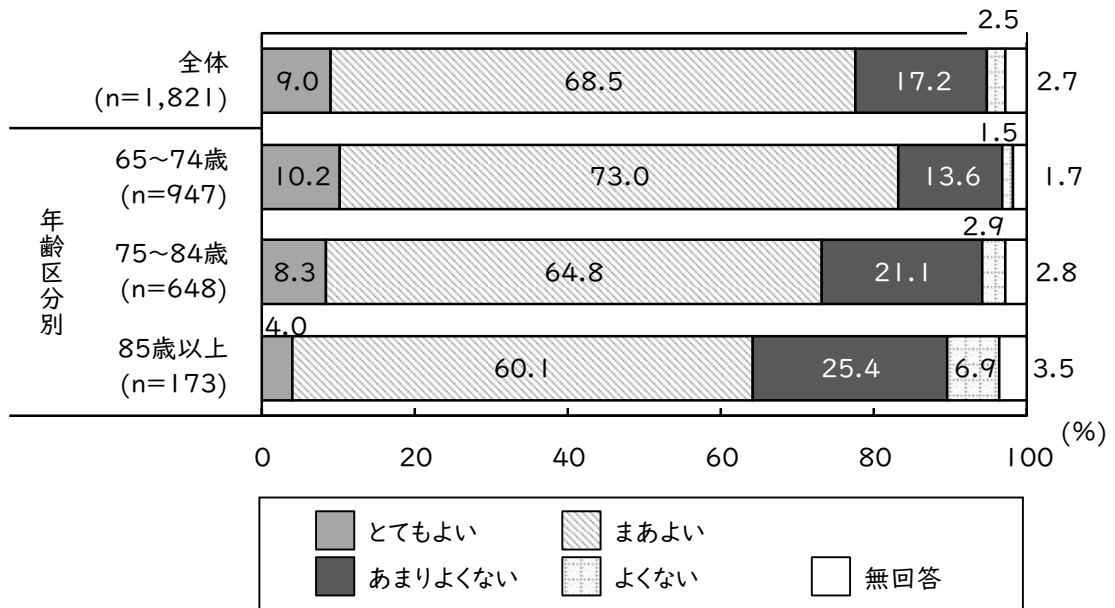


ケ. 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

《全体》では、『よい』(「とてもよい」+「まあよい」)が77.5%、『よくない』(「よくない」+「あまりよくない」)が19.7%となっています。

『よい』の割合は年齢区分が上がるほど低くなり、《85歳以上》では64.1%となっています。



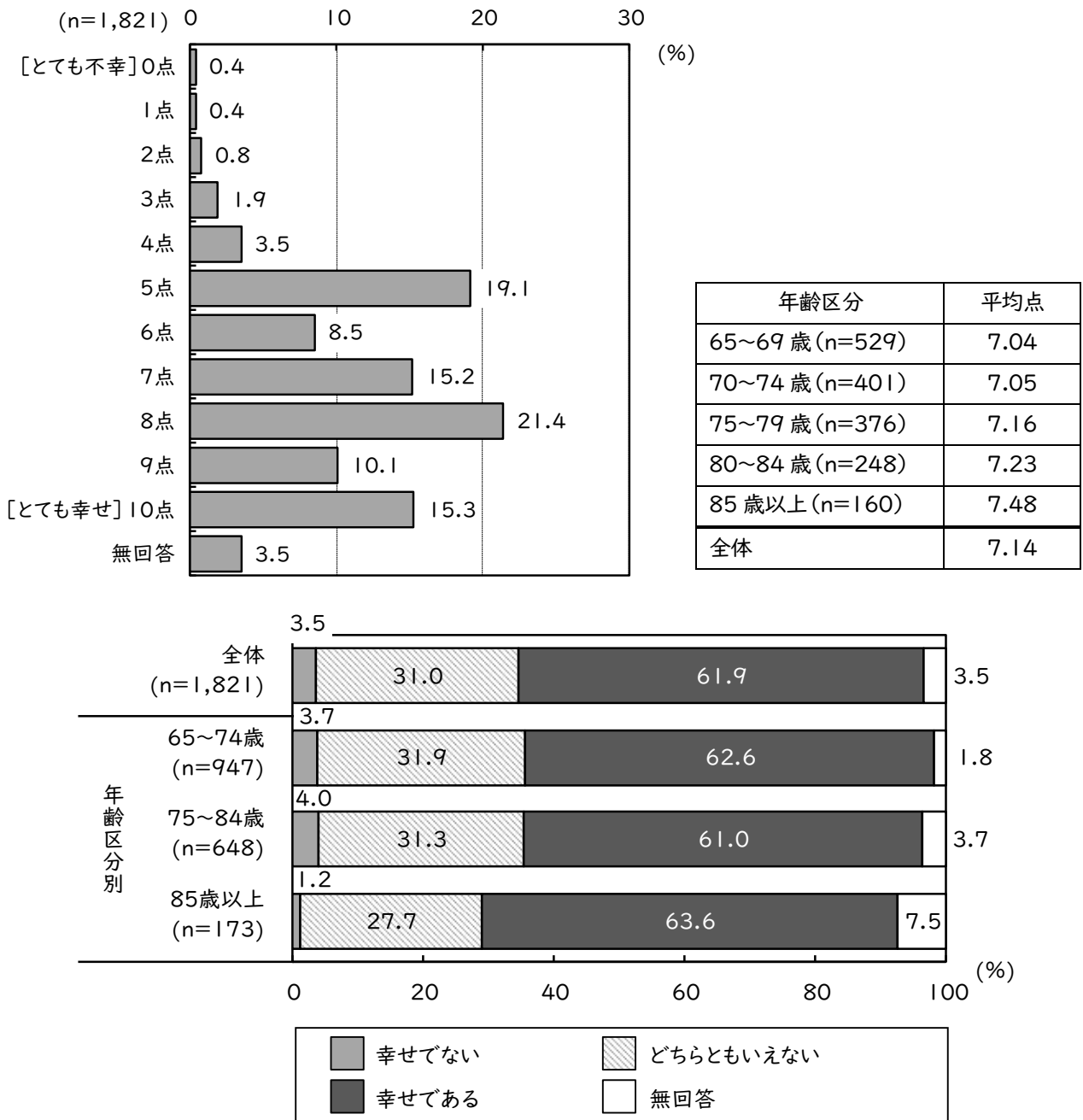
問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つだけ)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

「8点」が21.4%と最も高く、次いで、「5点」が19.1%、「10点」が15.3%、「7点」が15.2%、「9点」が10.1%となっています。

平均点でみると、どの区分も7点以上となっていますが、年齢区分が上がるほど高くなり、《85歳以上》では7.48点となっています。

幸福度を区分でみると、《全体》では、「幸せでない」が3.5%、「どちらともいえない」が31.0%、「幸せである」が61.9%となっています。年齢区分別でも、どの区分も「幸せである」が6割以上となっています。

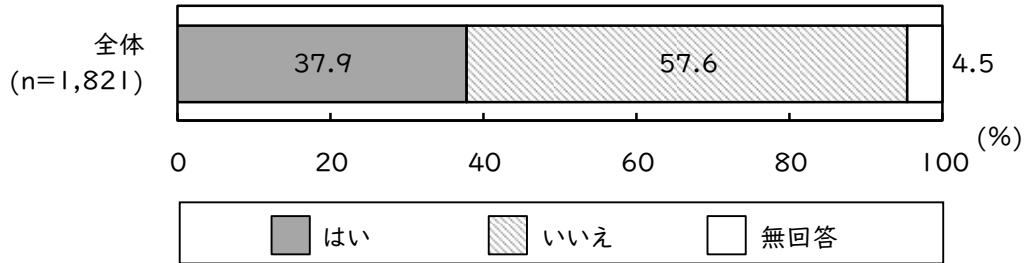


※『幸せでない』は0～3点、『どちらともいえない』は4～6点、『幸せである』は7～10点を合算した値。

割合は実数から計算しているため、各点数の割合の合計とは一致しない。

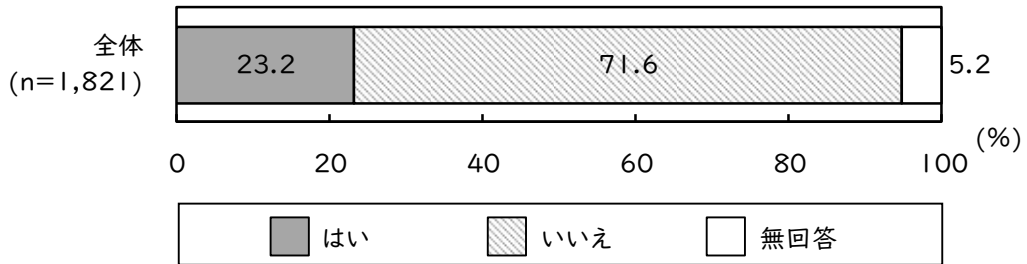
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つだけ)

「はい」が37.9%、「いいえ」が57.6%となっています。



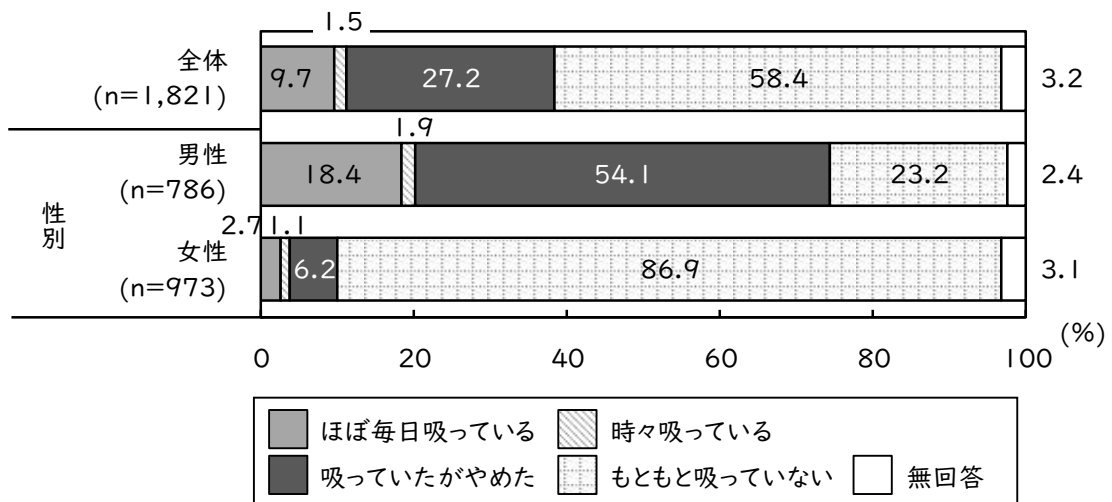
問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つだけ)

「はい」が23.2%、「いいえ」が71.6%となっています。



問5 タバコは吸っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、『吸っている』（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）が11.2%、『吸っていない』（「吸っていたがやめた」＋「もともと吸っていない」）が85.6%となっています。
『吸っている』の割合は女性より男性で高く、20.3%となっています。

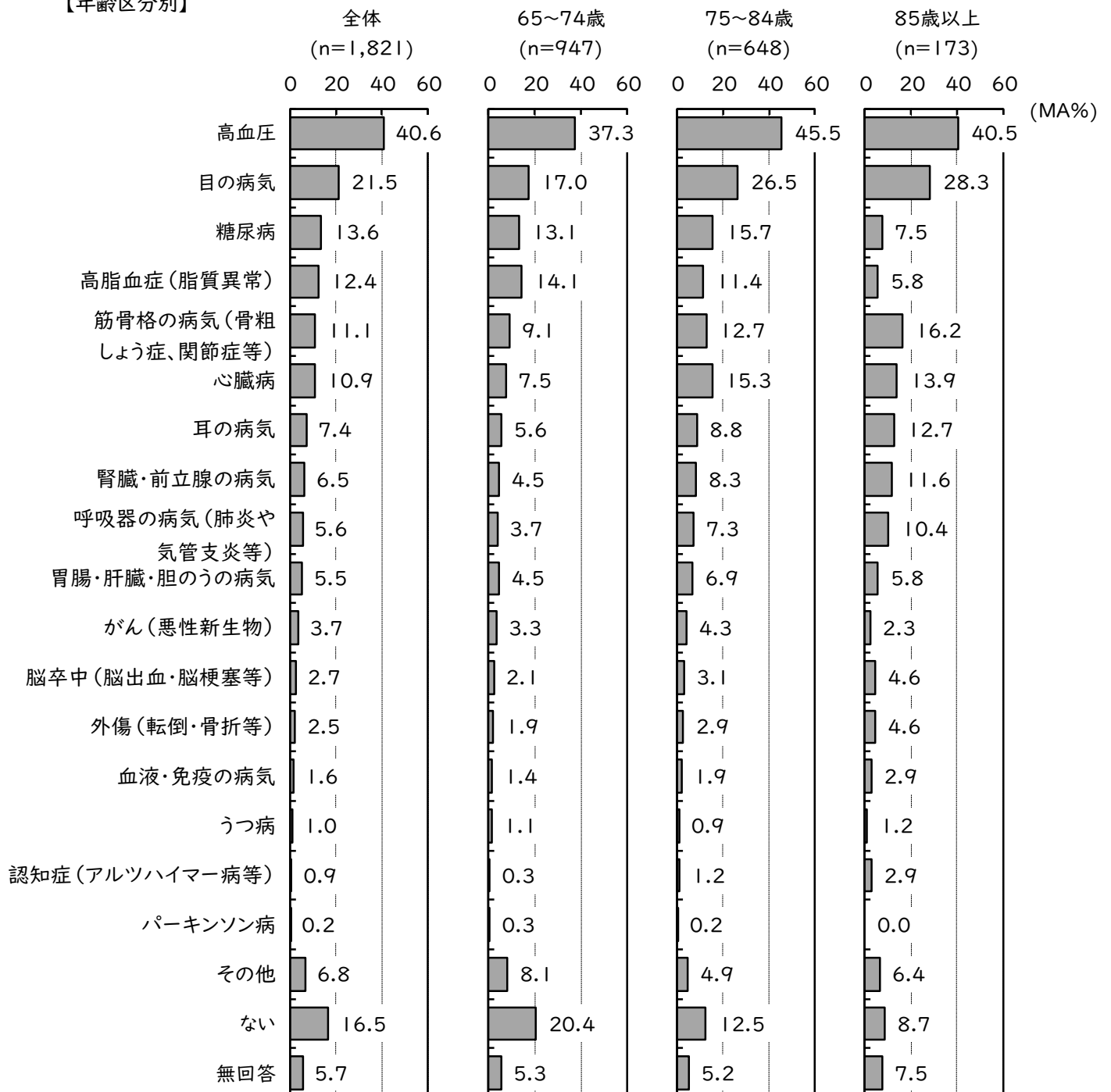


問6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

《全体》では、「ない」を除くと、「高血圧」が40.6%と最も高く、次いで、「目の病気」が21.5%、「糖尿病」が13.6%、「高脂血症(脂質異常症)」が12.4%、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が11.1%となっています。「ない」については16.5%となっています。

どの年齢区分でも「高血圧」、「目の病気」の割合は高くなっていますが、《65~74歳》、《75~84歳》では、「糖尿病」、「高脂血症(脂質異常症)」の割合が高いのに対し、《85歳以上》では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が高くなっています。また、《75歳以上》から「心臓病」の割合も高くなる傾向にあります。

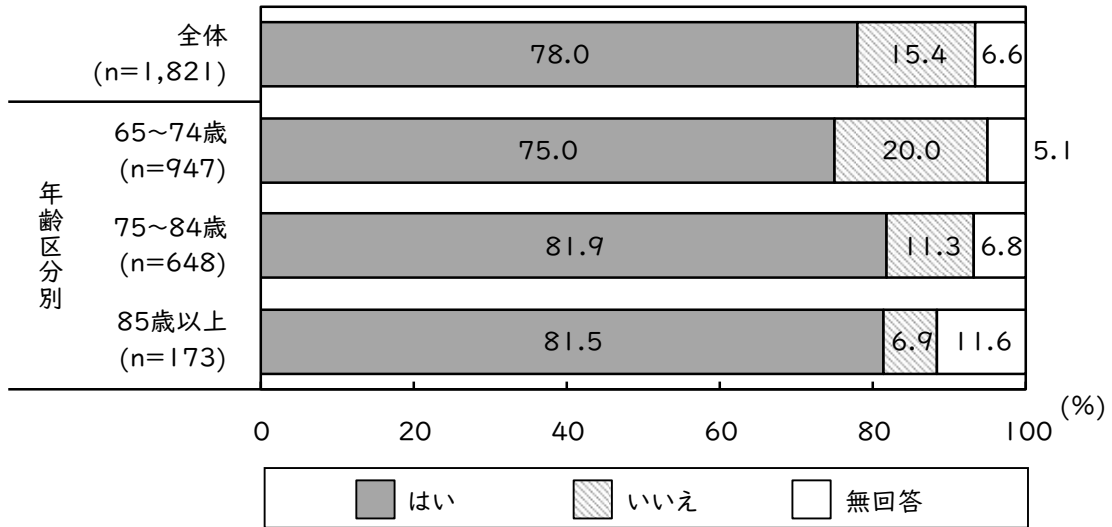
【年齢区分別】



問7 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。（○は1つだけ）

《全体》では、「はい」が78.0%、「いいえ」が15.4%となっています。

「はい」の割合は、《65～74歳》から《75～84歳》にかけて増加し、《75～84歳》で81.9%、《85歳以上》で81.5%となっています。

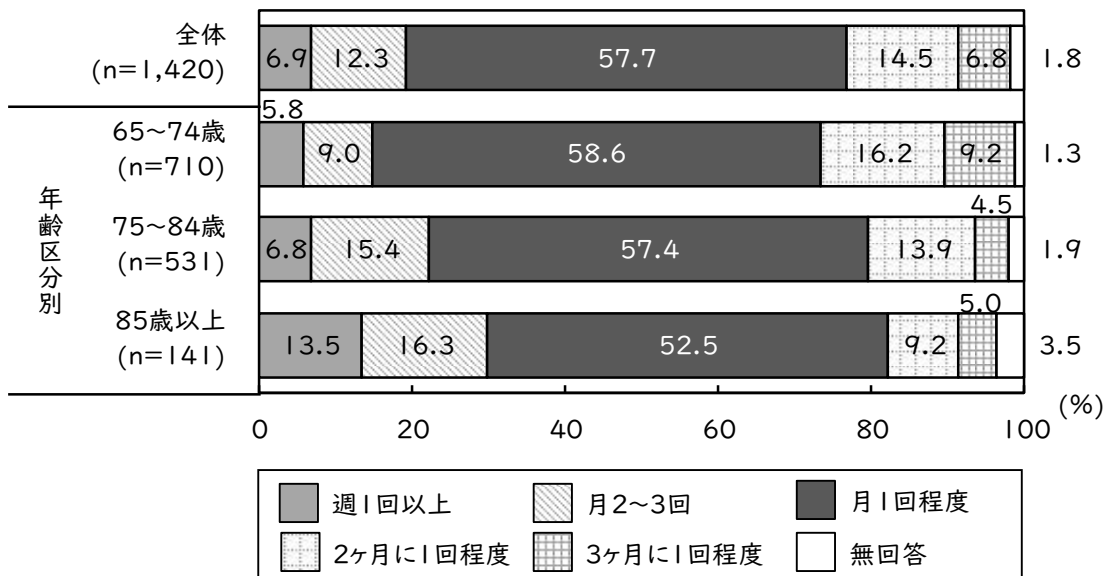


〈現在通院している方のみ（問7で「はい」の方）〉

問7-1 その頻度は次のどれですか。（○は1つだけ）

《全体》では、「月1回程度」が57.7%と最も高く、次いで、「2ヶ月に1回程度」が14.5%、「月2～3回」が12.3%となっています。

《85歳以上》では「週に1回以上」の割合が他の区分に比べて高く、13.5%となっています。

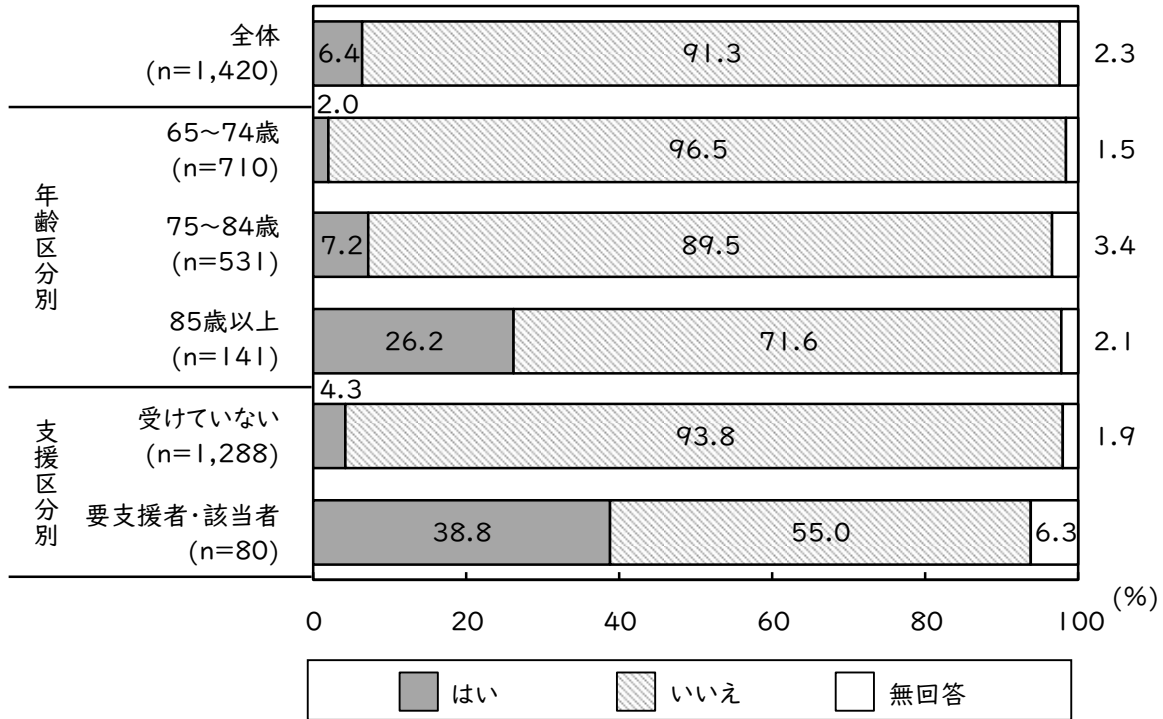


問7-2 通院に介護が必要ですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「はい」が6.4%、「いいえ」が91.3%となっています。

「はい」の割合は、年齢区分が上がるほど高くなり、特に《75～84歳》から《85歳以上》にかけての増加が大きく、《75～84歳》では1割未満であるのに対し、《85歳以上》では26.2%となっています。

支援区分別でみると、《要支援者・該当者》では「はい」の割合が38.8%となっています。



※該当者とは、事業対象者（基本チェックリストの該当者）を指す。

コ. 防災について

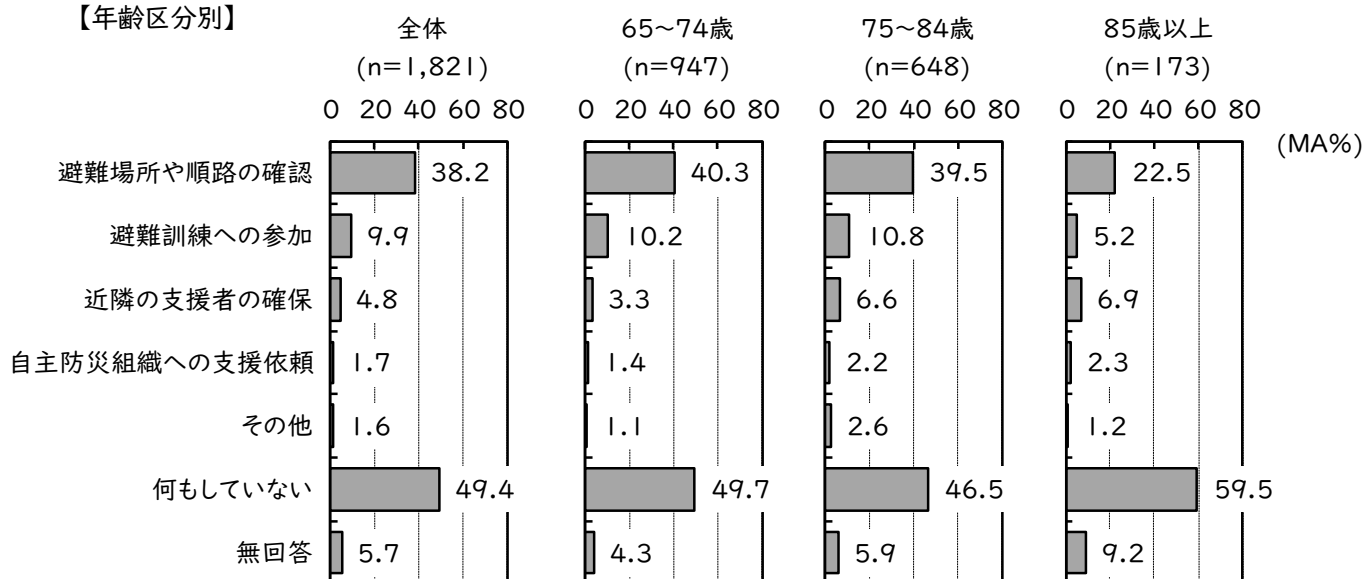
問1 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

《全体》では、「何もしていない」が最も高く、49.4%となっています。行っている対策としては、「避難場所や順路の確認」が最も高く38.2%となっています。

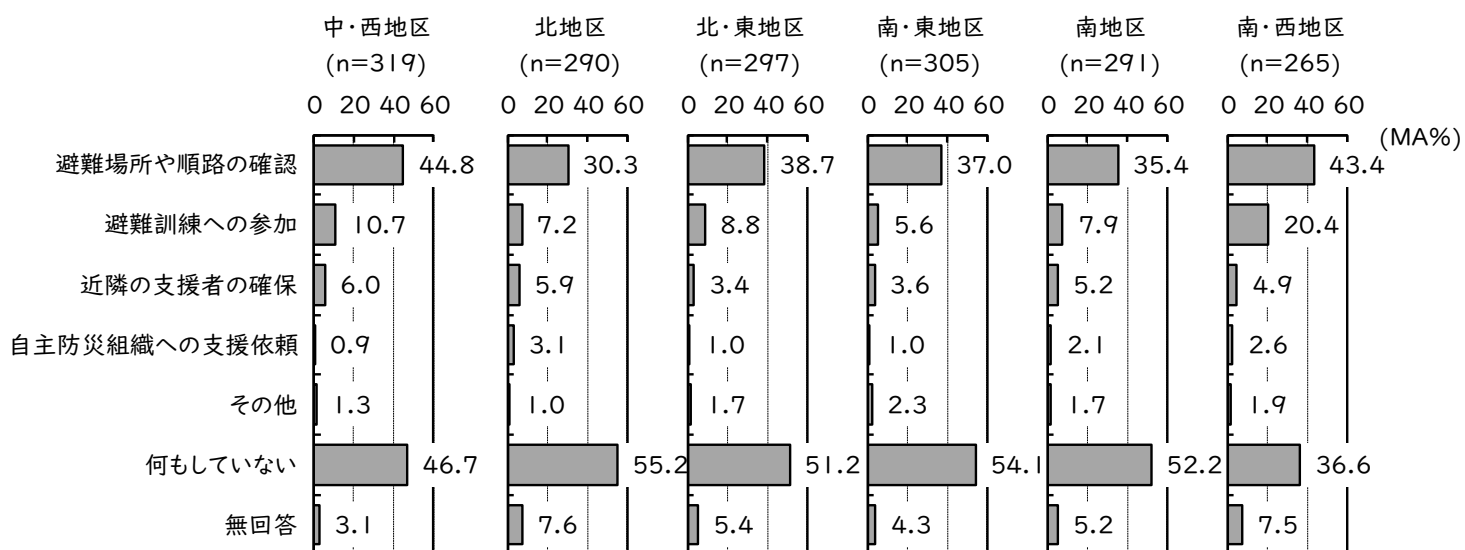
年齢区別でみると、「何もしていない」の割合は、《85歳以上》で最も高く、59.5%となっています。

圏域別でみると、ほとんどの地区で「何もしていない」が5割以上となっていますが、《南・西地区》での割合は比較的低く、36.6%となっています。

【年齢区別】



【圏域別】

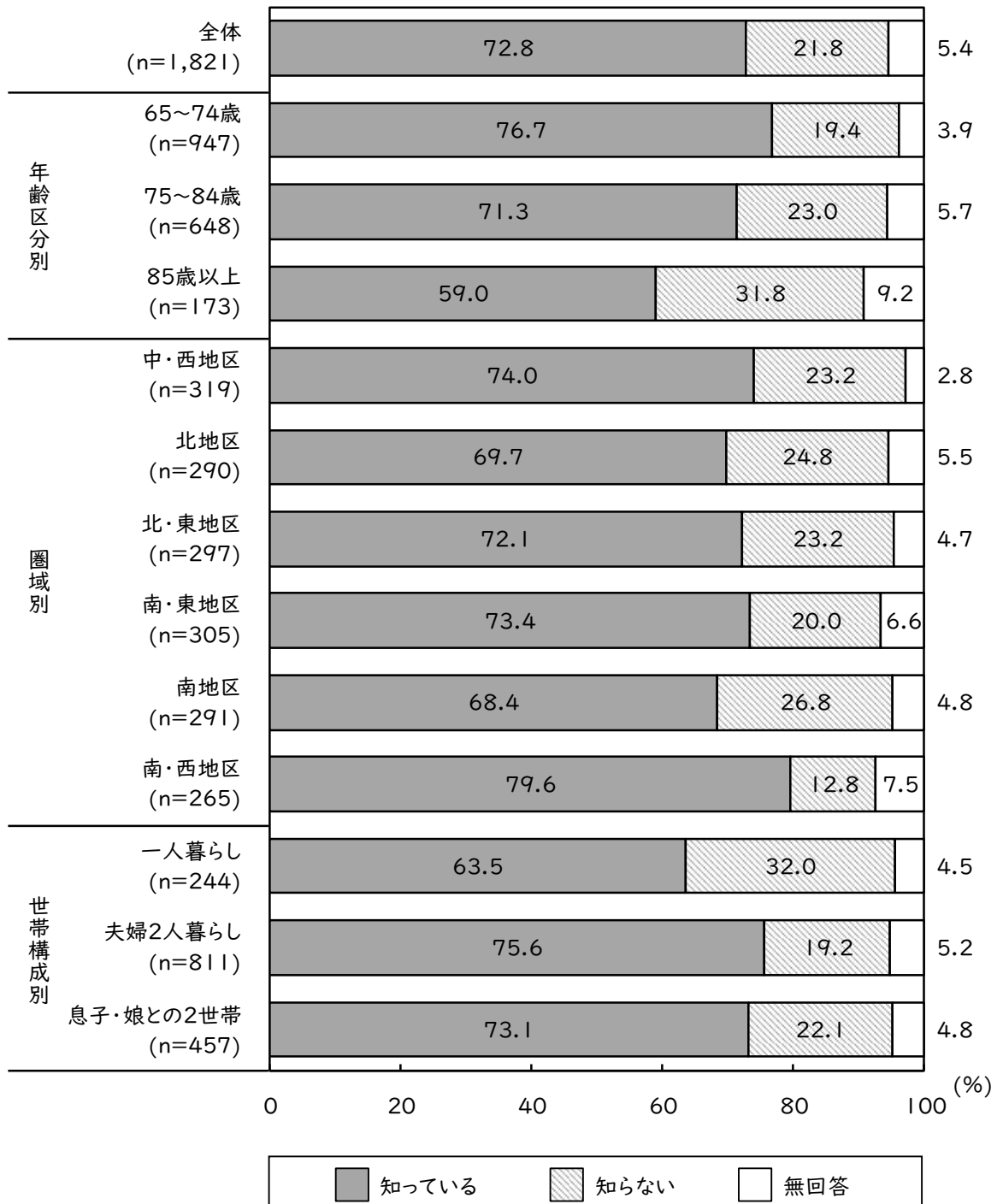


問2. 地震などの災害がおこった場合の避難場所を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「知っている」が72.8%、「知らない」が21.8%となっています。

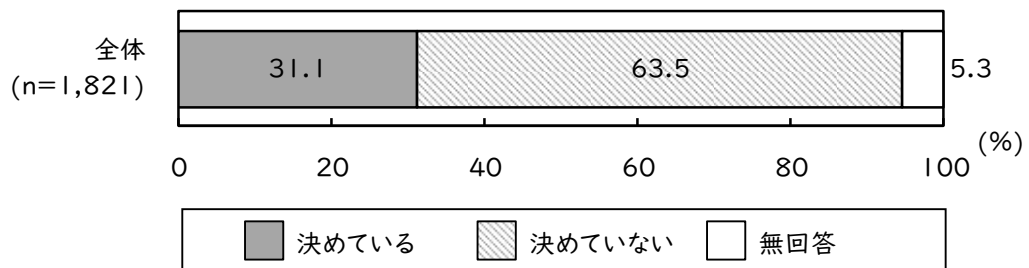
「知っている」の割合は、年齢区分が上がるほど低くなり、特に《75～84歳》から《85歳以上》にかけての減少が大きく、《75～84歳》では71.3%であるのに対し、《85歳以上》では59.0%となっています。

圏域別でみると、「知っている」の割合は、「南・西地区」で最も高く(79.6%)、「南地区」で最も低くなっています(68.4%)。世帯構成別では、《一人暮らし》での割合が最も低く、63.5%となっています。



問3 避難方法や安否確認の方法について、家族と話し合っていますか。(〇は1つだけ)

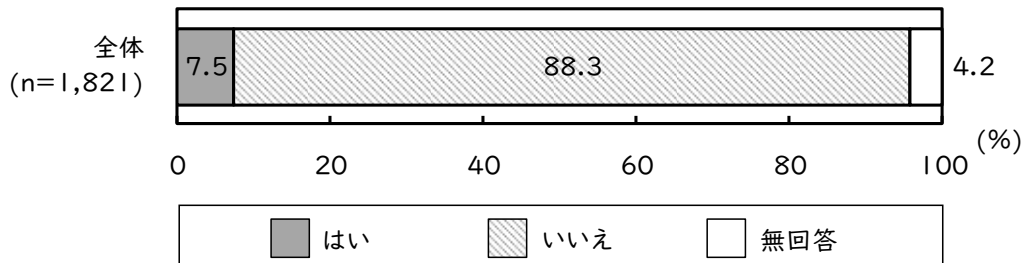
「決めている」が31.1%、「決めていない」が63.5%となっています。



サ. 認知症について

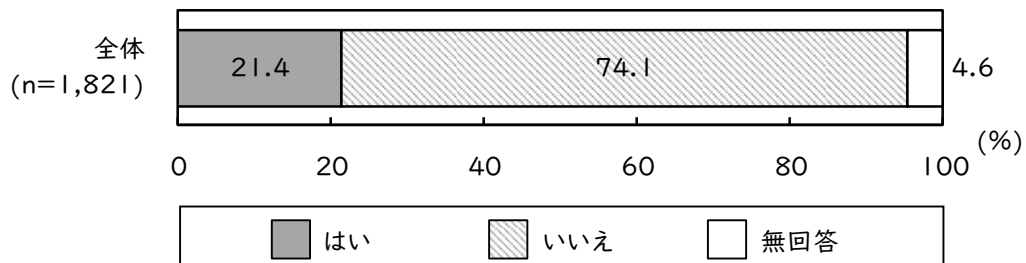
問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つだけ)

「はい」が7.5%、「いいえ」が88.3%となっています。



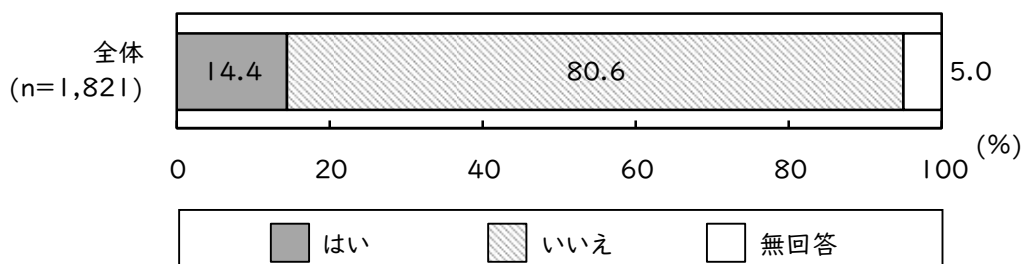
問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

「はい」が21.4%、「いいえ」が74.1%となっています。



問3 認知症サポーターを知っていますか。(○は1つだけ)

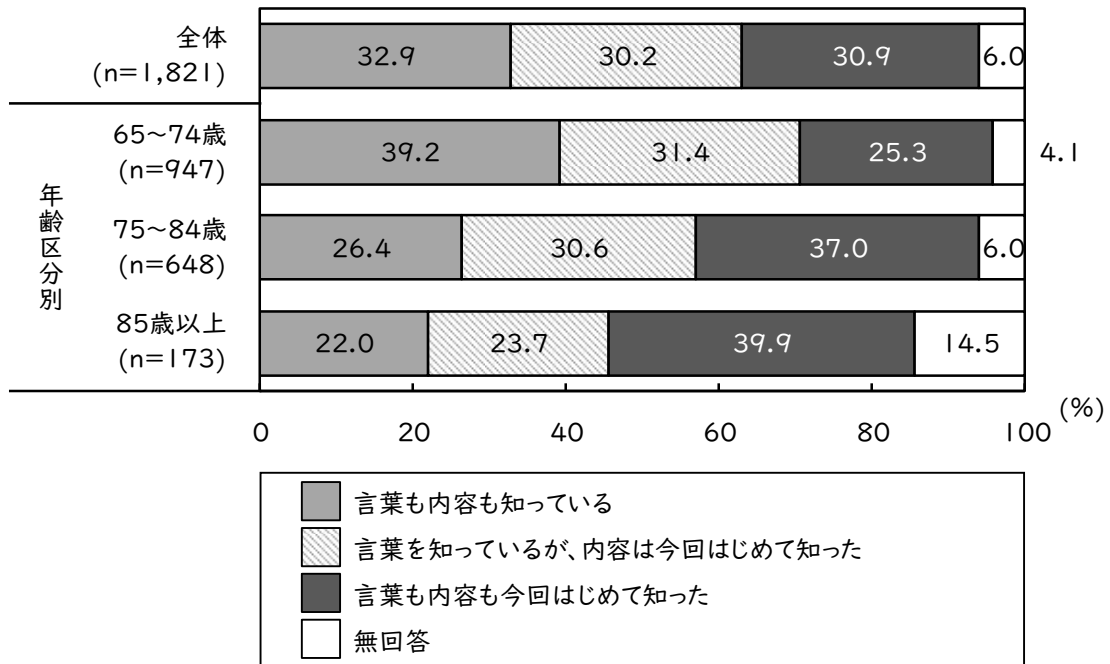
「はい」が14.4%、「いいえ」が80.6%となっています。



問4 成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「言葉も内容も知っている」が32.9%、「言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った」が30.2%、「言葉も内容も今回はじめて知った」が30.9%となっています。

「言葉も内容も知っている」の割合は、年齢区分が上がるほど低くなり、特に《65～74歳》から《75～84歳》にかけての減少が大きく、《65～74歳》では39.2%であるのに対し、《75～84歳》では26.4%、《85歳以上》では22.0%となっています。



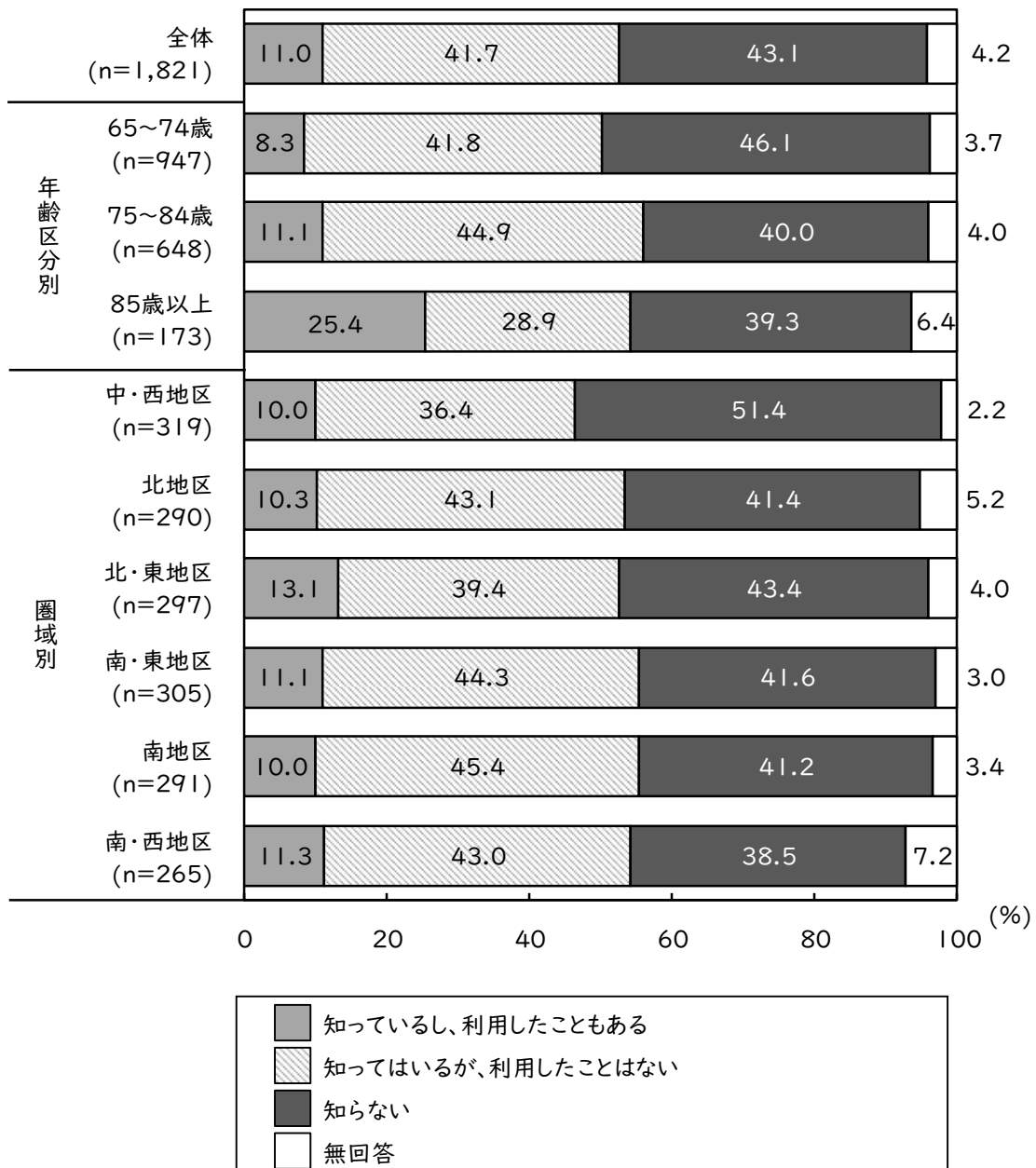
シ. 高齢者福祉や介護保険について

問1 「地域包括支援センター」を知っていますか。(○は1つだけ)

《全体》では、「知っているし、利用したこともある」が11.0%、「知っているが、利用したことはない」が41.7%、「知らない」が43.1%となっており、『知っている』（「知っているし、利用したこともある」+「知っているが、利用したことはない」）については、52.7%となっています。

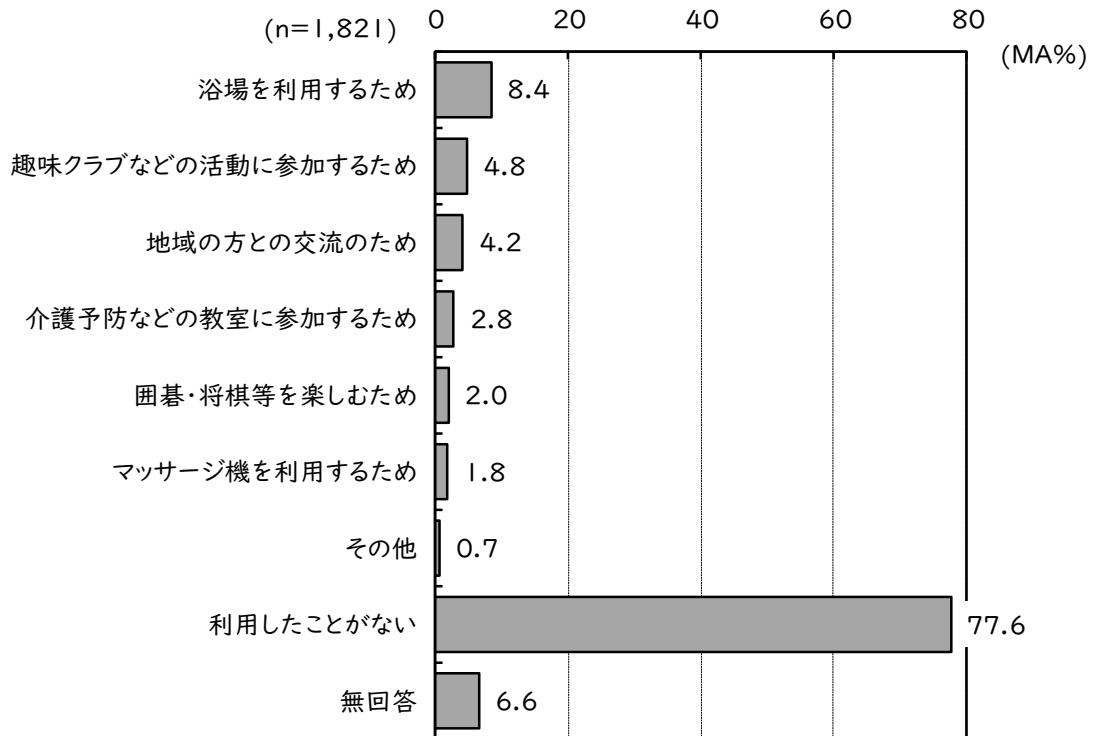
年齢区分別でみると、『知っている』の割合は《75～84歳》で最も高く、56.0%となっています。また、「知っているし、利用したこともある」の割合については、年齢区分が上がるほど高くなり、特に《75～84歳》から《85歳以上》にかけての増加が大きく、《75～84歳》では11.1%であるのに対し、《85歳以上》では25.4%となっています。

圏域別でみると、「中・西地区」でのみ「知らない」が『知っている』を上回り、「知らない」の割合は51.4%となっています。



問2 高齢者の方が、生きがいづくりや健康増進のために無料（入浴施設は有料）で利用できる「高齢者福祉施設」（いきいきセンター、いきいの広場、つどいの里）が市内には21か所あります。これらの施設を利用する際は、どのような目的で利用しますか。（○はいくつでも）

「利用したことがない」が77.6%と大半を占め、次いで、「浴場を利用するため」が8.4%となっています。

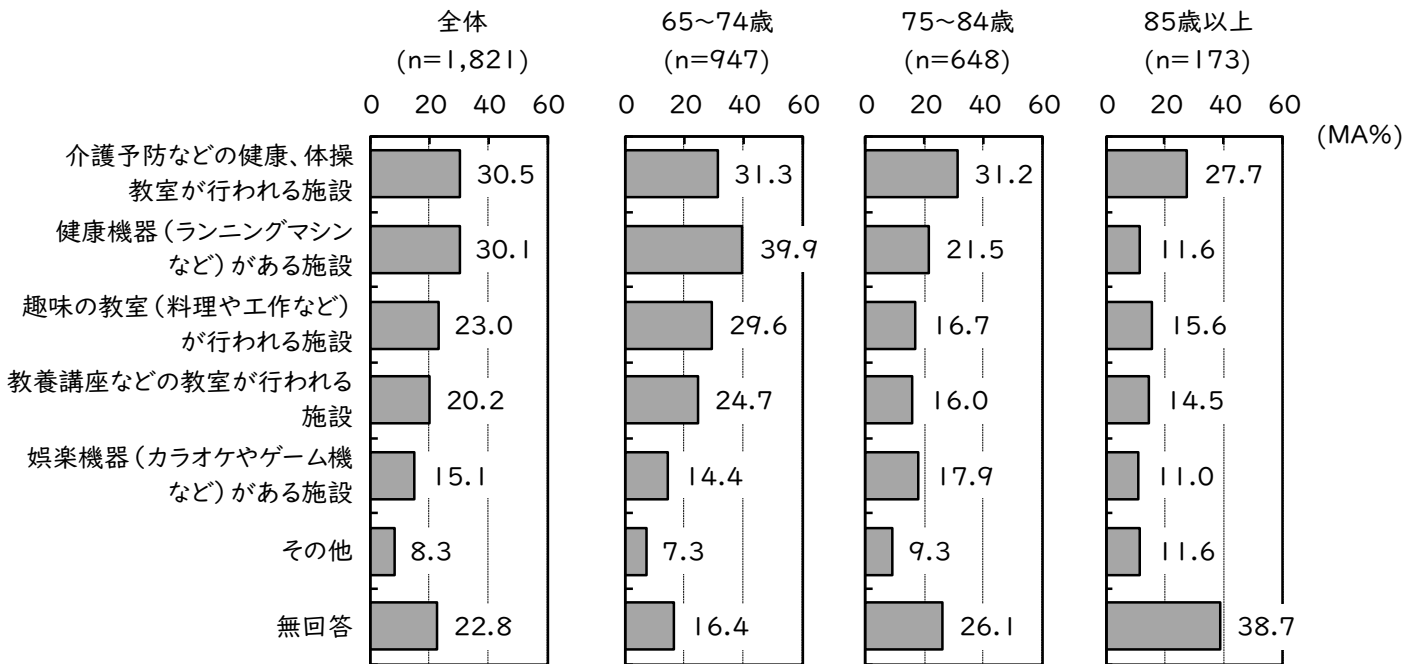


問3 どのような高齢者施設（いきいきセンター、いこいの広場、つどいの里）なら、利用してみたいと思いますか（〇はいくつでも）

《全体》では、「介護予防などの健康、体操教室が行われる施設」が30.5%と最も高く、次いで、「健康機器（ランニングマシンなど）がある施設」が30.1%、「趣味の教室（料理や工作など）が行われる施設」が23.0%、「教養講座などの教室が行われる施設」が20.2%となっています。

年齢区分別でみると、《65～74歳》での「健康機器（ランニングマシンなど）がある施設」の割合が高く、39.9%となっています。

【年齢区分別】

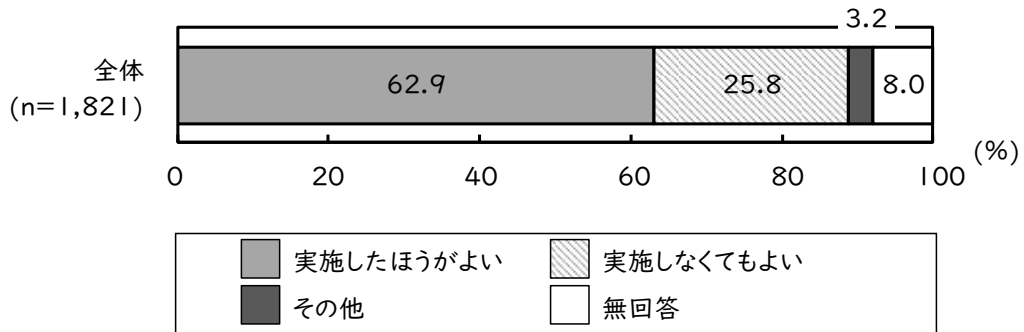


【圏域別】

上段：件数、 下段：%	調査数	健康機器 （ランニング マシンな ど）がある 施設	介護予防 などの健 康、体操教 室が行わ れる施設	娯楽機器 （カラオケ やゲーム機 など）があ る施設	趣味の教 室（料理や 工作など） が行われ る施設	教養講座 などの教 室が行わ れる施設	その他	無回答
中・西地区	319 100.0	95 29.8	98 30.7	40 12.5	75 23.5	73 22.9	26 8.2	70 21.9
北地区	290 100.0	78 26.9	92 31.7	50 17.2	57 19.7	47 16.2	30 10.3	67 23.1
北・東地区	297 100.0	85 28.6	91 30.6	47 15.8	66 22.2	57 19.2	32 10.8	68 22.9
南・東地区	305 100.0	89 29.2	102 33.4	48 15.7	73 23.9	69 22.6	22 7.2	64 21.0
南地区	291 100.0	96 33.0	86 29.6	50 17.2	83 28.5	65 22.3	20 6.9	65 22.3
南・西地区	265 100.0	91 34.3	74 27.9	35 13.2	62 23.4	51 19.2	19 7.2	59 22.3

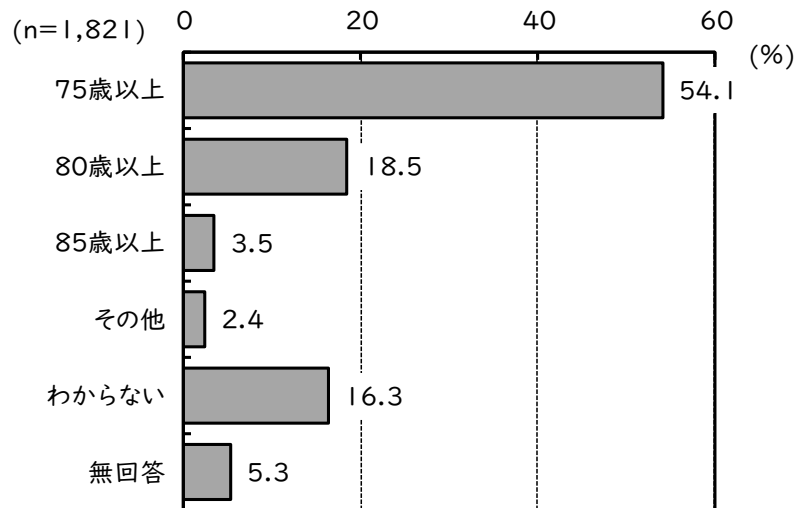
問4 一宮市では、数え100歳以上の方に祝い品を贈呈する長寿祝事業を実施していますが、今後も継続して実施したほうが良いと思いますか。(○は1つだけ)

「実施したほうがよい」が62.9%、「実施しなくてもよい」が25.8%となっています。



問5 一宮市では、各地域で9月から10月に敬老会事業が開催され、対象年齢は75歳以上となっていますが、対象年齢は何歳以上が良いと思いますか。(○は1つだけ)

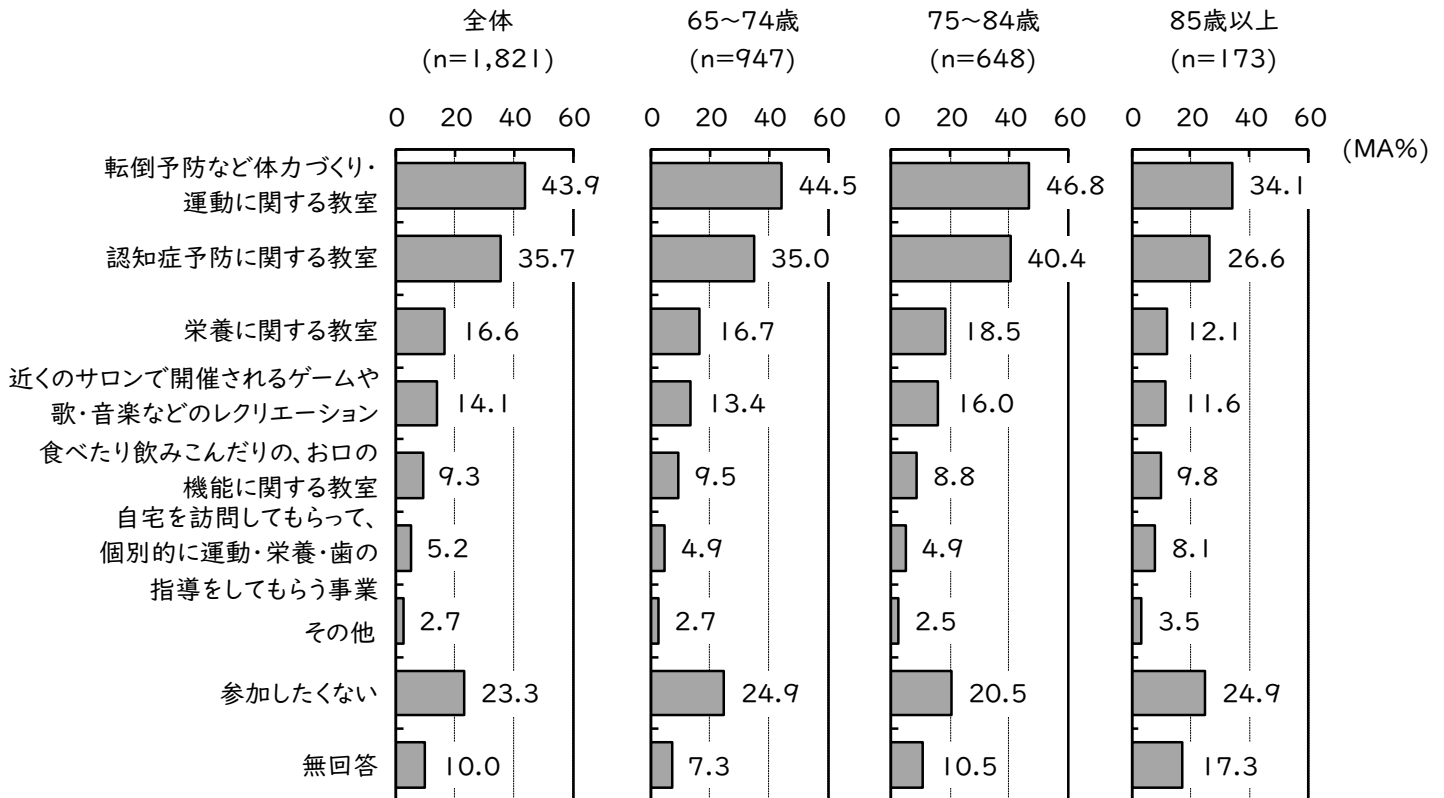
「75歳以上」が54.1%と最も高く、次いで、「80歳以上」が18.5%となっています。



問6 介護予防事業について、興味があるもの、参加したいと思うものをお答えください。
(○はいくつでも)

《全体》では、「参加したくない」を除くと、「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」が43.9%と最も高く、次いで、「認知症予防に関する教室」が35.7%、「栄養に関する教室」が16.6%となっています。「参加したくない」については23.3%となっています。

【年齢区分別】



【圏域別】

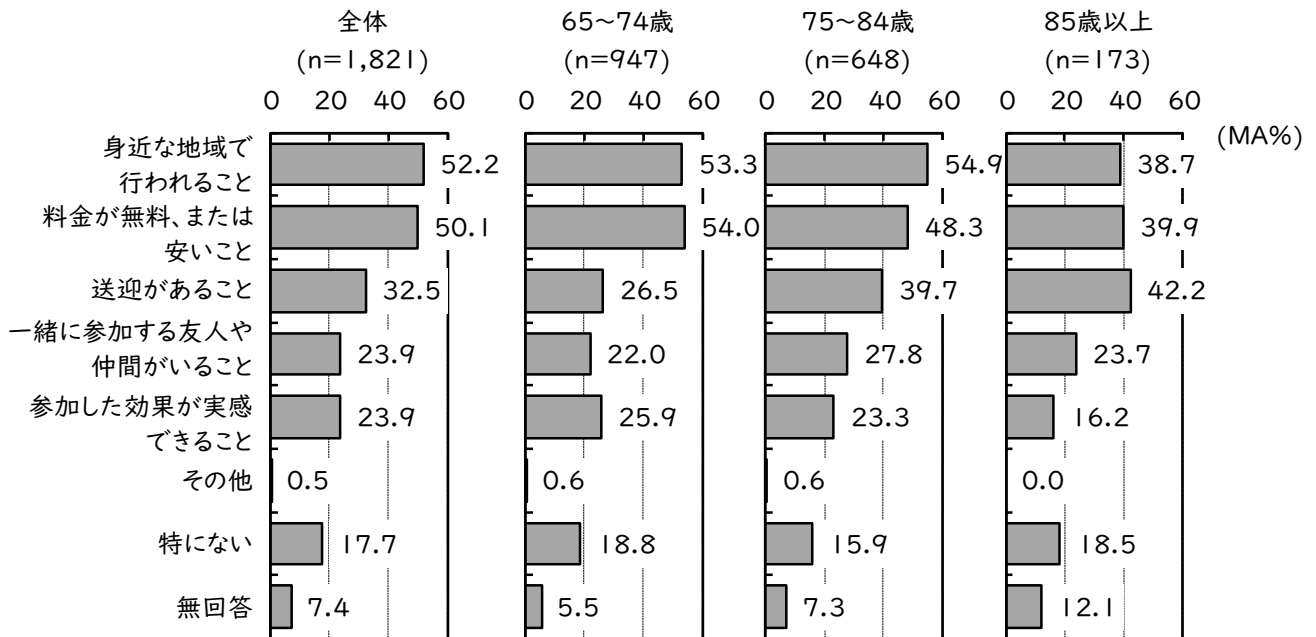
上段:件数、 下段:%	調査数	転倒予防 など体力 づくり・運 動に関する 教室	認知症予 防に関する 教室	栄養に関 する教室	食べたり 飲みこん だりの、お 口の機能 に関する 教室	近くのサ ロンで開 催される ゲームや 歌・音楽 などのレク リエーショ ン	自宅を訪 問してもら って、個 別的に運 動・栄養・ 歯の指導 をもらう 事業	その他	参加した くない	無回答
中・西地区	319 100.0	137 42.9	116 36.4	62 19.4	28 8.8	46 14.4	17 5.3	8 2.5	75 23.5	27 8.5
北地区	290 100.0	125 43.1	103 35.5	49 16.9	28 9.7	35 12.1	12 4.1	7 2.4	74 25.5	23 7.9
北・東地区	297 100.0	124 41.8	103 34.7	55 18.5	22 7.4	37 12.5	13 4.4	14 4.7	70 23.6	32 10.8
南・東地区	305 100.0	146 47.9	120 39.3	51 16.7	38 12.5	45 14.8	16 5.2	5 1.6	67 22.0	28 9.2
南地区	291 100.0	123 42.3	99 34.0	42 14.4	24 8.2	51 17.5	21 7.2	8 2.7	71 24.4	28 9.6
南・西地区	265 100.0	128 48.3	97 36.6	40 15.1	25 9.4	38 14.3	12 4.5	5 1.9	54 20.4	30 11.3

問7 介護予防事業に参加する上で求めることをお答えください。(〇はいくつでも)

《全体》では、「身近な地域で行われること」が52.2%と最も高く、次いで、「料金が無料、または安いこと」が50.1%、「送迎があること」が32.5%となっています。

年齢区分別でみると、《65～74歳》、《75～84歳》では「身近な地域で行われること」、「料金が無料、または安いこと」が約5割から5割台半ばで上位となっています。一方、《85歳以上》では「送迎があること」のみが4割を超え、最も割合が高くなっています。

【年齢区分別】

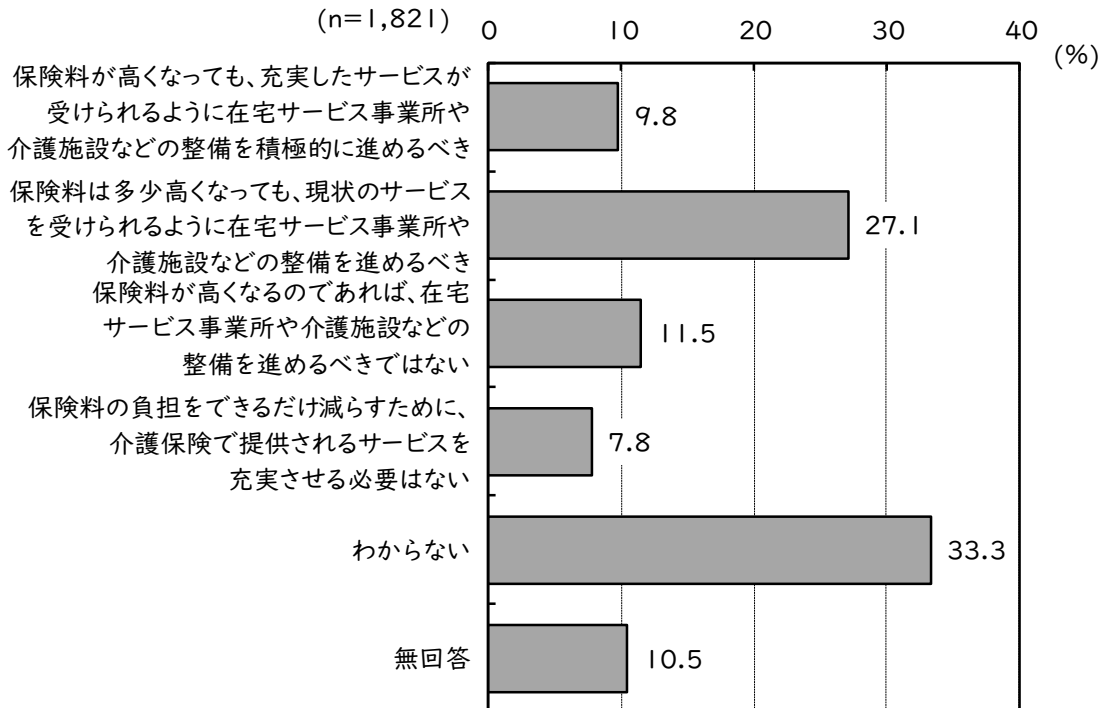


【圏域別】

上段:件数、 下段:%	調査数	身近な地域で行われること	料金が無料、または安いこと	一緒に参加する友人や仲間がいること	参加した効果が実感できること	送迎があること	その他	特にない	参加したくない
中・西地区	319 100.0	153 48.0	158 49.5	76 23.8	76 23.8	103 32.3	4 1.3	54 16.9	20 6.3
北地区	290 100.0	143 49.3	149 51.4	62 21.4	68 23.4	90 31.0	-	60 20.7	22 7.6
北・東地区	297 100.0	150 50.5	152 51.2	73 24.6	68 22.9	88 29.6	2 0.7	59 19.9	20 6.7
南・東地区	305 100.0	174 57.0	158 51.8	81 26.6	83 27.2	103 33.8	3 1.0	47 15.4	18 5.9
南地区	291 100.0	160 55.0	139 47.8	66 22.7	70 24.1	112 38.5	-	53 18.2	18 6.2
南・西地区	265 100.0	146 55.1	137 51.7	69 26.0	58 21.9	83 31.3	1 0.4	39 14.7	22 8.3

問8 今後の介護サービスと介護保険料負担のあり方について、あなたの考え方に最も近いのはどれですか。(○は1つだけ)

「わからない」を除くと、「保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき」が27.1%と最も高く、次いで、「保険料が高くなるのであれば、在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべきではない」が11.5%となっています。「わからない」については33.3%となっています。



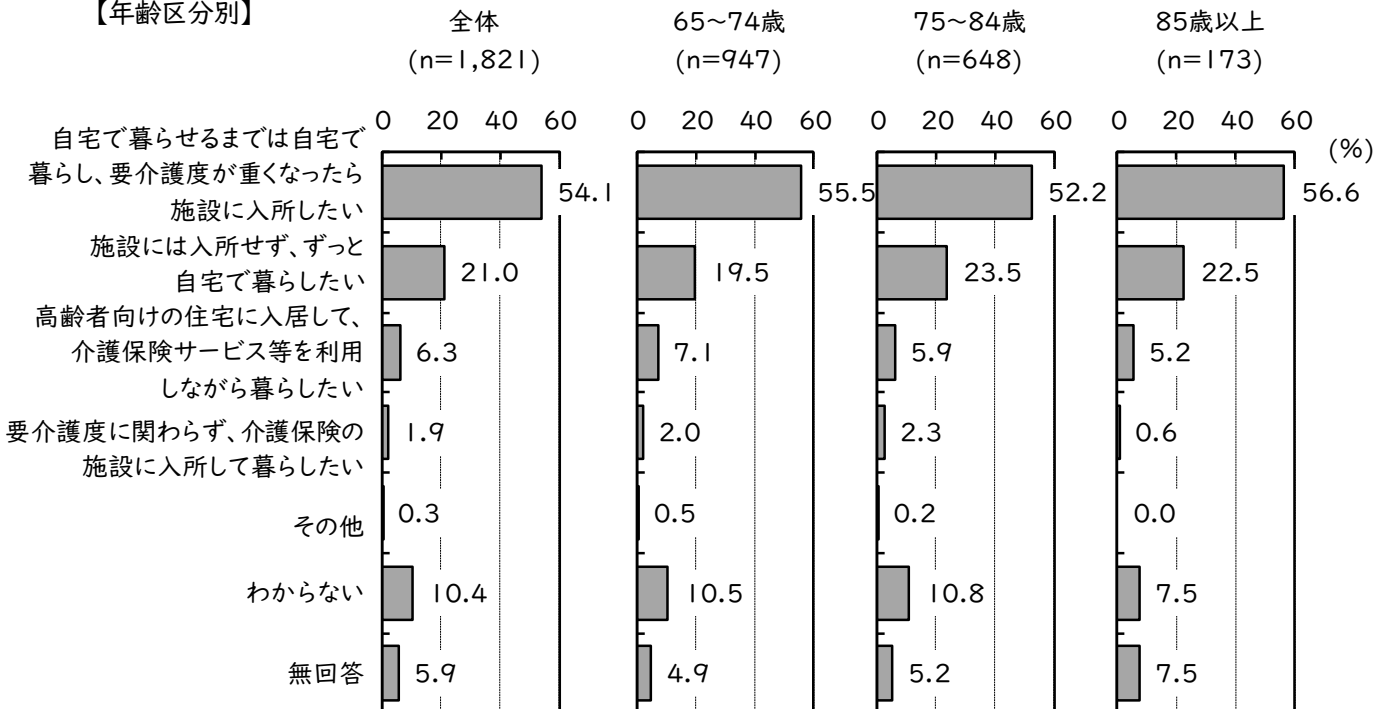
問9 今後、あなたが介護の必要な状態（介護認定対象者）になったとき、どのような生活をした
いですか。（○は1つだけ）

《全体》では、「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設に入所
したい」が54.1%と最も高く、次いで、「施設には入所せず、ずっと自宅で暮らしたい」が21.0%
となっています。

年齢区分別でも、どの区分も「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなっ
たら施設や病院に入所したい」が最も高くなっており、その割合は《85歳以上》で最も高く、
56.6%となっています。

圏域別でも、どの地区も「自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら
施設や病院に入所したい」が5割以上となっています。特に《中・西地区》、《南・東地区》での
割合が高く、それぞれ57.1%、58.0%となっています。

【年齢区分別】



【圏域別】

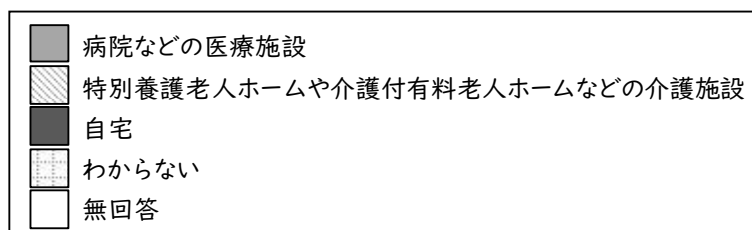
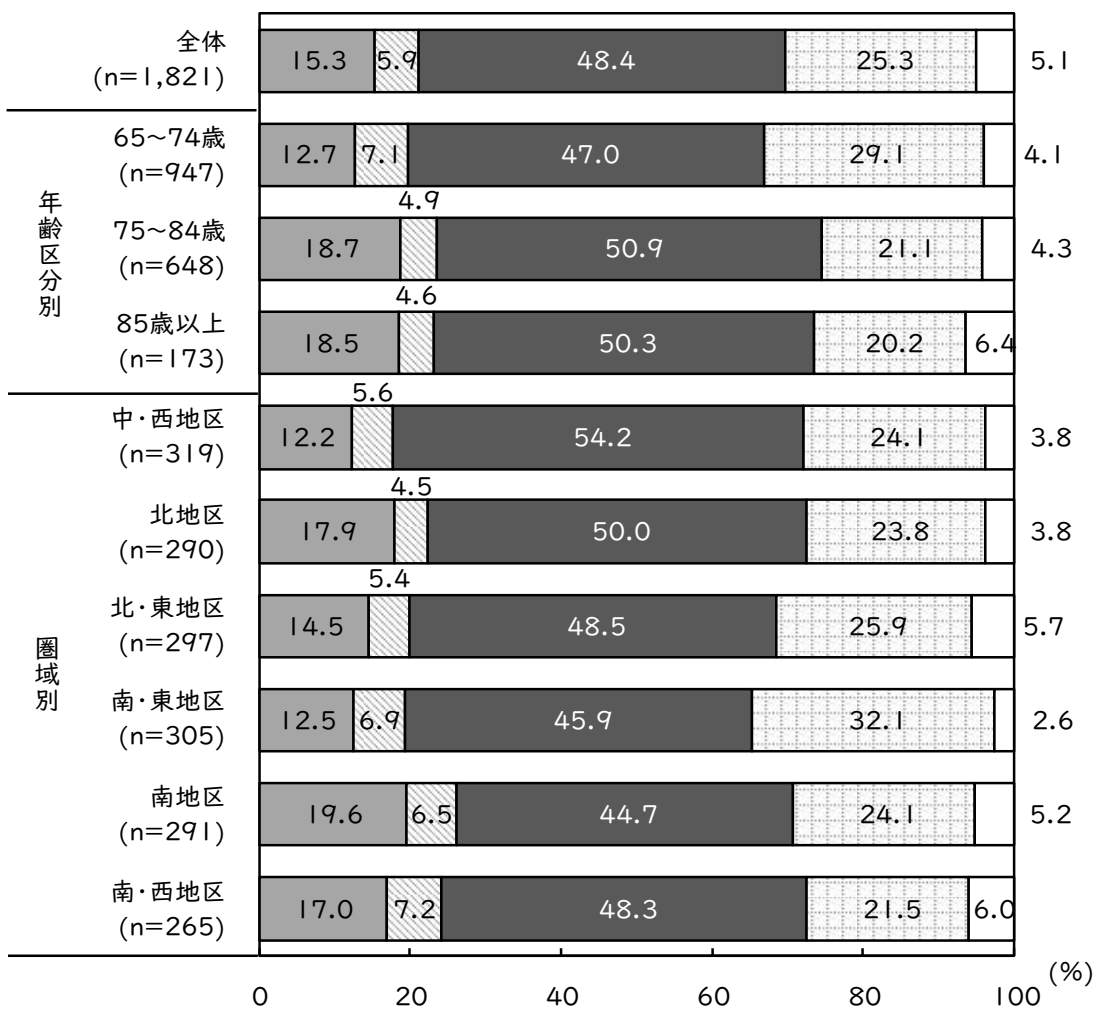
上段:件数、 下段:%	調査数	施設には入 所せず、ずっ と自宅で暮 らしたい	自宅で暮ら せるまでは 自宅で暮ら し、要介護度 が重くなっ たら施設に入 所したい	要介護度に関わらず、介 護保険の施設に入所し て暮らしたい	高齢者向け の住宅に入 居して、介護 保険サービ ス等を利用 しながら暮ら したい	その他	わからない	無回答
中・西地区	319 100.0	75 23.5	182 57.1	4 1.3	16 5.0	1 0.3	25 7.8	16 5.0
北地区	290 100.0	67 23.1	152 52.4	6 2.1	22 7.6	1 0.3	30 10.3	12 4.1
北・東地区	297 100.0	62 20.9	153 51.5	5 1.7	20 6.7	-	38 12.8	19 6.4
南・東地区	305 100.0	54 17.7	177 58.0	12 3.9	17 5.6	1 0.3	35 11.5	9 3.0
南地区	291 100.0	54 18.6	152 52.2	7 2.4	26 8.9	2 0.7	31 10.7	19 6.5
南・西地区	265 100.0	62 23.4	144 54.3	1 0.4	13 4.9	-	26 9.8	19 7.2

問10 人生の最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいですか。(○は1つだけ)

《全体》では、「自宅」が48.4%と最も高く、次いで、「病院などの医療施設」が15.3%となっています。

年齢区分別でも、どの区分も「自宅」が最も高くなっており、《75～84歳》、《85歳以上》では5割を超え、それぞれ50.9%、50.3%となっています。一方で、《75～84歳》、《85歳以上》では「病院などの医療施設」の割合も比較的高く、それぞれ18.7%、18.5%となっています。

圏域別でも、どの区分も「自宅」が最も高くなっており、その割合は《中・西地区》で最も高く、54.2%となっています。

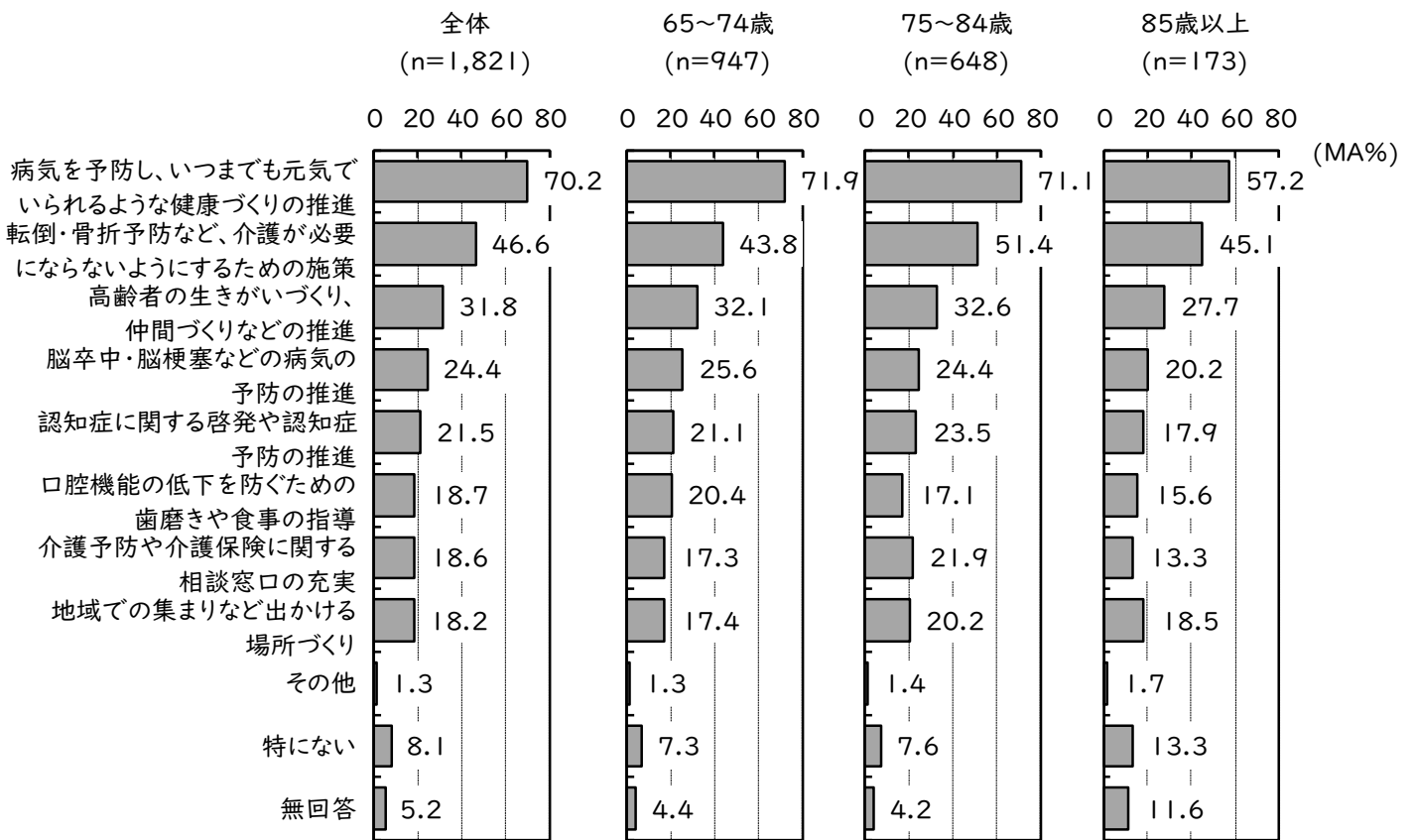


問11 できるだけ介護を必要とせず、いつまでも元気に暮らすことができるためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「病気を予防し、いつまでも元気でいられるような健康づくりの推進」が70.2%と最も高く、次いで、「転倒・骨折予防など、介護が必要にならないようにするための施策」が46.6%、「高齢者の生きがいづくり、仲間づくりなどの推進」が31.8%となっています。

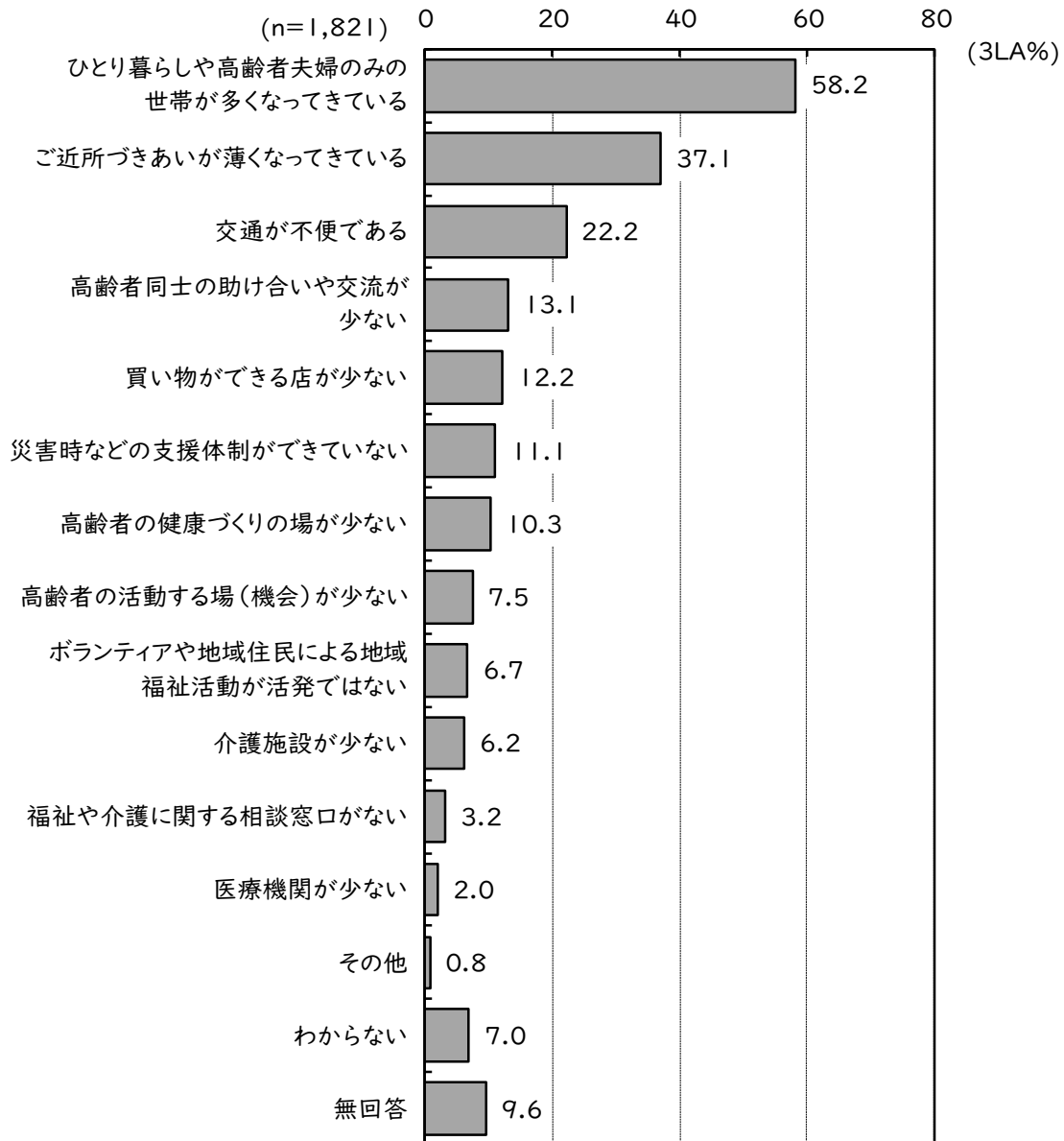
年齢区分別でも同様の傾向にあります。年齢区分別でも同様の傾向にあります。年齢区分別でも同様の傾向にあります。「病気を予防し、いつまでも元気でいられるような健康づくりの推進」の割合は、《75～84歳》から《85歳以上》にかけて大きく減少し、《75～84歳》で71.1%であるのに対し、《85歳以上》では57.2%となっています。

【年齢区分別】



問12 あなたの地域における高齢者（高齢化）に関する課題は何だと思えますか。（○は3つまで）

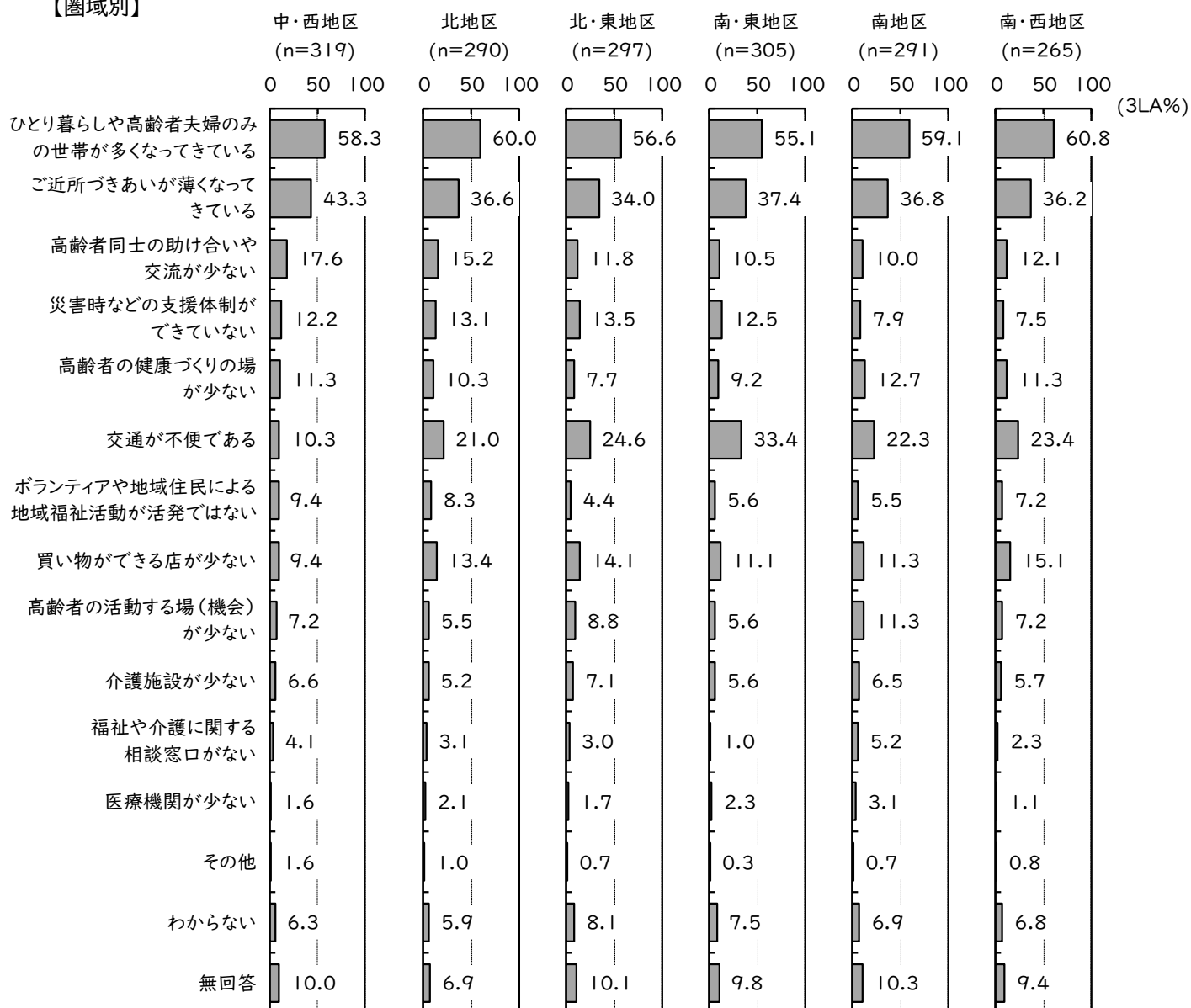
《全体》では、「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」が58.2%と最も高く、次いで、「ご近所づきあいが薄くなってきている」が37.1%、「交通が不便である」が22.2%となっています。



圏域別でも、どの地区も「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」、「ご近所づきあいが薄くなってきている」の順で高くなっています。特に、「ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている」の割合が高く、5割後半から約6割となっています。

また、《南・東地区》では「交通が不便である」の割合が他の地区より高く、33.4%となっています。

【圏域別】



4

調查票

第8期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けての アンケート

調査へのご協力をお願い

日頃は、一宮市行政にご協力いただきましてありがとうございます。

一宮市では、令和3年度から令和5年度までを計画期間とする「第8期一宮市高齢者福祉計画（介護保険事業計画を含む）」の策定を予定しており、その基礎資料とするため、アンケートを実施いたします。

このアンケートは、高齢者の皆さまの生活や健康の実態等をうかがうもので、令和2年1月1日現在の住民基本台帳を基に、一宮市にお住まいの65歳以上の皆さま（要介護1～5の方を除く）の中から抽出した約2,500人の方をお願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的に処理いたしますので、ご自身の率直な考えをお書きください。

令和2年1月

一宮市

ご記入の前に

- ◆この調査は封筒のあて名の方が対象となります。
- ◆回答は当てはまる番号を○で囲むなど、各設問の指示にしたがってください。
- ◆令和2年1月1日現在の内容でご記入ください。
- ◆何らかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して代わって回答していただくようお願いいたします。
- ◆対象の方が、事情により不在等で回答できない場合には、回答を記入しないでそのまま同封の返信用封筒に入れて、ご投函ください。

調査票の回収について

- ◆ご記入いただいた調査票は、無記名で同封の返信用封筒に入れ、2月10日（月）までに
ご投函くださるようお願いいたします。

調査についてのお問い合わせ

一宮市役所 高年福祉課

TEL : (0586) 28-9151

FAX : (0586) 73-1019

メール : kounenfukushi@city.ichinomiya.lg.jp

ア 調査票の回答者について

問1 この調査票にご記入いただいている方はどなたですか(○は1つだけ)

1. 宛名のご本人
2. ご家族(宛名のご本人からみた続柄:)
3. その他()

イ あなた(宛名のご本人)ご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つだけ)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85～89歳
6. 90～94歳
7. 95～99歳
8. 100歳以上

問3 あなたは、どちらにお住まいですか。(○は1つだけ)

1. 宮西連区
2. 貴船連区
3. 神山連区
4. 大志連区
5. 向山連区
6. 富士連区
7. 葉栗連区
8. 西成連区
9. 丹陽町連区
10. 浅井町連区
11. 北方町連区
12. 大和町連区
13. 今伊勢町連区
14. 奥町連区
15. 萩原町連区
16. 千秋町連区
17. 起連区
18. 小信中島連区
19. 三条連区
20. 大徳連区
21. 朝日連区
22. 開明連区
23. 木曾川町連区
24. わからない場合は町名をお書きください()

問4 あなたの要介護度等は次のどれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 受けていない
2. 事業対象者(基本チェックリストの該当者)
3. 要支援1
4. 要支援2

ウ あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成をお答えください。(○は1つだけ)

1. 一人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他()

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つだけ)

1. 介護・介助は必要ない ⇒ **問3へ**
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ **問2-1へ**
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) ⇒ **問2-1へ**

※問2で「2」または「3」を選んだ方のみ、問2-1をお答えください

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病 |
| 3. がん(悪性新生物) | 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) |
| 5. 関節の病気(リウマチ等) | 6. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患(透析) | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他() |
| 15. 不明 | |

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

エ からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問3 15分位続けて歩いていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問5 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|----------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である | 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |
|-------------|------------|-------------|----------|

問6 週に1回以上は外出していますか。(○は1つだけ)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つだけ)			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
問8 外出を控えていますか。(○は1つだけ)			
1. はい ⇒ 問8-1へ	2. いいえ ⇒ 問9へ		
※問8で「1」を選んだ方のみ、問8-1をお答えください			
問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)			
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)		
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他()		
問9 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	
13. その他()			

オ 食べることについて

問1 あなたの身長・体重についてお答えください。(それぞれに数字を記載)	
(1)あなたの身長	() cm
(2)あなたの体重	() kg
問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つだけ)	
1. はい	2. いいえ
問3 歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。(○は1つだけ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問4 どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つだけ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

カ 毎日の生活について

問1 物忘れが多いと感じますか。(○は1つだけ)

1. はい 2. いいえ

問2 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(○は1つだけ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問3 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問4 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問5 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問7 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つだけ)

1. はい 2. いいえ

問8 趣味はありますか。(○は1つだけ)

1. 趣味あり(具体的に) 2. 思いつかない

問9 今後、自宅で生活していく上で、必要だと思う支援・サービスについてお答えください。(○は3つまで)

1. 配食サービス 2. 緊急連絡通報システム※
3. ゴミ出し(ふれあい収集) 4. 外出支援(通院、買い物など)
5. 見守り、声かけ 6. サロンなどの通いの場
7. その他() 8. 特にない

※緊急連絡通報システムとは、緊急時に受付センターへ通報する装置を貸与するサービスのことです。

キ 地域での活動について

問1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
((1)~(8)について、○はそれぞれ1つだけ)

(1)ボランティアのグループ	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(2)スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(3)趣味関係のグループ	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(4)学習・教養サークル	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(5)介護予防のための通いの場 (おでかけ広場やふれあい・いきいきサロン等)	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(6)老人クラブ	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(7)町内会・自治会	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
(8)収入のある仕事	1. 週4回以上 4. 月1~3回	2. 週2~3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない

問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. すでに参加している |

問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ぜひ参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. すでに参加している |

ク たすけあいについて

問1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

問4 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

問5 あなたは近所のつきあいをどの程度していますか。(○は1つだけ)

1. とても親しくつきあっている
2. わりと親しくつきあっている
3. つきあいはしているがそれほど親しくない
4. ほとんどまたは全くつきあっていない

ケ 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つだけ)

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 (○は1つだけ)		
1. はい	2. いいえ	
問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つだけ)		
1. はい	2. いいえ	
問5 タバコは吸っていますか。(○は1つだけ)		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない	
問6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか(○はいくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病	
5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)	
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷(転倒・骨折等)	12. がん(悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病	
15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病	
17. 目の病気	18. 耳の病気	
19. その他()		
問7 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。(○は1つだけ)		
1. はい ⇒ 問7-1・問7-2へ	2. いいえ ⇒ 9ページへ	
※問7で「1」を選んだ方のみ、問7-1、問7-2をお答えください		
問7-1 その頻度は次のどれですか。(○は1つだけ)		
1. 週1回以上	2. 月2~3回	3. 月1回程度
4. 2ヶ月に1回程度	5. 3ヶ月に1回程度	
問7-2 通院に介護が必要ですか。(○は1つだけ)		
1. はい	2. いいえ	

コ	防災について
問1 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(○はいくつでも)	
1. 避難場所や順路の確認	2. 近隣の支援者の確保
3. 自主防災組織への支援依頼	4. 避難訓練への参加
5. その他 ()	6. 何もしていない
問2. 地震などの災害がおこった場合の避難場所を知っていますか。(○は1つだけ)	
1. 知っている	2. 知らない
問3 避難方法や安否確認の方法について、家族と話し合っていて決めていますか。(○は1つだけ)	
1. 決めている	2. 決めていない

サ	認知症について
問1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つだけ)	
1. はい	2. いいえ
問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)	
1. はい	2. いいえ
問3 認知症サポーターを知っていますか。(○は1つだけ)	
1. はい	2. いいえ
問4 成年後見制度※を知っていますか。(○は1つだけ)	
1. 言葉も内容も知っている	2. 言葉を知っているが、内容は今回はじめて知った
3. 言葉も内容も今回はじめて知った	
<p>※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などで判断能力の不十分な方が、自立して生活できるように、援助してくれる人（後見人など）を家庭裁判所に選んでもらう制度です。これにより、自分一人では困難な不動産や預貯金などの財産の管理や各種契約が安全に行えるようになります。</p>	

シ	高齢者福祉や介護保険について
問1 「地域包括支援センター※」を知っていますか。(○は1つだけ)	
1. 知っているし、利用したこともある	2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない	
<p>※地域包括支援センターとは、保健、介護、福祉という3分野の専門職が連携し、介護保険や認知症、高齢者虐待など地域の高齢者のさまざまな相談に対応する機関です。</p>	

問2 高齢者の方が、生きがいつくりや健康増進のために無料(入浴施設は有料)で利用できる「高齢者福祉施設」(いきいきセンター、いこいの広場、つどいの里)が市内には21か所あります。これらの施設を利用する際は、どのような目的で利用しますか。(○はいくつでも)	
1. 浴場を利用するため	2. 介護予防などの教室に参加するため
3. 趣味クラブなどの活動に参加するため	4. 囲碁・将棋等を楽しむため
5. マッサージ機を利用するため	6. 地域の方との交流のため
7. その他 ()	8. 利用したことがない
問3 どのような高齢者施設(いきいきセンター、いこいの広場、つどいの里)なら、利用してみたいと思いますか(○はいくつでも)	
1. 健康機器(ランニングマシンなど)がある施設	
2. 介護予防などの健康、体操教室が行われる施設	
3. 娯楽機器(カラオケやゲーム機など)がある施設	
4. 趣味の教室(料理や工作など)が行われる施設	
5. 教養講座などの教室が行われる施設	
6. その他 ()	
問4 一宮市では、数え100歳以上の方に祝い品を贈呈する長寿祝事業を実施していますが、今後も継続して実施したほうが良いと思いますか。(○は1つだけ)	
1. 実施したほうがよい	2. 実施しなくてもよい
3. その他 ()	
問5 一宮市では、各地域で9月から10月に敬老会事業が開催され、対象年齢は75歳以上となっていますが、対象年齢は何歳以上が良いと思いますか。(○は1つだけ)	
1. 75歳以上	2. 80歳以上
3. 85歳以上	4. その他 ()
5. わからない	
問6 介護予防事業について、興味があるもの、参加したいと思うものをお答えください。(○はいくつでも)	
1. 転倒予防など体力づくり・運動に関する教室	
2. 認知症予防に関する教室	
3. 栄養に関する教室	
4. 食べたり飲みこんだりの、お口の機能に関する教室	
5. 近くのサロンで開催されるゲームや歌・音楽などのレクリエーション	
6. 自宅を訪問してもらって、個別的に運動・栄養・歯の指導をしてもらう事業	
7. その他 ()	
8. 参加したくない	

問7 介護予防事業に参加する上で求めることをお答えください。(○はいくつでも)

1. 身近な地域で行われること
2. 料金が無料、または安いこと
3. 一緒に参加する友人や仲間がいること
4. 参加した効果が実感できること
5. 送迎があること
6. その他 ()
7. 特にない

問8 今後の介護サービスと介護保険料負担のあり方について、あなたの考え方に最も近いのはどれですか。(○は1つだけ)

1. 保険料が高くなっても、充実したサービスが受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を積極的に進めるべき
2. 保険料は多少高くなっても、現状のサービスを受けられるように在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべき
3. 保険料が高くなるのであれば、在宅サービス事業所や介護施設などの整備を進めるべきではない
4. 保険料の負担をできるだけ減らすために、介護保険で提供されるサービスを充実させる必要はない
5. わからない

問9 今後、あなたが介護の必要な状態(介護認定対象者)になったとき、どのような生活をしたいですか。(○は1つだけ)

1. 施設には入所せず、ずっと自宅で暮らしたい
2. 自宅で暮らせるまでは自宅で暮らし、要介護度が重くなったら施設に入所したい
3. 要介護度に関わらず、介護保険の施設に入所して暮らしたい
4. 高齢者向けの住宅に入居して、介護保険サービス等を利用しながら暮らしたい
5. その他 ()
6. わからない

問10 人生の最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいですか。(○は1つだけ)

1. 病院などの医療施設
2. 特別養護老人ホームや介護付有料老人ホームなどの介護施設
3. 自宅
4. わからない

問 11 できるだけ介護を必要とせず、いつまでも元気に暮らすことができるためには、どのような取り組みが重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 病気を予防し、いつまでも元気でいられるような健康づくりの推進
2. 転倒・骨折予防など、介護が必要にならないようにするための施策
3. 口腔機能の低下を防ぐための歯磨きや食事の指導
4. 介護予防や介護保険に関する相談窓口の充実
5. 脳卒中・脳梗塞などの病気の予防の推進
6. 地域での集まりなど出かける場所づくり
7. 認知症に関する啓発や認知症予防の推進
8. 高齢者の生きがいづくり、仲間づくりなどの推進
9. その他 ()
10. 特にない

問 12 あなたの地域における高齢者(高齢化)に関する課題は何だと思いますか。(〇は3つまで)

1. ひとり暮らしや高齢者夫婦のみの世帯が多くなってきている
2. ご近所づきあいが薄くなってきている
3. 高齢者の健康づくりの場が少ない
4. 高齢者の活動する場(機会)が少ない
5. 高齢者同士の助け合いや交流が少ない
6. 災害時などの支援体制ができていない
7. 介護施設が少ない
8. 医療機関が少ない
9. 福祉や介護に関する相談窓口がない
10. ボランティアや地域住民による地域福祉活動が活発ではない
11. 買い物ができる店が少ない
12. 交通が不便である
13. その他 ()
14. わからない

介護保険や高齢者福祉について、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください

最後まで質問にお答えいただき、ありがとうございました。

一宮市 一般高齢者アンケート
～第8期一宮市高齢者福祉計画の策定に向けて～
【調査結果報告書】

発行年月 : 令和2年3月

発行・編集 : 一宮市福祉部高年福祉課

〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号

TEL : (0586) 28-9151

FAX : (0586) 73-1019

E-mail : kounenfukushi@city.ichinomiya.lg.jp
